

R486-Ma82ウ



1200500767131

86
82
Ⓜ

〇
複
写



始





22R 42

R486
MA82 (7)



PROF. DR. S. MATSUMURA
6000
ILLUSTRATED INSECTS
OF
JAPAN-EMPIRE

1931

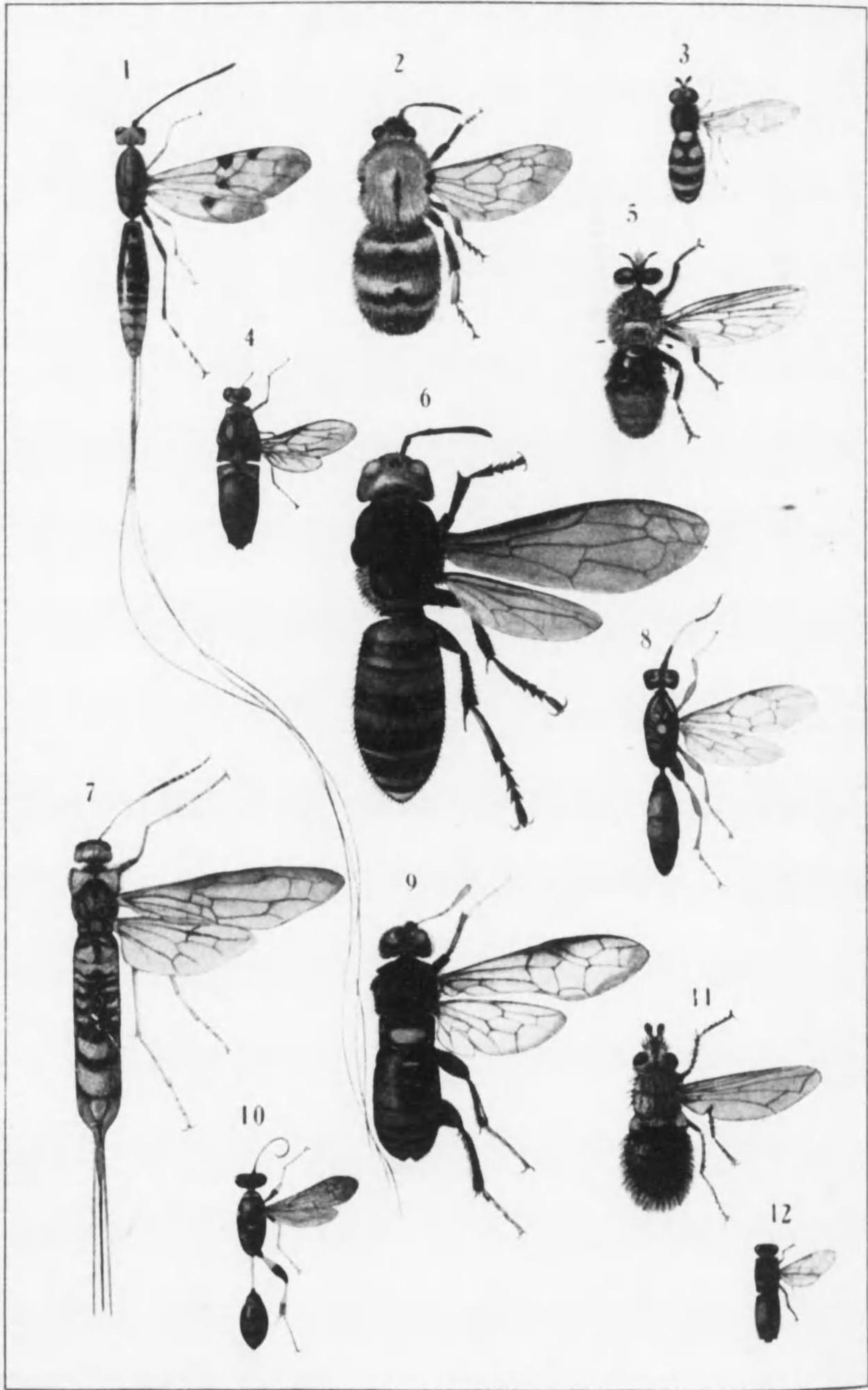
日本昆蟲大圖鑑

理學博士
農學博士
松村松年著

東京 刀江書院



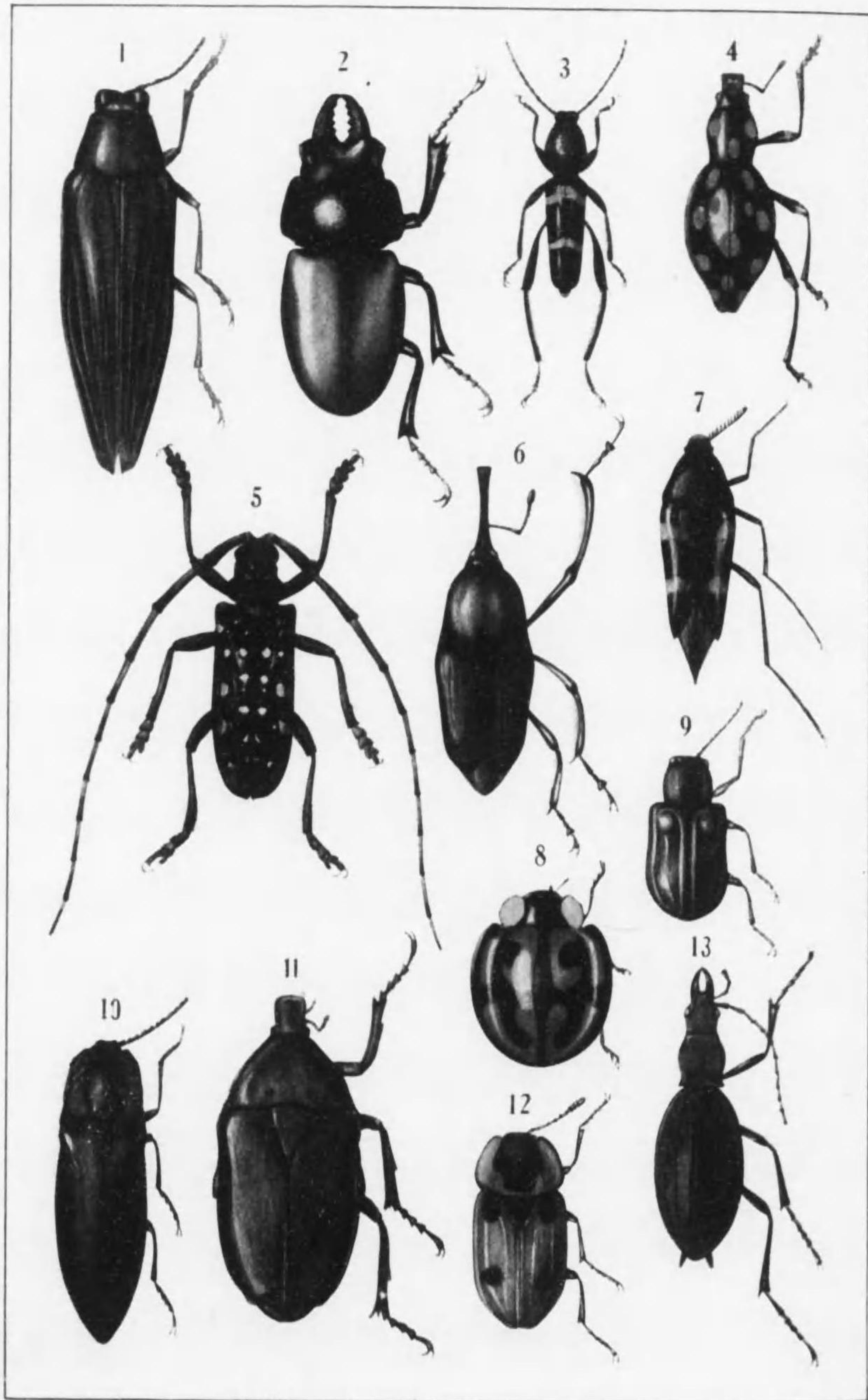
第一圖



第一圖

1. *Eurobracon penetrator* Sm. (♀) ウマヲバチ
2. *Bombus diversus* Sm. (♀) トラマルハナバチ
3. *Syrphus ribesii* L. (♀) オホフタホシヒラタアブ
4. *Stilbum cyanurum* Först. (♀) オホセイボウ
5. *Laphria mitsukurii* Coq. (♀) オホイシアブ
6. *Vespa mandarina* Sm. (♀) スズメバチ
7. *Sirex matsumurae* Rohw. (♀) マツオホキバチ
8. *Protichneumon moiwanus* Mats. (♀) モイハヒメバチ
9. *Cimbex femorata* L. (♀) カラフトモモブトハバチ
10. *Sceliphron madraspatanum* F. (♀) ヒメキゴシアナバチ
11. *Servillia luteola* Coq. (♀) オホハリバヘ
12. *Chrysis ignita* L. (♀) ヨツバセイボウ

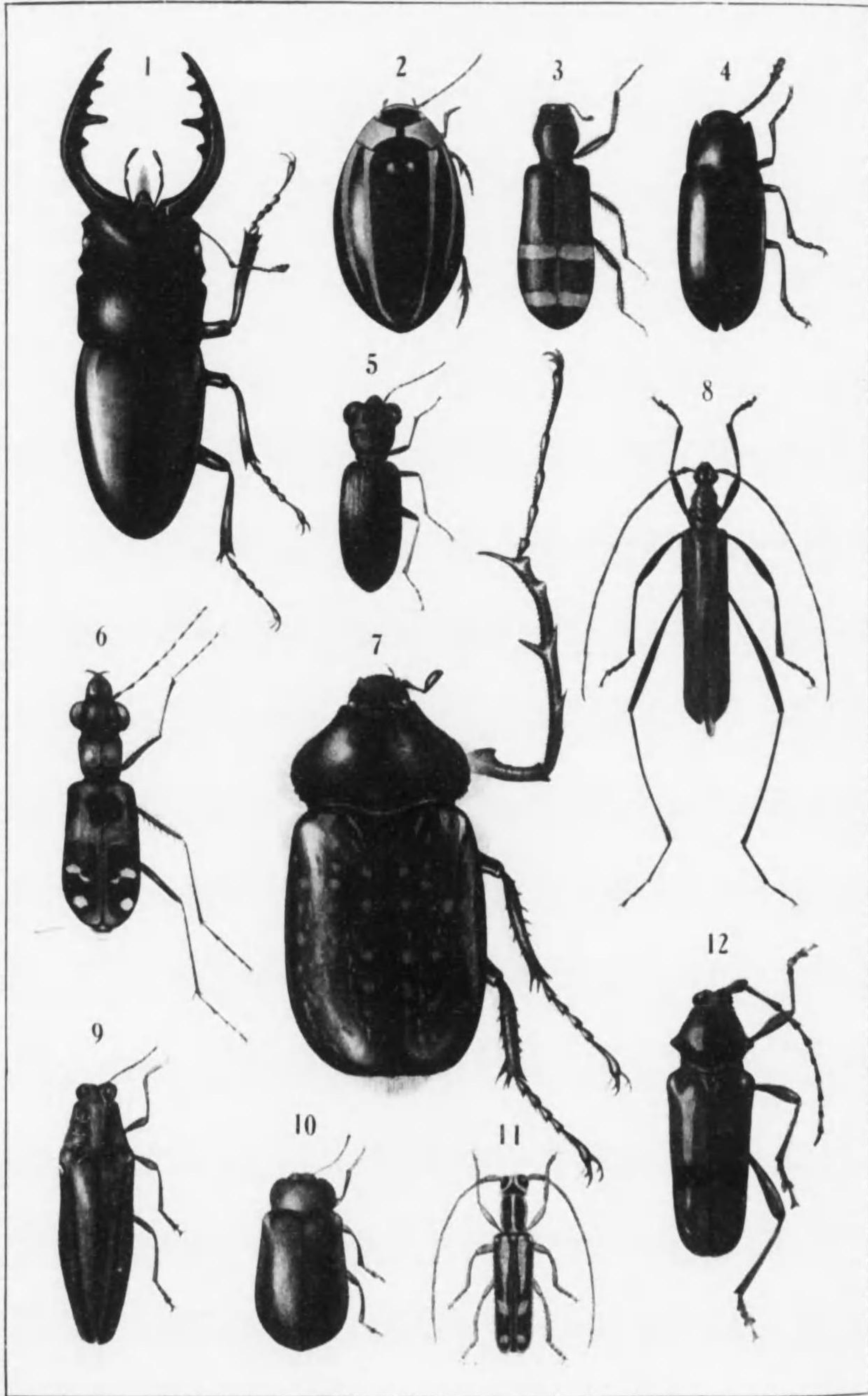
第二圖



第二圖

1. *Chrysochroa holsti* Waterh. (♀) ヲガサハラタマ
2. *Neolucanus swinhoci* Bat. (♂) マルバネアカクハガタ
3. *Xylotrechus pyrroderus* Bat. (♀) フダウトラカミキリ
4. *Pachyrrhynchus kotoënsis* Kôno (♀) マルモンカタザウ
5. *Melanauster chinensis* Först. (♂) ゴマダラカミキリ
6. *Cyrtotrachelus longimanus* F. (♀) タイワンオホザウ
7. *Macrosiagon bifasciatum* Marseul (♀) フタオビオホハナノミ
8. *Ithone hexaspilota* Hope (♀) カメノコテンタウ
9. *Acrothinium gaschkewitchii* Motsch. (♀) アカガネサルハムシ
10. *Campsesternus gemma* Cand. (♀) アカヘリオホアヲコメツキ
11. *Rhomborrhina unicolor* Motsch. (♀) アヲカナブン
12. *Silpha (Xylodrepa) sexcarinata* Motsch. (♀) ヨツボシヒラシデ
13. *Carabus (Acoptolabus) gehini* Fairm. (♀) オホレリヲサ

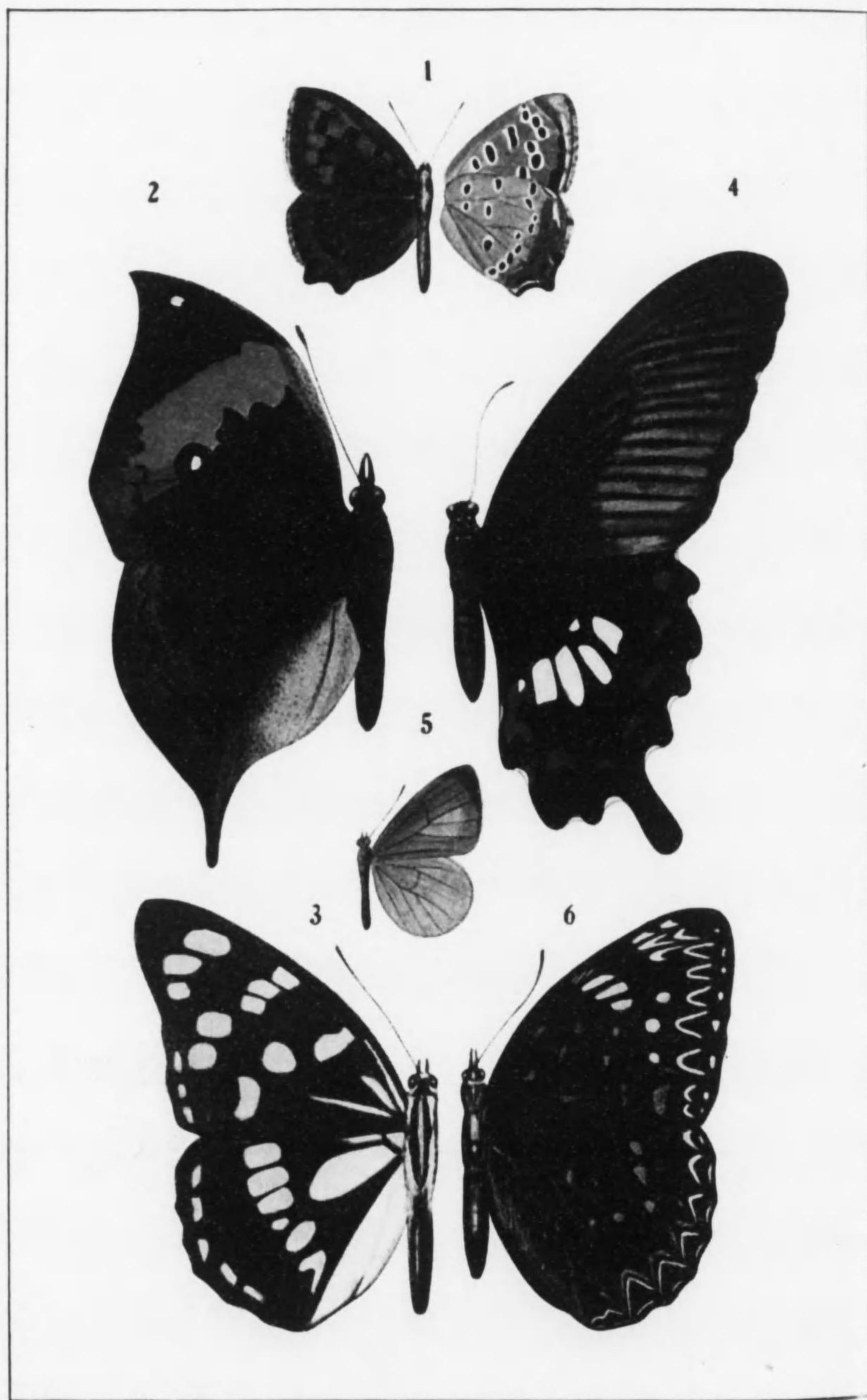
第三圖



第三圖

1. *Psalidoremus inclinatus* Motsch. (♂) ノコギリクハガタ
2. *Hydaticus bowringi* Clark (♀) シマゲンゴロウ
3. *Trichodes irkutensis* Laxm. (♀) カラフトクワクコウ
4. *Episcapha taishoensis* Lew. (♀) タイシャウキノコ
5. *Notiophilus impressifrons* Mor. (♀) ヒメカハラゴミ
6. *Cicindela chinensis* Deg. (♂) ナミハンメウ
7. *Euchirus macleayi* Hope (♂) アシナガコガネ
8. *Leontium viride* Thoms. (♂) ミドリカミキリ
9. *Chrysochroa fulgidissima* Schönh. (♂) ナミタマ
10. *Melasoma aenea* L. (♀) ルリハムシ
11. *Epiglenea comes* Bat. (♂) ヨツキボシカミキリ
12. *Dicolesternum corallinum* Gorb. (♂) ベニツヤカミキリ

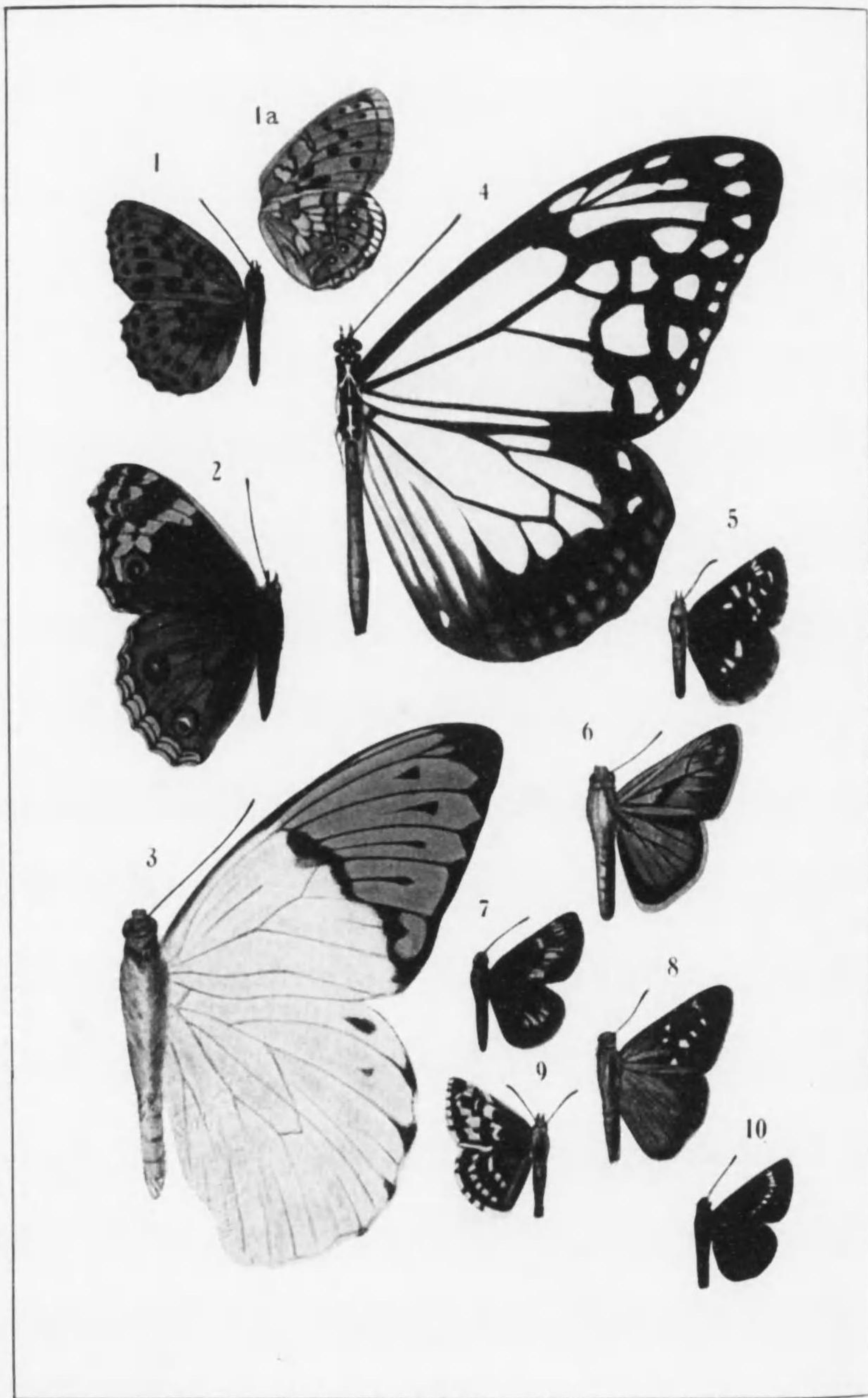
第四圖



第四圖

1. *Chrysophanus phlaeas* L. (♀) ベニシジミ
2. *Kallima inachus* Boisd. (♂) コノハテフ
3. *Diagora japonica* Feld. (♂) ゴマダラテフ
4. *Papilio polytes* L. (♀) シロオビアゲハ
5. *Lycanopsis albocerulea* Moor. (♂) サツマシジミ
6. *Dichorragia nesimachus* Boisd. (♀) スミナガシ

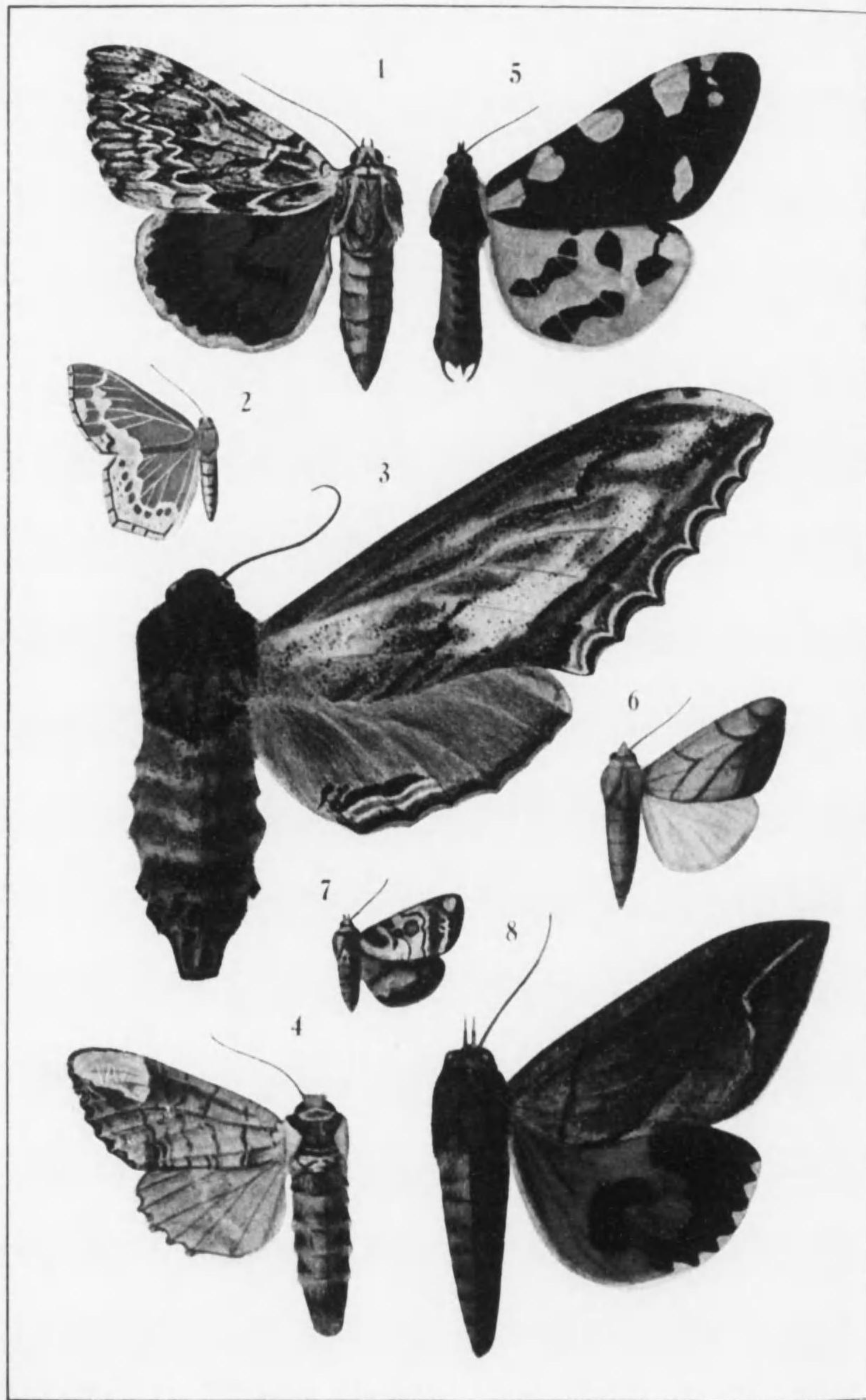
第五圖



第五圖

1. *Argynnis ino* Rott. (♂) コヘウモン
- 1a. 同裏面
2. *Precis orithya* L. (♂) アヲタテハモドキ
3. *Helomoia glaucippe* L. (♂) ツマベニテフ
4. *Danais sita* Koll. (♀) アサギマダラ
5. *Hesperia zona* Mab. (♀) チヤマダラセセリ
6. *Augiades sylvanus* Esp. (♂) コキマダラセセリ
7. *Augiades ochracea* Brem. (♀) ヒメキマダラセセリ
8. *Parnara mathias* F. (♂) チャバネセセリ
9. *Hesperia maculata* Brem. et Grey (♀) ミヤマチヤマダラセセリ
10. *Acromachus inachus* Mén. (♀) ホシチヤマダラセセリ

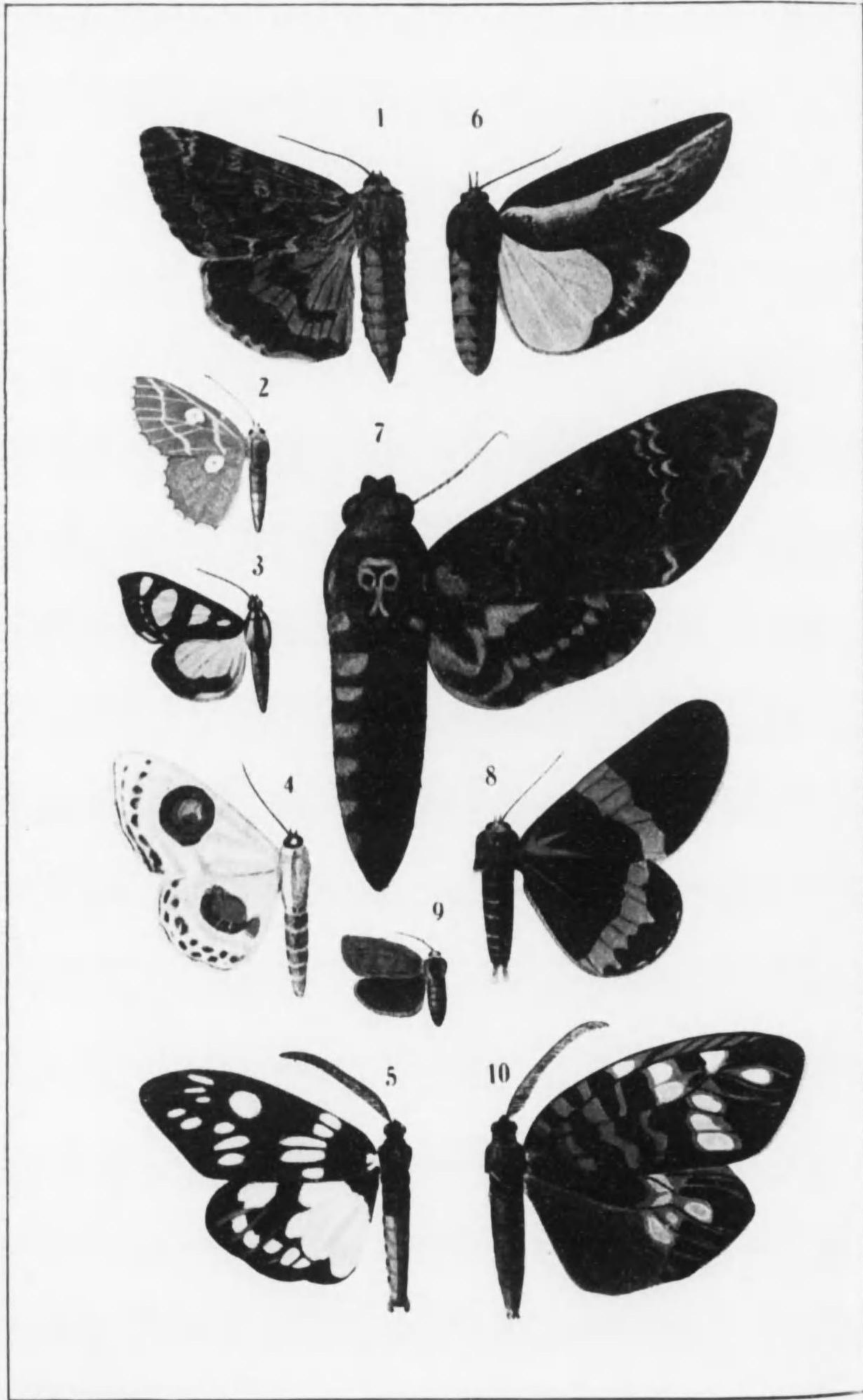
第六圖



第六圖

1. *Catocala electa* Bkh. (♀) ベニシタバ
2. *Ochrognesia difficta* Wk. (♀) シロフアラシヤク
3. *Langia zenzeroides* Moor. (♀) オホシモフリスズメ
4. *Phalera angustipennis* Mats. (♀) ツマキシヤチホコ
5. *Pericallia matronula* L. (♂) チャウザンヒトリ
6. *Acontia transversa* Guen. (♀) フタトガリ
7. *Aucha variegata* Oberth. (♀) マダラシタキホシヨタウ
8. *Ophideres fullonica* L. (♂) ヒメアケビコノハ

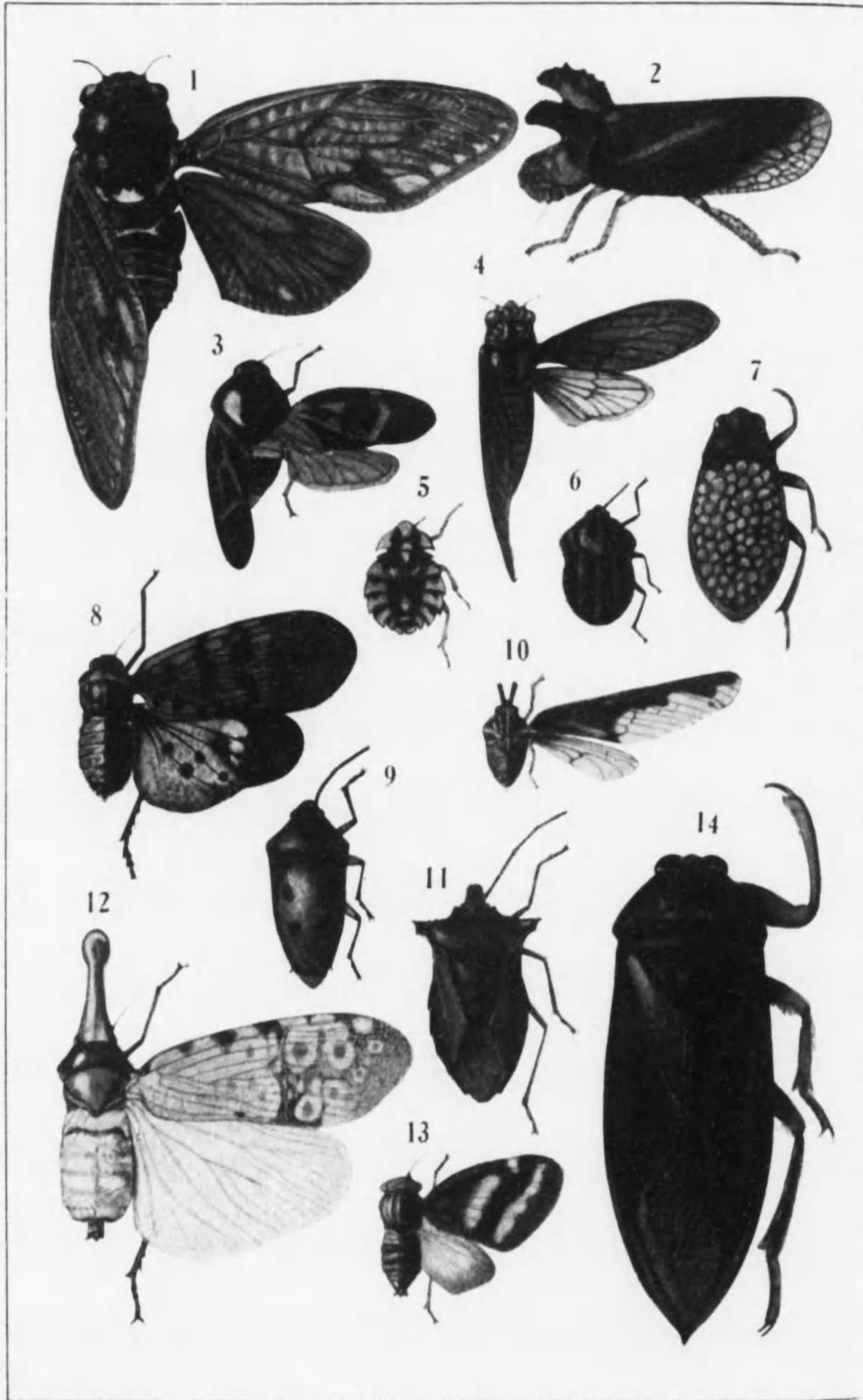
第七圖



第七圖

1. *Mormonia dula* Brem. (♀) オニベニシタバ
2. *Euchloris albocostaria* Brem. (♀) ヨツメアヲシヤク
3. *Margaronia quadrimaculalis* Brem. (♀) ヨツボシノメイガ
4. *Problepsis superans* Butl. (♂) フタツメオホシロヒメシヤク
5. *Etrusia aedea* L. (♂) オキナハルリチラシ
6. *Erigma narcissus* Cram. (♀) シンジユガ
7. *Acherontia lachesis* L. (♂) ハラグロメンガタ
8. *Milionia zonea* Moor. (♂) キオビエダシヤク
9. *Cacoecia circumclusana* Christ. (♀) オホギンスヂハマキ
10. *Erasmia sangaica* Moor. (♂) サツマニシキ

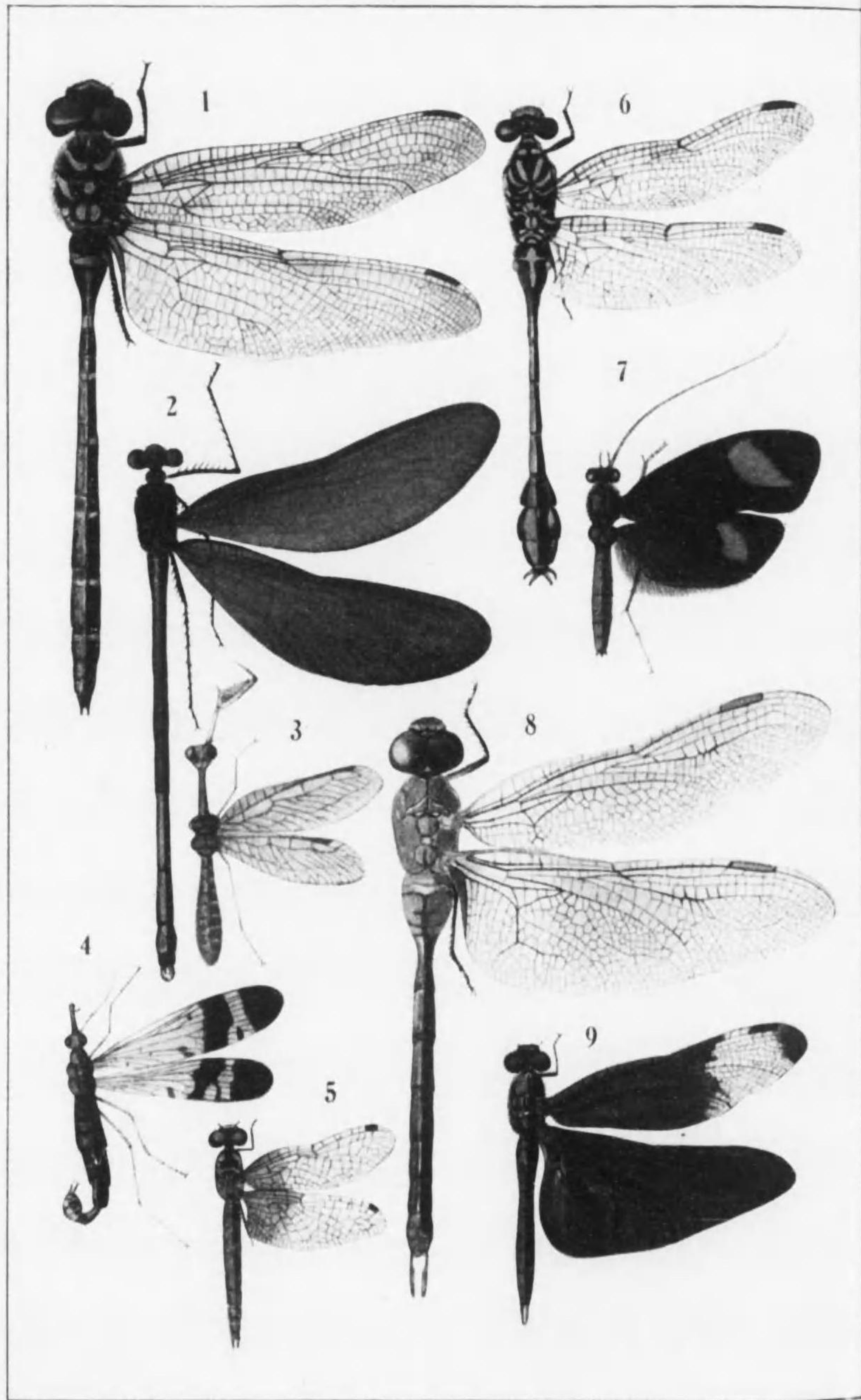
第八圖



第八圖

1. *Graptopsaltria colorata* Stål (♂) アブラゼミ
2. *Ledra auditura* Wk. (♂) ミミツク
3. *Cosmoscarta uehidae* Mats. (♂) ベニフコガシラアハフキ
4. *Huechys sanguinea* Deg. (♂) ハグロゼミ
5. *Aphelocheirus nawae* Mats. (♂) トゲナベブタムシ
6. *Graphosoma rubrolineatum* West. (♂) アカスチガメ
7. *Sphaeroderma japonicum* Vuill. (♂) コオヒムシ
8. *Lycorma urainum* Mats. (♀) ウライベニハゴロモ
9. *Chrysophara excellens* Burm. (♀) ナナホシキンガメ
10. *Zoraida kuwayamae* Mats. (♀) クハヤマハネナガウツカ
11. *Pentatoma japonicum* Dist. (♀) ツノアヲガメ
12. *Hotinus watanabei* Mats. (♀) ワタナベビハゼミ
13. *Ricania japonica* Melich. (♀) ベツカフハゴロモ
14. *Kirkaldyia deyrollei* Vuill. (♀) タガメ

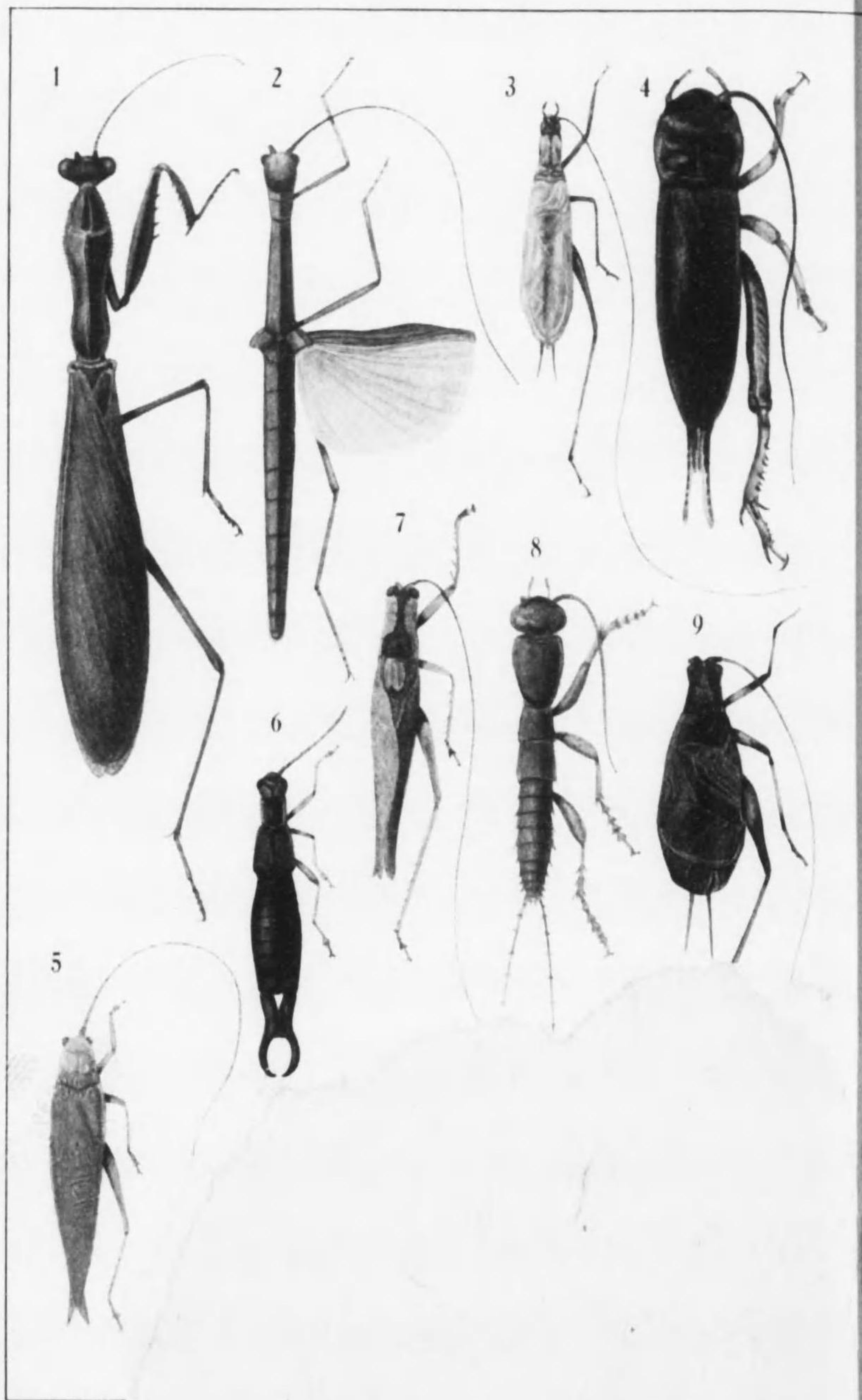
第九圖



第九圖

1. *Anotogaster sieboldii* Selys (♂) オニヤンマ
2. *Calopteryx cornelia* Selys (♂) ミヤマカハトンボ
3. *Mantispa japonica* M'L. (♂) ヒメカマキリモドキ
4. *Panorpa japonica* Thunb. (♂) ヤマトシリアゲ
5. *Nannophya pygmaea* Rambur (♂) ハツチヤウトンボ
6. *Platygomphus occultus* Selys (♂) メガネヤンマ
7. *Perissoneura paradoxa* M'L. (♂) ヨツメハトビゲラ
8. *Anax parthenope* Selys (♂) ギンヤンマ
9. *Rhyothemis fuliginosa* Hagen (♂) テフトンボ

第十圖



第十圖

1. *Paratenolera angustipennis* Sauss. (♀) オホカマキリ
2. *Micadina phluetaenoides* Rehn (♀) トビナナフシ
3. *Oecanthus longicauda* Mats. (♂) カンタン
4. *Brachytrupes portentosus* Licht. (♂) タイワンオホコホロギ
5. *Madasumma hibernois* Mats. (♂) アヲマツムシ
6. *Forficula scudderi* Borm. (♂) クギヌキハサミ
7. *Hexacentrus japonicus* Karny (♂) ウマオヒ
8. *Galloisiana nipponensis* C. et K. (♂) ガロアムシ
9. *Homoeogryllus japonicus* D. H. (♂) スズムシ
10. *Pachytylus danicus* L. (♀) ダイメウバツタ

序

著者松村博士は、昆蟲學の泰斗たり。我國昆蟲學の未だ幼稚にして、參考書極めて稀少なる時代に於て、既に斯學の研究に身を委ね、百折不撓の精神を以て、凡ゆる困難と戦ひ、遂に素志を貫徹して、能く獨創的新生面を開拓し、熱誠研鑽を持續せらるゝ事、茲に四十有餘年に及び。其の間自然界に於ける昆蟲の生態を闡明し、就中東洋に於ける系統分布の状態を調査して、其の特色を究め、其の學名を明にし、又害虫の發育習性等を實驗して、防除の方法を講ずると共に、益蟲の通性繁殖の方法等を究審し、其の應用的方面の研究を進めて、利用厚生に資する等、斯學の發達に、最有益なる科學的材料を寄與し、其の集めて大成せる論文著書にして、既に公表せられたるもの實に八十を算するに至れり。博士多忙の中、又能く各地を遍歴して、研究資料の獲得に力め、邦内及東洋の各地は素より、足跡遠く歐米、亞弗利加に及び、其の蒐集せる昆蟲の數無慮五十萬、其の種類殆ど四萬に達し、所有數量の豊裕にして、珍秀なる、正に東洋第一の稱あらんとす。蓋し此等の

標本や、實に博士積年の獻身的努力の結晶にして、管に本學の至寶たるのみならず、又正に世界昆蟲學界の貴重なる資産なりと言ふべし。

斯く博士の業績の偉大なるは、敢て吾人の喁々を要せざる所曩に、千蟲圖解をものして、洛陽の紙價を貴からしめしが、頃者又絶倫の精力と、學識の蘊蓄とを傾倒し、日本昆蟲大圖鑑の發行に努力せられ、今や稿成り、將に上梓せんとして余に序を徴せらる。就て見るに、其の載する所の昆蟲の數六千餘、孰れも正確なる科學的分類に立ち、周到なる實際的研究に基くもの、蓋し世界稀有の良著にして、其の昆蟲學界を裨益するの甚大なるは、余の確く信じて疑はざる所なり。茲に一書を卷首に敘して以て序文とす。

昭和六年四月

北海道帝國大學總長 南 鷹次郎

自序

日本の昆蟲は頗るその種類に富み、北は樺太より南は臺灣、南洋諸島に跨がり、この間棲息する昆蟲には或は寒帶産あり、或は熱帶産がある。爰に総合的日本昆蟲の蒐集は仲々困難で、これが爲めに相當の時日を要することは無論である。今假に二千種の圖解を編纂せんと欲せば、少くともその倍數四千種の昆蟲を必要とする。著者の主宰する北海道帝國大學昆蟲學教室の標本數は今は約五十萬に達し、種としては約四萬種ある。これが蒐集には實に四十年の星霜を費してゐる。この内約六千種の代表的の昆蟲を選び、爰に日本昆蟲大圖鑑を編纂するに當り、著者の最も配意せしものは、昆蟲界に渡りての普遍性であつた。著者の専攻は有吻目である。これを詳細に記載することになれば、その千種を圖解することは左程の困難でない。而かもこれを割愛して僅五百六十種に局限せしめたのは、廣く一般昆蟲に渡りての圖解を欲したからである。鞘翅目(甲蟲)の如きもその二千種の圖

解は當教室としては餘り困難ではない、而かもこれを一千百餘種に止め置いたのも亦同前の理由である。

圖解はその性質として體長三分以上の昆蟲にあらざれば殆んどその目的を達することが出来ない。併しながら總ての方面から代表的の昆蟲を出現せしめんが爲めに、顯微鏡的のものをも爰に數百種擧げて置いた。彼の蟲の如き、蚤の如き、介殼蟲の如き、蚜蟲の如き、薊馬の如き、彈尾目の如き、これ等の小昆蟲を圖鑑に挿入することは蓋し不適當である。故に著者は拙著日本千蟲圖解には特別のものの外は總て刪除してゐる。但だ本圖鑑をして昆蟲學辭書的の意味を持たせ、同時に昆蟲分類學的教科書たらしめんと欲したので、分類學同様の順序に依り小形昆蟲をも抱擁せしめたのである。本邦の小形昆蟲になると、未だ學界に發表せられてゐないものが少なくない。今、先づこれを發表して而して後にこれを圖鑑に記入すべきが順序なるも、編纂の都合上、その新種をも爰に編入して置いた、而してこれ等は近き將來に著者の主宰するインセツクタ・マツムラーナに發表することを期

する、而してその數は約三百種である。彼の小蛾類の如き、その他雙翅目、毛翅目、總翅目、積翅目、蜉蝣目、彈尾目に屬する昆蟲の如きは則ちそれである。これ等を定數の六千種内に記入せんが爲めに、前述の有吻目、鞘翅目の半數を省略したのである。尙、この他蠅、蜂の如きも更にその五百種を追加することは餘り大した困難ではない。故に今はこの六千餘種に止め置き、他日補遺として、更に四千種の昆蟲圖解を發表するの企圖を公表するものである。爰に約一萬種の日本昆蟲圖解を完了するの日は、蓋し大圖鑑としての日本昆蟲を網羅することになる。

終に臨み爰に著者の忘るべからざるの義務は、刀江書院主人尾高豐作氏の絶大の好意に對して深謝の意を公表することである。

於北海道帝國大學昆蟲學教室

昭和六年四月

松村松年識

凡例

- 一 本書に掲げた六千餘の昆蟲の内、約半數は既に拙著に記載せるものなるが、殘餘の大多數は今回新に發表せるものである。
- 一 圖鑑の性質上、顯微鏡的の小昆蟲は大部代表的のもの外は爰に多く記載してない。
- 一 圖畫によりて餘り能く識別し難き昆蟲、例へば積翅目の如き體色に變化なきものは多く爰に記載してない、然れど翅脈に特別の特徴あるものは斑紋なきも圖解して掲げてある。尙、長翅目の如き斑紋によりて充分に識別し能はざるものは、一々その特徴ある雄の缺子を描き置いた。
- 一 本書に掲げたる挿圖の約半數は拙著日本千蟲圖解、大日本害蟲全書、その他應用昆蟲學より轉載せるものであるが、殘餘の半數は今回新に描ける著者の原圖である。唯だ信頼すべき適當なる圖畫の他にありたる場合、その圖畫を轉載したものが少くない、殊に朴澤三二、桑名伊之吉、木下周太、新島善直、ザイツ、ギーベル、カルベル、ヤコブソン、ウルマー、ヘルムス、クラベック等の諸氏より藉り來れるものが少くない。
- 一 本書に採録せる大部の資料は著者の主宰する北海道帝國大學昆蟲學教室に保監し

あるもので、著者の門下生素木得一、岡本半次郎、小熊桿、一色周知、内田登一、高野秀三、河野廣道、三輪勇四郎、太田勇愛、桑山覺、石田昌人、澁谷甚七、土井久作諸氏の協力的研究に俟つものが少くない。

— 本書に記載せる學名は最近の研究に係るもので、從來使用し來りたる親みのある異名は殊に括弧内に添記して置いた。尤もその括弧内の異屬名に混じて亞屬も亦少くない。種名の命名者は多く略字を採用せるも、その全名は索引の前頁に列記して置いた。

— 本書解説の順序は目科以外を全部アルファベット順に配列し、屬名にて知る能はざるものは種名にて知り得る様、卷末に本書獨特の檢出索引を附してある。亞種も變種も全部形(form)となし、少しく疑はしきものは全部形として記載してある、故に他日研究の進むに随ひ、その形の獨立種として取り扱はるるものもあると思ふ。

— 本書に掲げたる昆蟲の食餌、出現期、利害等の關係の知れあるものは、務めて記入して置いた、而して挿圖によりて一目明瞭なる昆蟲はその説明を簡にし、挿圖によりて區別し難き昆蟲に限りてその相互の異なる諸點を列挙してある。

— 體長は甲蟲を除き生時と乾燥後とによりて多少異なるものがあれば、多くの場合、翅

の開張のみを掲げて置いた。

— 標本材料の大供給を受けた主なる友人は杉谷岩彦、故高椋悌吉、竹内吉藏氏等にして、その他、黒岩恒、坂口總一郎、岩崎卓彌、平山修次郎、鈴木元治郎、小笠原貞藏、高林兵衛、荒川重理、齋藤良秀、菊池寛治、渡正監、鹿野唯雄、玉貫光一、内山繁太郎等の諸氏によりて送附せられたる標本も亦敢て少くはない、爰に謹んで以上の諸彦に感謝の意を公表する。

— 索引製作中發見したる誤植は、總て*標を附し置き、これを正誤表に代らしめられたれば、讀者は宜しくこれによりて本文の訂正をなされたし。

日本昆蟲大圖鑑

目次

第一	膜翅目	HYMENOPTERA	一—九
一	蜜蜂科	Apidae	三
二	擬蜜蜂科	Colletidae	一一
三	胡蜂科	Vespidae	一一
四	細腰蜂科	Sphegidae	一七
五	鼈甲蜂科	Pompilidae	二一
六	土蜂科	Scoliidae	二六
七	蟻蜂科	Mutillidae	二九
八	青蜂科	Chrysididae	三〇
九	蟻科	Formicidae	三〇
一〇	卵蜂科	Proctotrupidae	三一
一一	小蜂科	Chalcididae	三一

一二 姬蜂科	Ichneumonidae	三〇
一三 細蜂科	Evanidae	七三
一四 小蘗蜂科	Braconidae	七三
一五 角細蜂科	Stephanidae	七五
一六 沒食子蜂科	Cynipidae	七六
一七 擬葉蜂科	Trigonaloidea	七七
一八 樹蜂科	Siricidae	七九
一九 葉蜂科	Tenthredinidae	八〇

第二 撚翅目 STREPSIPTERA 九一—九六

一 撚翅蟲科	Stylopidae	九五
--------	------------	----

第三 鞘翅目 COLEOPTERA 九七—一三三

一 斑蝥科	Cicindelidae	九九
二 步行蟲科	Carabidae	一〇四
三 小頭蟲科	Haliphidae	一一九
四 龍蝨科	Dytiscidae	一二八

五 鼓豆科	Cyrtidae	一三三
六 角步行科	Pausidae	一三五
七 脊筋蟲科	Rhysodidae	一三五
八 長扁蟲科	Cupedidae	一二五
九 隱翅蟲科	Staphylinidae	一二六
一〇 擬隱翅科	Micropeplidae	一三〇
一一 蟻塚蟲科	Pselaphidae	一三〇
一二 埋葬蟲科	Silphidae	一三一
一三 球蕈蟲科	Lioididae	一三六
一四 龍蕈蟲科	Ptiliidae	一三六
一五 出尾蕈科	Scaphitidae	一三七
一六 闊魔蟲科	Historidae	一三八
一七 長闊魔科	Syntelidae	一三九
一八 穀盜科	Ostomidae	一四〇
一九 大木吸科	Helotidae	一四一
二〇 擬木吸科	Byturidae	一四二
二一 出尾蟲科	Nitidulidae	一四三

三二	扁蟲科	Cucujidae	一四五
三三	大草蟲科	Erotylidae	一四六
三四	木吸蟲科	Cryptophagidae	一四八
三五	姬花蟲科	Phalacridae	一四九
三六	姬薪蟲科	Lathridiidae	一四九
三七	小草蟲科	Mycetophagidae	一四九
三八	細堅蟲科	Colydiidae	一五〇
三九	偽瓢蟲科	Endomychidae	一五〇
✓ 三〇	瓢蟲科	Coccinellidae	一五一
三一	鯉節蟲科	Dermestidae	一五六
三二	圓刺蟲科	Byrrhidae	一五八
三三	泥蟲科	Dryopidae	一五八
三四	牙蟲科	Hydrophilidae	一五九
三五	圓花蚤科	Dasellidae	一六一
三六	櫛角蟲科	Rhipiceridae	一六二
三七	螢科	Telephoridae	一六三
三八	郭公蟲科	Cloridae	一六九

三九	筒蟲科	Lymexylonidae	一七三
四〇	標本蟲科	Ptinidae	一七三
四一	死番蟲科	Anobiidae	一七三
四二	長蠹科	Bostriichidae	一七四
四三	竹蠹科	Lycidae	一七五
四四	姬草蟲科	Sphindidae	一七五
四五	圓草蟲科	Cisidae	一七六
四六	吉丁蟲科	Buprestidae	一七六
四七	叩頭蟲科	Elatерidae	一七九
四八	偽叩頭蟲科	Throscidae	一八九
四九	擬叩頭科	Languridae	一八九
五〇	偽步行蟲科	Tenebrionidae	一九〇
五一	偽葉蟲科	Lagridae	一九五
五二	偽朽木科	Othniidae	一九七
五三	朽木蟲科	Alleculidae	一九七
五四	擬吉丁科	Monommidae	二〇一
五五	擬天牛科	Oedemeridae	二〇一

五六	樹皮蟲科	Pythidae	二〇四
五七	長朽木科	Melandryidae	二〇五
五八	花蚤科	Mordellidae	二〇八
五九	偽花蚤科	Scraptiidae	二一三
六〇	大花蚤科	Rhipiphoridae	二一三
六一	地膽科	Meloidae	二一四
六二	長頸蟲科	Cephaloidea	二一八
六三	赤翅蟲科	Pyrochroidae	二一九
六四	細頸蟲科	Pedilidae	二二一
六五	一角蟲科	Anthicidae	二二一
六六	擬鍬形科	Tricentenotomidae	二二三
六七	豆象科	Bruchidae	二二三
六八	金花蟲科	Chrysomelidae	二三四
六九	天牛科	Cerambycidae	二四九
七〇	三錐象科	Brentidae	二七一
七一	長角象科	Anthribidae	二七一
七二	象鼻蟲科	Curculionidae	二七二

第四 微翅目

APHANIPTERA

三三三—三三八

七三	小蠹蟲科	Ipidae	三九八
七四	扁鍬形科	Passalidae	三〇三
七五	鍬形蟲科	Lucanidae	三〇四
七六	金龜子科	Scarabaeidae	三〇九
一	鳥蚤科	Sarcopsyllidae	三二五
二	蚤科	Pulicidae	三二五
三	鼠蚤科	Ctenopsyllidae	三二七

第五 雙翅目

DIPTERA

三三九—三四四

一	食蚜虻科	Syrphidae	三三一
二	頭虻科	Pipunculidae	三六〇
三	扁腳蠅科	Platypezidae	三六一
四	蚤蠅科	Phoridae	三六一
五	鎗蠅科	Lochopteridae	三六二
六	眼蠅科	Contopidae	三六三

七	黃潛蠅科	Chloropidae	三六四
八	黑潛蠅科	Oscinidae	三六五
九	潛蠅科	Agromyzidae	三六六
一〇	猩猩蠅科	Drosophilidae	三六六
一一	斑蠅科	Trypetidae	三六七
一二	細蠅科	Sepsidae	三七〇
一三	撞木蠅科	Diopsidae	三七一
一四	鎌切蠅科	Ephydriidae	三七三
一五	鼈甲蠅科	Seiomyzidae	三七三
一六	糞蠅科	Scatophagidae	三七三
一七	大根蠅科	Antomyiidae	三七四
一八	擬蜂蠅科	Ortaliidae	三七五
一九	飴蠅科	Sapromyzidae	三七六
二〇	瘦蠅科	Micropezidae	三七六
二一	鎧蠅科	Celyphidae	三七七
二二	家蠅科	Muscidae	三七七
二三	刺蠅科	Stomoxysidae	三八一

二四	大麻蠅科	Sarcophagidae	三八一
二五	長針蠅科	Dexiidae	三八二
二六	針蠅科	Tachinidae	三八三
二七	牛蠅科	Oestridae	三八九
二八	蝨蠅科	Hippoboscidae	三九〇
二九	蛛蠅科	Nycteribiidae	三九一
三〇	大蚊科	Tipulidae	三九一
三一	腰大蚊科	Psychopteridae	三九八
三二	偽大蚊科	Pelauristidae	三九九
三三	蚊科	Culicidae	三九九
三四	搖蚊科	Chironomidae	四〇一
三五	蝶蠅科	Psychobidae	四〇二
三六	瘿蠅科	Cecidomyiidae	四〇三
三七	蕈蠅科	Fungivoridae	四〇四
三八	毛蠅科	Bibionidae	四〇五
三九	蚋科	Simuliidae	四〇六
四〇	網蚊科	Blepharoceridae	四〇七

四一	蚊蠅科	Phryneidae	四〇八
四二	水虻科	Stratiomyidae	四〇九
四三	鵝虻科	Rhagionidae	四二三
四四	臭虻科	Coenomyiidae	四二四
四五	木虻科	Erinnidae	四二五
四六	虻科	Tabanidae	四一七
四七	擬虻科	Nemestrinidae	四三〇
四八	小頭虻科	Aeroceeridae	四三一
四九	長吻虻科	Bombyliidae	四三三
五〇	劍虻科	Therevidae	四三六
五一	食蟲虻科	Asilidae	四三八
五二	舞蠅科	Empidae	四四一
五三	長腳蠅科	Dolichopodidae	四四三

第六 鱗翅目 LEPIDOPTERA 四五一—二六

其一 蝶亞目 RHOPALOCERA 四六一—五九

一	鳳蝶科	Papilionidae	四四七
---	-----	--------------	-----

二	粉蝶科	Pieridae	四六八
三	斑蝶科	Danaidae	四八一
四	蛇目蝶科	Satyridae	四八八
五	環紋蝶科	Amathusiidae	五〇七
六	蛺蝶科	Nymphalidae	五〇八
七	天狗蝶科	Libytheidae	五四三
八	小蛺蝶科	Nemeobiidae	五四四
九	小灰蝶科	Lycenidae	五四五
一〇	弄蝶科	Hesperiidae	五七九

其二 蛾亞目 HETEROCERA 五九〇—一一八

一	天蛾科	Sphingidae	五九一
二	天社蛾科	Notodontidae	六三二
三	尖蛾科	Gynatophoridae	六六八
四	枯葉蛾科	Lasiocampidae	六七八
五	樺蛾科	Endromiidae	六九四
六	毒蛾科	Lymantiridae	六九五

七	天蠶蛾科	Saturniidae	七三五
八	水蠟蛾科	Brahmaeidae	七三三
九	家蠶蛾科	Bombycidae	七三三
一〇	帶蛾科	Eupterotidae	七三六
一一	鈎蛾科	Drepanidae	七三八
一二	錨紋蛾科	Callidulidae	七四七
一三	窓蛾科	Thyrididae	七四八
一四	夜蛾科	Noctuidae	七五一
一五	虎蛾科	Agaristidae	八五八
一六	尺蛾科	Geometridae	八六一
一七	尾蛾科	Epicopeidae	九三七
一八	燕蛾科	Uranidae	九三九
一九	雙尾蛾科	Epilemenidae	九四〇
二〇	燈蛾科	Arctidae	九四三
二一	斑蛾科	Zygaenidae	九八三
二二	鹿子蛾科	Syntomidae	九九三
二三	刺蛾科	Cochlidionidae	九九七

二四	蟬蛾科	Epiphyropidae	一〇〇八
二五	避債蛾科	Psychidae	一〇〇九
二六	腿蛾科	Tinaegeridae	一〇一〇
二七	硝子蛾科	Aegeridae	一〇一一
二八	木蠹蛾科	Cossidae	一〇一八
二九	格子蛾科	Arbelidae	一〇二二
三〇	蝙蝠蛾科	Hepialidae	一〇二二
三一	螟蛾科	Pyralidae	一〇二五
三二	鳥羽蛾科	Pterophoridae	一〇二四
三三	多翼蛾科	Orneodidae	一〇五九
三四	葉捲蛾科	Tortricidae	一〇六〇
三五	擬葉捲蛾科	Glyphipterygidae	一〇六八
三六	麥蛾科	Gelechiidae	一〇七一
三七	房蛾科	Cosmopterygidae	一〇八七
三八	鎌蛾科	Oecophoridae	一〇八八
三九	木堀蛾科	Xyloryctidae	一〇九三
四〇	根蛾科	Heliodinidae	一〇九四

四一	絹蛾科	Scythridae	1094
四二	巢蛾科	Hypomonentidae	1095
四三	筒蛾科	Coleophoridae	1099
四四	細蛾科	Gracillariidae	1100
四五	菜蛾科	Plutellidae	1101
四六	潛蛾科	Lyonetidae	1105
四七	穀蛾科	Tineidae	1106
四八	長角蛾科	Adelidae	1109
四九	微蛾科	Nepitculidae	1114
五〇	昔蛾科	Micropterygidae	1115

第七 毛翅目 TRICHOPTERA 111—116

一	石蠶科	Phryganeidae	119
二	列石蠶科	Limnophilidae	123
三	毛石蠶科	Sericostomidae	126
四	枝石蠶科	Calamoceratidae	129
五	齒石蠶科	Odontoceridae	128

第八 長翅目 MECOPTERA 131—140

六	角石蠶科	Leptoceeridae	129
七	細石蠶科	Molanidae	130
八	縞石蠶科	Hydropsychidae	131
九	河石蠶科	Stenopsychidae	134
一〇	流石蠶科	Rhyacophilidae	135
一一	姬石蠶科	Hydroptilidae	136

一	舉尾蟲科	Panorpidae	141
二	長舉尾科	Bitacidae	146

第九 脈翅目 NEUROPTERA 141—141

一	粉蜻蛉科	Coniopterygidae	153
二	擬螳螂科	Mantispidae	154
三	蛟蜻蛉科	Myrmeleonidae	155
四	角蜻蛉科	Ascalaphidae	156
五	姬蜻蛉科	Hemerobidae	161

六 櫛蜻蛉科	Dilaridae	1163
七 草蜻蛉科	Chrysopidae	1163
八 網蜻蛉科	Apochrysidae	1165
九 毛蜻蛉科	Berothidae	1166
一〇 絹蜻蛉科	Psychopsidae	1166
一一 廣蜻蛉科	Osmyidae	1167
一二 水蜻蛉科	Sisyridae	1169
一三 駱駝蟲科	Rhaphidiidae	1170
一四 泥蜻蛉科	Sialidae	1170
一五 蛇蜻蛉科	Corydalidae	1171

第一〇 有吻目 RHYNCHOTA 1171-1182

一 椿象科	Pentatomidae	1175
二 緣椿象科	Coreidae	1190
三 絲椿象科	Berytidae	1196
四 長椿象科	Lygaeidae	1196
五 星椿象科	Pyrrhocoridae	1201

六 軍配蟲科	Tingidae	1201
七 扁椿象科	Aradidae	1201
八 水黽科	Gerridae	1202
九 食椿象科	Reduviidae	1206
一〇 水椿象科	Saldidae	1215
一一 床蝨科	Cimicidae	1215
一二 盲椿象科	Capsidae	1216
一三 花椿象科	Anthrocoridae	1211
一四 眼水蟲科	Pelagonidae	1211
一五 金判蟲科	Nanoceridae	1213
一六 鍋蓋蟲科	Aphelocheiridae	1213
一七 田鱉科	Belostomatidae	1213
一八 紅娘華科	Nepidae	1214
一九 松藻蟲科	Notonectidae	1216
二〇 圓水蟲科	Pleidae	1217
二一 風船蟲科	Corixidae	1218
二二 蟬科	Cicadidae	1219

二三	角蟬科	Membracidae	一三四〇
二四	耳蟬科	Scutidae	一三四一
二五	沫吹科	Cercopidae	一三四三
二六	浮塵子科	Jassidae	一三五〇
二七	白蠟蟲科	Fulgoridae	一三六四
二八	木蝨科	Psyllidae	一三七四
二九	蚜蟲科	Aphidae	一三七七
三〇	綿蟲科	Pemphigidae	一三八九
三一	瘤蚜科	Phylloxeridae	一三九九
三二	毬蚜科	Chermesidae	一三九九
三三	粉蝨科	Aleurodidae	一四〇〇
三四	介殼蟲科	Coccidae	一四〇一
第一 蝨目 SIPHUNCULATA				一四一一—一四二〇
一	蝨科	Pediculidae	一四二五
二	猿蝨科	Pedicinidae	一四二六
三	毛蝨科	Phthiridae	一四二六

第二 總翅目

THYSANOPTERA

四	盲蝨科	Haematopiniidae	一四二七
五	象蝨科	Haematomyzidae	一四三〇
第二 總翅目 THYSANOPTERA				一四三一—一四三六
一	菅蓟馬科	Phloeothripidae	一四三四
二	縞蓟馬科	Aeolothripidae	一四三五
三	蓟馬科	Thripidae	一四三五

第三 直翅目

ORTHOPTERA

第三 直翅目 ORTHOPTERA				一四三九—一四六〇
一	螻蛄科	Gryllobalpidae	一四四一
二	蚤蝗科	Tridactylidae	一四四一
三	蟋蟀科	Gryllidae	一四四三
四	蟋蟀科	Gryllacridae	一四四〇
五	穴螽科	Stenopelmaticidae	一四四一
六	蝗蟲科	Aceridae	一四四二
七	螞斯科	Locustidae	一四四三
八	菱蝗科	Tettigidae	一四六四

九 竹節科 Phasmidae 1366

一〇 蠃螂科 Mantidae 1369

一一 長蠊科 Grylloblattoidae 1373

一二 蚌蟻科 Blattidae 1373

第一四 革翅目 DERMAPTERA 1381—1386

一 蠼螋科 Forficulidae 1383

第一五 食毛目 MALLOPHAGA 1389—1396

一 獸蝨科 Trichodectidae 1391

二 長羽蝨科 Philopteridae 1392

三 羽蝨科 Liotheidae 1396

第一六 茶柱目 PSOCOPTERA 1397—1402

一 茶柱蟲科 Psocidae 1401

二 粉茶柱科 Troctidae 1402

第一七 白蟻目 ISOPTERA 1404—1414

一 大白蟻科 Calotermitidae 1404

二 白蟻科 Termitidae 1410

第一八 紡脚目 EMBIIDINA 1414—1418

一 擬白蟻科 Oligostonidae 1414

第一九 積翅目 PLECOPTERA 1418—1424

一 網積翅科 Perlodidae 1421

二 積翅蟲科 Perlidae 1422

三 姬積翅科 Nemuridae 1425

四 裸積翅科 Apteroperlidae 1426

第二〇 蜻蛉目 ODONATA 1427—1434

一 蜻蛉科 Libellulidae 1429

二 蜻蜓科 Aeschnidae 1436

三 昔蜻蛉科	<i>Epiophlebitidae</i>	1452
四 河蜻蛉科	<i>Calopterygidae</i>	1453
五 豆娘科	<i>Agriionidae</i>	1460

第二 蜉蝣目 *Ephemeroptera* 1461—1480

✓ 一 蜉蝣科	<i>Ephemeridae</i>	1467
二 縞蜉蝣科	<i>Palaemnathidae</i>	1469
三 小蜉蝣科	<i>Ephemerellidae</i>	1470
四 豆蜉蝣科	<i>Baetidae</i>	1471
五 双蜉蝣科	<i>Siphonuridae</i>	1473
六 尾蜉蝣科	<i>Ecdyonuridae</i>	1476

第三 雙尾目 *Diptera* 1481—1484

一 長跳蟲科	<i>Campodeidae</i>	1483
二 缺跳蟲科	<i>Japygidae</i>	1483

第三 總尾目 *Thysanura* 1485—1488

一 衣魚科	<i>Lepismaetidae</i>	1487
二 石跳蟲科	<i>Machilidae</i>	1487

第二 彈尾目 *Collembola* 1489—1498

一 角跳蟲科	<i>Entomobryiidae</i>	1491
二 跳蟲科	<i>Poduridae</i>	1494
三 圓跳蟲科	<i>Sminthuridae</i>	1496

附

學名命名者略字解	1—6
檢出索引	1—13

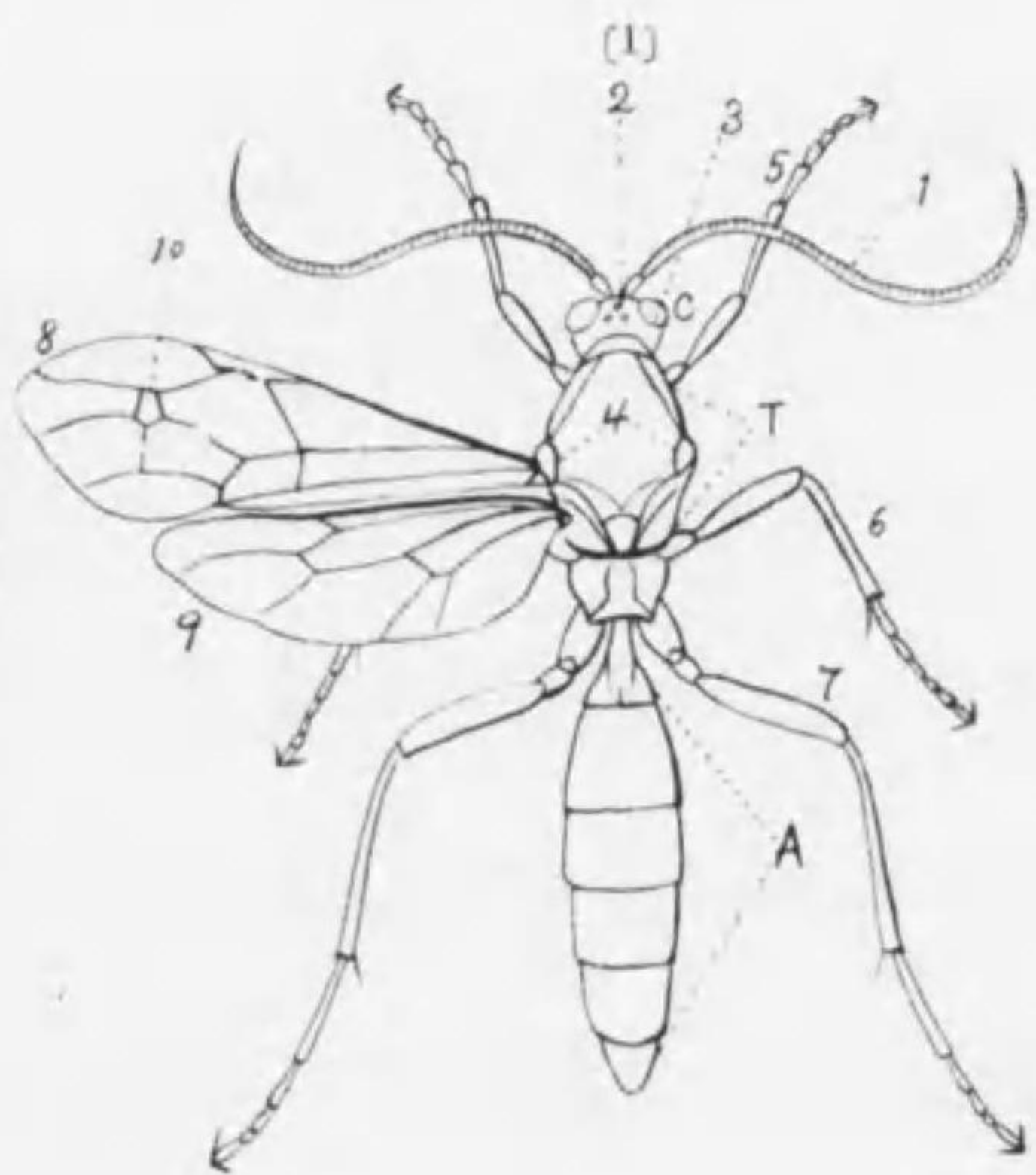


膜翅目 HYMENOPTERA

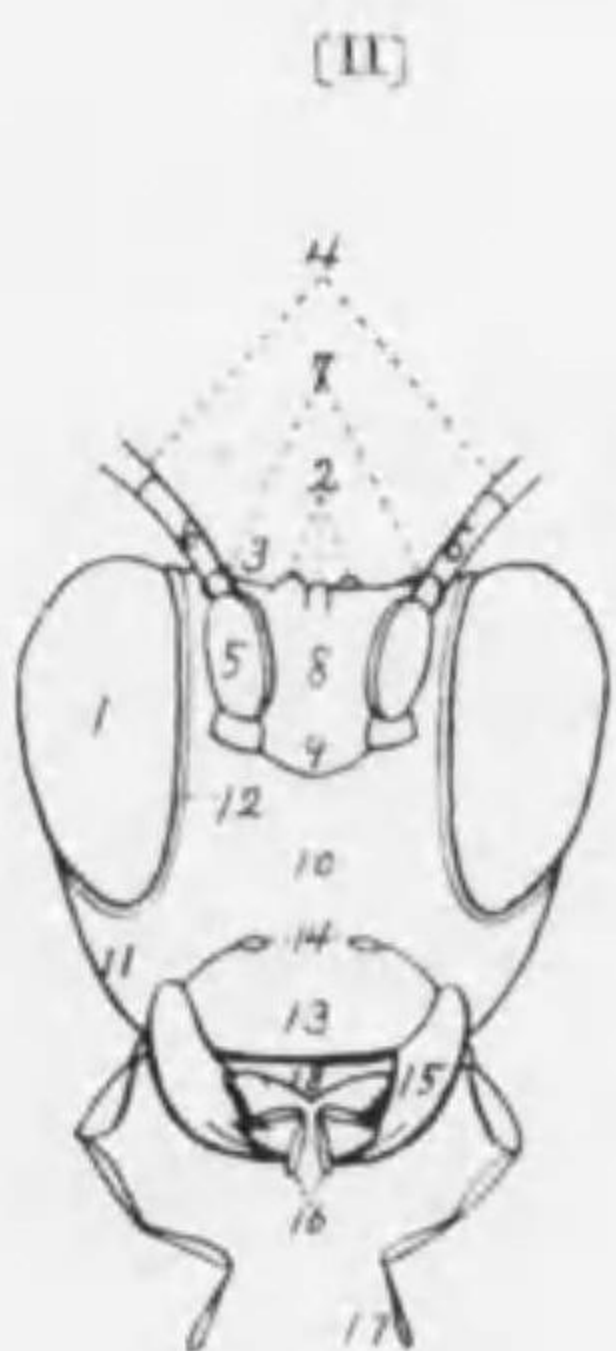
第一 膜翅目

Hymenoptera

口部は咀嚼及び紙食に適し、前胸は癒着して自在に動かす。四翅膜質、翅脈少し。往々翅を缺くものあり。頭は自由に動き、普通、複眼の外三個の單眼を有す。雌の尾端には産卵管又は毒刺を有す。變態は完全なり。本邦學名を有するもの約二千種あり。この内、葉蜂の如く植物に有害なるものもあるも、花蜂の如き、姫蜂の如き農林業者に有益なるものも少なからず。



(1) (2) (3) (4) (A) (T) (C)
頭部 胸部 腹部 觸角 單眼 複眼 翅底鱗



(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)
複眼 單眼 頭頂 觸角 觸角柄節 觸角梗節 第一鞭節 觸角溝
(10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18)
額 頰 複眼內緣 額片溝 額片 大腮 下唇鬚 小腮鬚 上唇

一 蜜蜂科 Apidae

觸角は膝狀。後肢の第一跗節は多くは側扁にして、花粉を採集するに適す。前翅に二又は三個の副前緣室あり。成蟲は花蜜を吸收し、これと同時に花粉の媒介をなすを以つて農家に有益なり。本邦學名を有するもの約六十種あり。

オホクビレハナバチ

Andrena anthracina Moit.

黒褐、灰白毛多し。大腮端赤褐。各腹節の兩側は黄褐、尾端に暗褐毛多し。脚暗褐、腿節に灰白長毛あり。體長四分。花間に普通なり。



分佈 本州。

トモンハナバチ

Andrena japonicum Sait.

體暗褐。頭腹の紋は橙黄色。前頭に黄白、後頭に暗褐、中胸背に暗黄の長毛を密生す。翅端の三分の一は濃き暗色。腹部は黒色。體下に灰白長毛多し。脚黒色。體長五分。



第一膜翅目

セアカハナバチ

Anthophora boeckie Kriegl.

體黒褐。胸部に黄毛を密生す。頭部には白色又は灰白の長毛多し。第一腹節の兩側及び第二腹節の後縁の兩側に黄褐毛を裝ふ。體長四分。花間に捕へ得べし。



分佈 沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

シロスチハナバチ

Anthophora borea Sait.

黒色。後頭及び胸部には黄褐毛を密生す。額片及び上唇には黄白部多し。胸部は黄褐毛を密生す。第一、二腹節暗褐、後縁黄褐、第三、四兩腹節の後縁は灰白。體下光澤ある栗色。體長五分五厘。花間に稀なり。



分佈 本州、九州、支那。

アラスチハナバチ

(五)

Anthophora zonata L.

黒色。額片黄白、二個の黒紋あり。上唇黄白、褐毛を粗生す。頭及び胸部に黄褐毛を密生す。第一腹節の基部には同色毛を粗生し、各節の後縁は金屬性の光澤ある青色。體長四分。



分佈 沖縄、臺灣、朝鮮、印度、ビルマ。

ミツバチ(蜜蜂)

Apis indica F.

職蜂は體暗褐、觸角の基部、頭、胸及び腹部のヤポニカ形。雌は腹圓錐形にして長し。雄は複眼大にして、頭頂にて相接す。體長五分内外。



分佈 北海道、本州、四國、九州。

コマルハナバチ

Hombus ardens Sait.

全體黄色長毛を密生す。大腮の末端は黄褐。尾端



三

橙黄色。體下には灰黄の長毛を粗生す。跗節は褐色。體長五分。花間に普通なり。

分布—北海道、本州。

タイワンマルハナバチ.....(八)

Bombus bicoloratus Sm.



全體天鵝絨様の光澤ある黒褐毛を密生す。口部に金色の短毛を装ふ。第三腹節以下及び腿節並に脛節に金色の光澤ある赤褐毛を密生す。

體長一寸。臺灣高山地帯に普通なり。分布—臺灣。

トラマルハナバチ.....(九)

Bombus diversus Sm.



體黒色。額、第二及び三腹節に長黒毛を密生す。

す。頭頂、胸及び腹に橙黄色の長毛を装ふ。後胸に毛を缺く。第四、五腹節に灰黄毛を簇生す。體長六分内外。花間に普通なり。

分布—北海道、本州。

ウスイロマルハナバチ.....(一〇)

Bombus equestris F.



體黒色。淡黄緑の長毛を密生す。前頭及び頸に黄白毛を装ふ。中胸背には黒毛多し。第二腹節の前縁に灰白毛の一帯、各節の後縁に黄白毛の一帯あり。體長六分内外。花間に普通。

分布—北海道、本州。

クロマルハナバチ.....(一一)

Bombus ignitus Sm.



全體長黒毛を密生す。第四、五、六腹節には光澤ある黄褐長毛を密生す。翅暗灰白、中央筋や透明。脛節及

び跗節は褐色。體長六分内外。花間に普通なり。

分布—本州、四國、九州。

オホマルハナバチ.....(一二)

Bombus sapeforensis Kolw.



體黒色。頭、胸、第一及び三腹節並に腹面の長毛は黒色。額片に黄褐毛あり。頸は黄白。第二腹節に黄毛帯を具へ、第四節以下は黄褐毛を密生す。體長七分内外。普通なり。

分布—樺太、北海道。

マルハナバチ.....(一三)

Bombus speciosus Sm.



頭に黒毛を密生し、後頭及び胸背には黄毛あり。第二腹節に黄毛を密生し、前半褐色、第三、四節は黒色、第五、六、七は赤褐、腹面に灰白長毛を密生す。跗節黄

褐。體長五分五厘。花間に住するも少なし。

分布—北海道、本州。

キイロマルハナバチ.....(一四)

Bombus terrestris Sm.



體暗褐。黄褐長毛を密生す。觸角間に黄色及び黒色の長毛あり。胸側は淡色。腹部の長毛は胸背にあるものより少しく淡色。體長八分内外。普通。

道、本州。

ヨシタマルハナバチ.....(一五)

Bombus yoshidai Mats.



全體黒長毛を密生す。額片には毛を缺く。第二腹節に黄毛帯あり、第五、六及び七節には黄褐長毛を密生す。脛節並に跗節は黄褐。體長七分内外。少なし。

分布—北海道、本州。

キオビコハナバチ.....(一六)

Ceratina heroglyphica Sm.



體黒色。灰色の短毛を装ふ。頭、胸及び腹部の斑ヤボニカ形。日本。紋は橙黄色。觸角鞭節の前面は暗褐。脚は黒褐、黄紋あり。體長三分。花間に普通なり。

分布—北海道。

アラヒメハナバチ.....(一七)

Ceratina viridissima Guér.



金綠色。額片の中央にある三角紋及び肩部は黄色。額片の前縁、上唇、大唇及び頬の一紋黒色。觸角暗褐。中胸背に七條の黒縦條あり。脚暗褐、綠色を帯ぶ。體長二分五厘。臺灣に普通なり。

分布—臺灣、支那、印度。

トガリハナバチ.....(一八)

Coelioxys fenestrata Sm.

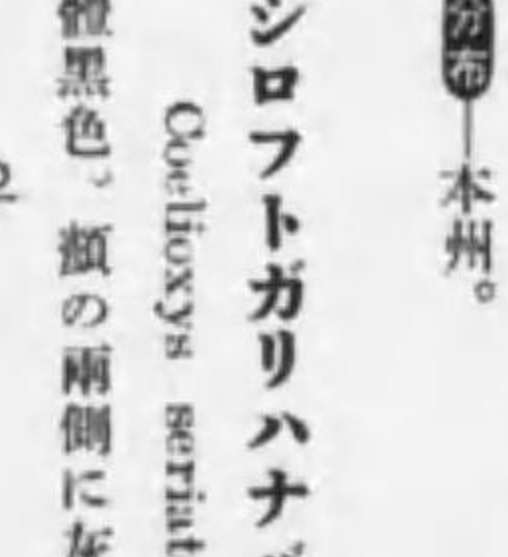
體黒色、光線の工合にて少しく紫色を現はす。

額は黄褐短毛を密生す。頭頂は暗褐。後胸の兩側に黄色短毛を有す。翅黒藍色、基部黄色透明。第一、二、三及び四腹節の後縁は細く白色。胸片に黄褐短毛を密生す。體長六分—八分。他の花蜂に寄生。

分布—本州。

シロフトガリハナバチ.....(一九)

Coelioxys saratopunctatus Mats.



體黒色。額の兩側に灰黄毛多し。頬に灰白毛あり。胸側に灰白毛を装ふ。各腹節の後縁及び第一節の兩側に白色鱗毛多し、第二乃至第五腹節の兩側にも亦白鱗を列ぬ。脚暗褐、跗節及び爪は黄褐。體長四分五厘。他の花蜂に寄生す。

分布—臺灣(恒春)。

ワタナベトガリハナバチ.....(二〇)

Coelioxys watanabei Mats.



體黑色。頭に黄褐長毛を密生す。觸角暗褐、末端赤褐。口吻黄褐。翅は光線の工合により紫藍色を現はす。各腹面節の後縁は赤褐にして、灰白毛を装ふ。脚黒褐。體長八分。これは臺灣に少し。
分布—臺灣(北埔)。(二一)

ヤノトガリハナハチ
Cochoxys yunnanensis Mats. (二一)



體黑色。頭に黄褐の短毛を密生し、頭頂及び額片に黒褐短毛を、中胸背及び後胸後縁に黄色の短毛を密生す。翅透明。第一より第五腹節までは其の後縁黄色。體長四分内外。少し。
分布—本州、九州。
 ルリモンハナハチ
Crocieta emarginata Tsg. (二二)

シロスチヒメハナハチ
Halictus ocellatus Sm. (二七)

體黒色。腹部光澤を有し、各部の後縁に短白毛を装ふ。胸腹の下面には黒褐長毛を粗生す。體長四分。沖縄には普通なり。
分布—沖縄。



キバラハキリハチ
Megachile horu Bingham (三〇)

體黑色。胸部及頭部には淡黄色の長毛を簇生す。各腹節の後縁に灰白色の短毛を装ひ、腹面に黄褐毛を密生す。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。體長三分五厘。少し。
分布—小笠原島、沖縄、印度。



オホハキリハチ
Megachile doederleini Friess (三九)



し。斑紋は青藍色なり。觸角黒褐。腹部は光線の工合にて藍色を呈す。體長四分。普通。
分布—本州、沖縄、臺灣、支那、印度、馬來。

エルモンハナハチ
Crocieta remota Tsg. (三三)



體黑色。前種に酷似すれども、斑紋白色なり。觸角黒色。顔面及び後頭には白毛を密生す。體長四分。
分布—北海道、本州、沖縄、滿洲、ビルマ、セイロン、歐洲。
 シロモンハナハチ
Crocieta zentelhoris F. (三四)



體黑色。斑紋は總て青白色。頭頂は圓く黒色、殘部は青色毛を密生す。觸角暗褐。翅は暗色、少しく紫色を帯ぶ。第二腹節並に第三節の兩側の後縁に白毛を列ね、腹面に黒毛を密生し、第二節のものは黄褐。體長七分。普通。
分布—本州、四國、九州、沖縄。



體黑色。頭片及び上唇は黄色。黄白毛を密生す。頭頂及び胸部に黄褐毛を密生し、後者に天鰐絨様の光澤あり。各腹節の後縁は灰色、但し第四及び第五節に於ては黄褐毛を装ふ。體長五分。普通なり。
分布—北海道、本州、歐洲。
 クビレヒメハナハチ
Halictus conscriptus Mats. (三六)



體黒色。頭胸に黄褐長毛を密生す。觸角黒褐、末端少しく淡色。各腹節及び腹面の後縁は黄褐。脚黒褐。體長三分。少し。
分布—北海道。



體黑色。後胸に絹様の長白毛を密生す。翅は暗色、少しく紫色を帯ぶ。第一腹節の後縁及び第二節の前縁に白色の短毛を密生し、第三節の兩側に白毛塊を装ひ、腹面に灰黄毛を密生す。體長五分。普通なり。
分布—沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

オホツヒメハナハチ
Melitta macrops Mats. (三三)



體黑色。前種に酷似すれども、斑紋白色なり。觸角黒色。顔面及び後頭には白毛を密生す。體長四分。
分布—小笠原島、沖縄、印度。

サカグチハキリハチ
Megachile zakarachi Mats. et Tsch. (三一)

ダイメウキマダラハナバチ……………(三四)

Nomada daimio Mats.



♀

黒褐。頭部及び腹部に黄色紋あり。第一腹節の中央帯及び各節の後縁は赤褐。脚黄褐。體長四分。少なし。

分布—北海道。

エゾキマダラハナバチ……………(三五)

Nomada jezoensis Mats.

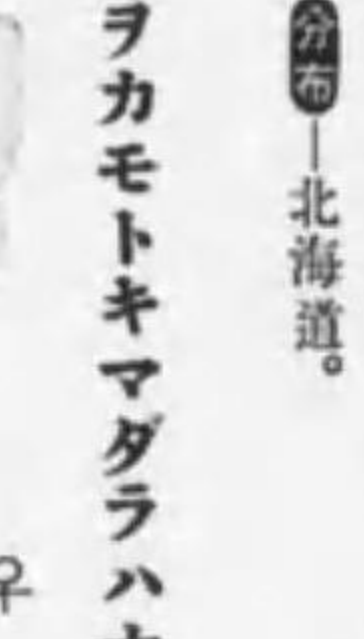


♀

黒褐。黄白の長毛を密生す。複眼前方の兩側、額片の前半、胸部及腹部の斑紋は黄色。觸角黄褐。各腹節の黄色部の後縁は赤褐を帯ぶ。體長四分。普通なり。

分布—北海道。

ヲカモトキマダラハナバチ……………(三六)



♀

黒色。灰白短毛を粗生す。複眼側の三角部、額片、上唇、大

Nomada okamotoi Mats.

ハラアカハナバチ……………(四一)

Paravaspis basalis Knts.



體黑色。額の兩側に灰白長毛を粗生す。口部金色の黄褐毛を裝ふ。翅は暗色、紫色を帯ぶ。腹部は黄褐にして、光澤を有し、第一腹節の前半は黒色。體長五分。少なし。

分布—本州、九州。

ウスアカヒメハナバチ……………(四二)

Sphexoides pallidulus Mats.



♀

黒色、少しく緑色を帯び、黄褐毛多し。額片の前縁及び大腮の末端は赤褐。腹部は赤黄、第三、四節の前縁紋並に第五節の兩側は暗褐、尾節に灰白毛多し。體長二分五厘。少なし。

分布—九州。

アカヒメハナバチ……………(四三)

Sphexoides stultimus Sm.

黒褐。灰黄の短毛を裝ふ。大腮赤褐。觸角栗

腮、柄節、胸部及び腹部の斑紋は黄色。脚淡黄褐。體長二分五厘。少なし。

分布—北海道。

オホアラスチハナバチ……………(三七)

Nomia chalybeata Sm.



♀

黒色。額には灰黄の短毛を密生す。胸部には暗褐毛を密生す。第二腹節以下各腹節の後縁青色にして、點刺を缺く。脚黒色、脛節及び跗節には黄褐毛多し。第一跗節の外側には灰白毛を裝ふ。體長四分五厘。亞熱帯地方に普通なり。

分布—沖縄、臺灣、支那、印度。

アシフトハナバチ……………(三八)

Nomia femoralis Pall.



♀

黒色。頭及び胸部に黄褐毛多く、前頭に金色の長毛を密生す。大腮の末端赤褐。觸角は暗褐、鞭節の前面赤褐。各腹節の後縁暗褐にして、灰色毛を列ね、腹面暗褐、第四節に二個の棘状突起あり。體長三

分。花間に稀ならず。

分布—九州。

アカツノハキリバチ……………(三九)

Osmia rufa L.



♀

體黒褐、少しく青銅色の光澤を帯ぶ。觸角の基部に黄褐の長毛塊を裝ふ。胸側には黄褐の長毛あり。第二、三及び四腹節の後縁には黄褐毛を粗生し、第五及び六節の全部、各節の兩側に黄褐の長毛を裝ひ、腹面にも同様の長毛あり。體長四分内外。普通。

分布—北海道、本州、九州、西比利亞、歐洲。

コハラアカハナバチ……………(四〇)

Paravaspis abdominalis Sm.



♀

黒色。灰白毛を裝ひ、額の兩側に銀白毛を密生す。觸角暗褐。翅半透明、暗色を帯び、光線の工合にて紫藍色を呈す。腹部赤褐、各節の後縁及び尾節は黄褐。脚黒褐。體長三分。少なし。

分布—本州、九州、臺灣、支那、印度。

マヘキクマバチ……………(四七)

Xylocopa auripennis Farg.



♀

黒色。口吻黒色、其の周圍は赤褐、大腮の基部に赤褐紋あり。翅は黒藍色、翅の半部は金色光澤ある紺色。跗節及び爪は暗褐。體長八分。普通なり。

分布—臺灣、支那、馬來、印度。

クマバチ……………(四六)

Xylocopa circumvolans Sm.



♀

體黒色。後頭縁の中央に黄毛を簇生す。胸部に黄毛を密生す。翅黒藍色にして、不透明。第五、六腹節には長黒毛を密生す。體長七分。

分布—本州、四國、九州。

マヘキクマバチ……………(四七)

Xylocopa flavifrons Mats.

體は黒色の長毛を簇生す。顔の紋及び觸角柄節の前面は黄白



口吻黒褐色。鞭節の前面は黄褐色。翅半透明

にして、黒藍色を帯ぶ。各腹節の後縁は赤褐色。跗節暗褐色、黄褐色多し。體長七分。少なし。

分布—沖縄。

ハヒイロクマバチ……………(四八)

Xylocopa formosana Mats.



吻の末端は赤褐色。翅は半透明。暗褐色を帯び、光線によ

り紫色を呈す。第一腹節に灰黄色の毛塊あり。體長八分。餘り多からず。

分布—臺灣。

キイロクマバチ……………(四九)

Xylocopa hypogonis Mats.



角柄節の前面は黄色。口吻の下面は黄褐色。翅は半透明、

灰黄色。脚黒褐色。體長一寸。少なし。

分布—臺灣。

ヲガサハラクマバチ……………(五〇)

Xylocopa ogasawaraensis Mats.



體光澤ある黒

二 擬蜜蜂科 Colletidae

頭は長く、時に三角形を呈するものあり。舌は短大。本科のものは小形にして、社會組織をなさず。本邦學名を有するもの四種あり。

ミツハチモドキ……………(五一)

Colletes perforator Sm.



體光澤ある黒色。觸角末端赤褐色。第二及び三腹節に白色毛を密生す。脚黒褐色。體長四分。これは花間に捕へ得るも少なし。

分布—本州。

ヒメハナバチモドキ……………(五二)

Prosopeja floralis Sm.



體は光澤ある黒色。口部橙黄色。觸角赤褐色。胸部に黄紋あり。各腹節の後縁赤褐色。體長二分。これは道路に普通なり

分布—北海道、本州。

三 胡蜂科 Vespidae

觸角膝狀。複眼は腎臓形。前翅に二又三個の副前縁室あり。猛毒ある産卵管を有す。多くは社會組織をなす。成蟲はケムシ、イモムシ等を捕食して有益なるものあれども、又一方には果實を害するものもあり。本邦に約三十五種あり。

スズメバチ……………(五三)

Vespa mandchurica Sm.



體は黒褐色。頭は黄褐色。後頭著しく刻られ、額片に二突起を具ふ。後頭に暗褐色、胸腹に黒褐色

を呈ふ。稜狀部には普通四個の黄褐色あり。各腹節の後縁及び尾節は黄褐色。脚は黒褐色。翅は黄褐色、半透明。體長一寸四五分。普通なり。

分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那。

タイワンオホスズメバチ……………(五四)

Vespa magnifica Sm.



雌は前種に似るも、中胸の前縁にV字形紋を具へ、職蜂にありてはこれを缺く。腹部暗褐色、第一、二節の前縁及び後縁、殘各節の二紋並に後

縁は黄褐、尾節は黄色。翅は濃黄褐、稍不透明。體長九分—一寸五分。普通なり。
分布—臺灣、支那、印度。

キイロスズメバチ *Vespa auraria* Sm. (五)

體は黒褐。頭頂の一紋、中胸背、稜状部の十字溝、後胸の中央、胸下及び腹部の斑紋は暗褐、黄褐の細毛を密生す。第一、二腹節に各二個の黄紋あり。翅は黄褐、透明。體長七分—九分。普通なり。
分布—本州、九州、支那。

ヒメスズメバチ *Vespa ducalis* Sm. (六)

體は黒褐。頭、前胸背、稜状部、第一、二腹節及び脚は黄褐。第一、二腹節の後縁に黒褐の一帯あり。第四、五、六、七節は黒褐。翅は赤橙黄色。觸角は黒褐。前胸背の一横紋及び第一腹節の前縁は黄褐。腹部暗褐、尾節黄色。翅は黄褐。脚は黒褐。體長六分—九分。これは何れの地方にも多からず。
分布—北海道、本州、九州。

ヒメモンズズメバチ *Vespa mongolica* André (六〇)

體は黒褐。頭、前胸背、中胸背の二紋、中胸側の一紋、稜状部の四紋、各腹節の後縁及び脚は黄褐。下面及び第二腹節の半は黄色、第三節以下各節の兩側に黄褐紋あれども、第四、五節にあるものは判然せず、第六節は黄色。體長七分—八分。これは樺太に普通なり。

褐、半透明。體長七分—一寸三分。分布—本州、九州、沖繩、臺灣。

キオヒスズメバチ *Vespa flavofasciata* Sm. (五七)

體は黒褐。觸角暗褐。頭、前胸背の一帯、中胸背の二紋、稜状部及び其の下方の二紋、第一、二腹節は黄褐、この二節に黒褐の各一帯を具す。第二節

分布—樺太、北海道、本州。

オホクロスズメバチ *Vespa rufa* L. (六一)

體は黒色。大腮、額片、複眼間の三紋、觸角柄節の下面、前胸背の一横紋及び後縁、稜状部の四紋、胸側の二紋、各腹節の後縁は黄色又は黄褐。各腹節の黄帯は兩側及中央にて半圓形に列らる。翅黄褐。脚黑色、黄紋を有す。體長五分五厘。
分布—樺太、北海道、本州。

ツマグロスズメバチ *Vespa formosana* Sjöman (六二)

體は黄褐。觸角間に一黒紋あり。中胸背の前縁及び中央の縦線は黒褐、後胸背の中央暗色、第三腹節以下は黒褐。翅は黄褐、半透明。體長七分—八分。
分布—沖繩、臺灣、支那、印度。

のものには波状をなす。腹部及脚は黒褐。職蜂は胸背に紋を缺く。體長九分—一寸一分。分布—本州、九州。

モンズズメバチ *Vespa crabro* L. (五八)

體は黒褐。前胸背、翅底鱗、第一腹節の中央及び後縁は黄褐。頭頂の一紋、觸角の末端は黒褐、第二及び第三腹節の後縁並に残節は黄色。第四及び第五節の兩側に各一黒紋を具へ、雄にてはこれを缺く。翅黄褐、透明。脚黒褐。體長九分—一寸一分。普通なり。稍々球形の巢を造る。
分布—北海道、本州、九州。

コガタノスズメバチ *Vespa parvillera* André (五九)

體は黒褐。觸毛を裝ふ。頭及び各腹節の後縁は黒色。額片、大腮、複眼間の三紋、前胸背の後縁、胸側の一紋、稜状部の一紋、各腹節の後縁並に脚は黄色、少しく綠色を帯ぶ。額片の中央に黒縦條あり。翅は透明、少しく暗色を帯ぶ。體長四分—六分五厘。普通なり。
分布—樺太、北海道、本州、九州。

クロスズメバチ *Vespa japonica* Saunders (六三)

トビイロアシナガバチ *Polistes confusus* Sm. (六四)

體は暗褐。頭には小點刻を密布し、斑紋を缺く。觸角は黒褐。前胸背の後縁は淡色、胸背に横皺多し。腹

部は少しく金色を帯び、光線の工合にて少しく紫色を現はす。翅は黄褐、半透明。體長一寸一寸五分。これは臺灣に普通なり。

分布—臺灣、支那、印度。

アシナガハチ

Polistes bellicosus F.

(六五)



♀

體黑褐。頭、前胸の一横線、後縁、中胸背の二縱條、稜狀部の二紋、其の下方の一帯、後胸背の二縱紋、胸側の二紋、胸下、各腹節の後縁及び脚の暗褐。各腹節の兩側にある一黄褐紋は第二節にありて特に大なり、各節の黄帯は兩側及び中央にて少しく列する。翅黄褐。基節、腿節、脛節等の上面は黒褐。體長七分—八分五厘。北海道に産せず。

分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度。

コアシナガハチ

(六六)

七〇。翅は黄褐。體長六分内外。稀ならず。

分布—本州。

キボシアシナガハチ

Polistes mandchuricus Sznuss.

(七〇)



♀

體黑褐。前頭の兩側、頬、大腮、觸角は赤褐。額片黄色。前胸背、翅底鱗下の二紋及び稜狀部は黄褐、後者前後の兩縁及び後胸背の二紋は黄色。各腹節の後縁は黄褐、體長五分—六分。稀ならず。

分布—本州。

オキナハアシナガハチ

Polistes okinawensis Mats. et Ueda.

(七一)



♀

體黄褐。中胸背、胸下面、脚基部に黒色部あり。第一腹節黒色、後縁黄色、兩側に大なる二

Polistes yokohamae Rat.

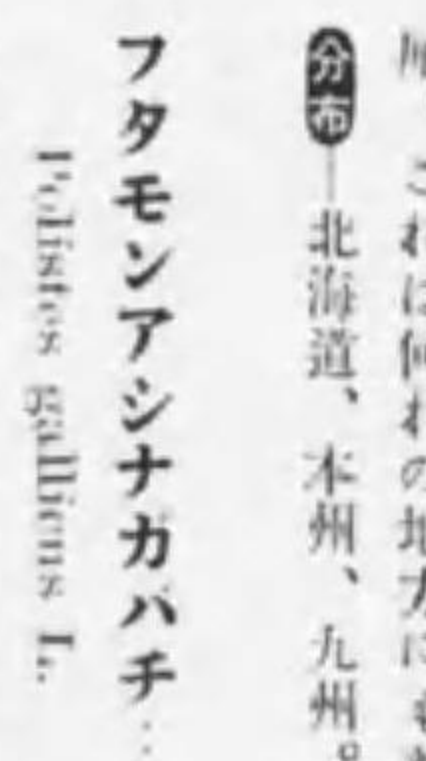
體黑褐。頭胸に點刺を密布し、微毛を裝ふ。觸角の末部は暗褐。額片、大腮、眼の後方、前胸背、稜狀部、翅底鱗、各腹節後縁等黄褐。腹部は絹様の光澤を帯ぶ。翅黄褐。脚暗褐。體長四分—五分五厘。これは何れの地方にも普通なり。

分布—北海道、本州、九州。

フタモンアシナガハチ

Polistes sulcatus F.

(六七)



♀

體黑褐。額片、前胸背の一横線及び後縁、稜狀部の四紋、後胸背の二縱條、各腹節の後縁、第一、二腹節の二紋並に胸下は黄色。翅黄褐。脚黄色、基節及び腿節の上面は黒色。體長六分。普通なり。

分布—樺太、北海道、本州、九州、歐洲。

黄紋を具へ、以下各節の中央に彎曲せる細き黒帯あり。翅は透明、前縁は黄色。體長一寸—一寸一分。普通なり。

分布—沖縄。

ホソアシナガハチ

Polystia orientalis Sznuss.

(七三)



♀

體黄色。頭頂の一紋及び觸角柄節の上面は黄褐。前胸の兩側に八字形の黒褐紋を具へ、中、後兩胸背の三縱條は黄褐。腹背は暗褐、各節に二個の黄紋あり。翅透明、少しく灰黄色を帯ぶ。脚黄色。體長六分五厘。普通なり。

分布—本州、九州、沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

スズバチ

Eumenes japonica Sznuss.

(七三)



♀

體黑褐。額

ヤヤマアシナガハチ

Polistes yayeyamae Mats.

(六八)



♀

體黄褐。胸下、頭頂(二黄紋を除き)、觸角の中央、中胸背(四黄色紋を除き)、後胸背の前縁及び一縱條、第一腹節の基部、第二腹節の基部並に脚各節の基部は黒色。翅は黄褐、透明。第一腹節の中央に黒帯を具へ、第三、四節の兩側に黒き半環紋あり。體長六分—七分五厘。餘り多からず。

分布—沖縄(八重山)。

ヒメアシナガハチ

Polistes erythroceus Cam.

(六九)



♀

體黑褐。觸角黄褐。大腮、上唇、頬及び脚は黄色。前胸背の兩側は黄褐。稜狀部の四紋及び中胸背の二縱條は黄色。各腹節の後縁は黄色、但し第二、三、四節の黄色部は兩側に二つ紋に列

片、觸角間の一紋、腹眼及び觸角基部の内側、前胸背、胸側の一紋は黄色。翅底鱗、稜狀部及び第二腹節の末端は黄褐。翅透明、少しく暗褐を帯ぶ。脚黑褐。體長八分。少なし。

分布—北海道、本州、九州。

クロスズバチ

Eumenes esuriens F.

(七四)



♀

體黑褐、黄色紋多し。第一、二腹節の後縁並に尾端の三節は黄色。稜狀部黄褐、第二腹節の中央に黒帯あり。翅透明。脚黄褐。體長七分五厘。

分布—沖縄、臺灣。

ハラナガスズバチ

Eumenes arcuata F.

(七五)



♀

體は黒色。額片、觸角間の三角紋並に胸腹兩部の斑紋

は黄白。中胸側に灰白の二紋あり。胸腹背の後方兩側は突出す。第一腹節は全長の半を占め、六紋を有す。翅は暗色、半透明。體長九分一寸。

分布—臺灣、支那、印度。

トツクリバチ *Ermenes pomiformis* F. (七六)

體黑色、點刻を密布す。額片の基部、觸角間の一紋、胸部及び腹部に黄色紋あり。脚は黄色。翅暗褐、稍々透明。第三腹節以上光澤あり。體長六分五厘。



♀

分布—本州、四國、九州、支那、歐洲。

キスチドロバチ *Odynerus flavolineatus* Sm. (七七)



♀

體黑色。額片、觸角上の一紋、胸部の斑紋、各腹節の後縁並に脚の大部は黄色。第一腹節の黄褐帯は中央にて三角形に割ら

る。翅半透明、光線の工合により紫色を現はす。體長五分。これは餘り多からず。

分布—沖縄、臺灣。

ミカドドロバチ *Odynerus mikado* Kriehbi. (七八)

體黑色。額片、觸角間の一紋、胸部の斑紋、各腹節の後縁並に脚は黄色、第一腹節の點刻は他節のものより密なり。第六節に黄帯を缺く。翅透明、少しく暗色を帯ぶ。體長三分三厘。



♀

分布—北海道、本州。

クロバネドロバチ *Rhynehium flavomarginatum* Sm. (七九)

體黑色。額片、觸角間の一紋、第一、二腹節の後縁は橙黄色。第二節帯の上縁に三個の切目あり、第二節の點刻は小、光澤を帯ぶ。翅暗褐、不透明、光線の工合にて紫色を現はす。



♀

體長五分六分。多からず。

四 細腰蜂科 Phoridae

觸角は普通短く、膝狀をなさず。複眼卵形。一乃至四個の副前線室を有す。他蟲を捕食し、有益なるもの多し。本邦に數十種あり。

オホキングダバチ *Crabro suporensis* Mats. (八三)

體黑色。大肥、觸角の柄節、第二腹節以下各節の兩側にある一紋、胸部及び脚の斑紋は黄色、額片には銀白色の細毛を密生す。翅半透明、暗褐を帯び、腹部は強き光澤を放つ、第二節にある斑紋は最大、第五節にあるものは中央にて相接續して一帯となる。脚は黑色。體長五分五厘—六分五厘。これは繖形科植物の花上に捕へ得べし。



♀

分布—北海道。

フジジガバチ *Ammophila basalis* Sm. (八四)

體黑色。觸角の基部、第一、二腹節及び脚の大部赤黄。胸背に横皺多し。翅透明、少しく黄褐

分布—本州、支那。

シリアカドロバチ *Rhynehium haemorrhoidale* F. (八〇)

體黑褐。大肥、額片、觸角及び其の中間の一紋、頭頂、頬、前胸背、稜狀部、胸側の一紋、各腹節の後縁及び尾端の三節並に前肢は黄褐、脚黑褐。翅黄褐。體長五分七分。普通なり



♀

分布—九州、沖縄、臺灣、支那、印度。

フトフタオビドロバチ *Rhynehium mandarinum* Sauss. (八一)

體黑色。額片、觸角間の一紋、複眼後方の一紋、稜狀部の二紋、胸側の一紋、後胸背兩側の一紋、第一、二腹節の後縁は橙黄色。脚暗褐。體長六分七分。多からず



♀

分布—本州、九州、支那、滿洲。

クロドロバチ *Monobezzia indica* Sauss. (八二)

體黑色。粗大の點刻多し。額片の一縦線、觸角間の一小紋は黄色。腹部の點刻は胸部のものよりも小なり。翅暗色、紫藍色を帯ぶ。脚黑褐。體長八分。臺灣に産するもその數多からず。



♀

分布—臺灣、支那、印度。

附言—胡蜂科に屬する昆蟲は主として蠟蜂、蝟蜂、烏蠅等を粉碎し、その子供の食物に供するを以て、農林業者に有益なれども、秋季果實を食し有害なることあり。又毒刺を以つて吾々を刺蟻することあれば有害なり。



♀

を帯ぶ。第三腹節以下の各節は黒藍色。體長八分—一寸。少なし

分布—本州、沖縄、臺灣、支那、印度。

ジガバチ *Ammophila infesta* Sm. (八五)

體黑色。頭胸には黑褐の細毛を粗生す。頭頂及び胸背の點刻は前頭にあるものよりも小なり。第二腹節末端の兩側及び第三節は赤褐、殘節は黒藍色。翅は透明。光線の具合にて紫色を呈す。體長七分—九分。砂地に普通なり。



♀

分布—北海道、本州。

ハナダカバチ *Kenix nipponica* Sm. (八六)

體黄綠色。頭頂、胸部、腹部及び觸角は黑色。



柄節の下面は黄色。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。脚黄色、黒紋あり。體長七分—八分。少なし。
分布—北海道、本州。

マルモンツチスガリ.....(八七)

Cerokeris interruptus Mats.

體は黒色、顔面、胸部及び腹部の斑紋は橙黄色。觸角暗褐色。翅半透明、灰色を帯ぶ。第二腹節の斑紋は兩側に達せず、第三腹節に黄色の一帯あり。後腹節末端の葉狀突起は大なり。體長四分五厘。少なし。
分布—本州。



體は黒色、粗大の點刺多し。前頭、額片、大腮の基部、觸角柄節の下面、棧狀部の

分布—本州。

ツチスガリ.....(八八)

Cerokeris unifasciata

♀
Zm.



體は黒色、額片、上唇に銀色毛を密生す。觸角暗褐色。前胸背、後腹節及び第二腹節の中央帯は黄色。

クビワキングチバチ.....(九〇)

Crabro collaris Mats.

♀



體は黒色。複眼の内側、前頭及び額片に金色短毛を密生す。胸部及び腹部の紋は橙黄色。額に銀色毛を密生す。後胸背中央にある一縱溝の兩側に微細なる隆條を斜走し、灰白の長毛を粗生す。脚黒色、黄色紋あり。體長五分。
分布—北海道。

キングチバチ.....(八九)

Crabro auratus Mats.

♀



體は黒色。額片及び上唇に銀白短毛を密生し、上唇の前縁に金色毛を混生す。第一腹節は橙黄色。複眼の内側に長楕圓形の一縱溝を具へ、其の間に大小二種の點刺あり。後胸背の縱溝は前方に數個の横線を有す。第二、五腹節に黄色の楕圓紋を有す。翅半透明。脚黒色。體長五分五厘。花上に稀ならず。
分布—北海道。

チャウザンキングチバチ.....(九一)

Crabro jzankovius Mats.

♀



體は黒褐色。額片、上唇及び複眼の内側に銀色短毛を密生す。觸角栗色、下面は黄褐色。中胸背に微小なる横紋多く、後胸背には粗大なる點刺多し。同様なも、腹節は黒色。體長五分—六分五厘。何れの地方にも普通なり。
分布—本州、四國、九州、沖縄、支那、朝鮮、印度。

ニトベキングチバチ.....(九二)

Crabro nitidus Mats.

體は黒褐色。額片、上唇及び複眼の内側に銀色短毛を密生す。觸角栗色、下面は黄褐色。中胸背に微小なる横紋多く、後胸背には粗大なる點刺多し。同様なも、腹節は黒色。體長五分—六分五厘。何れの地方にも普通なり。
分布—本州、四國、九州、沖縄、支那、朝鮮、印度。



し。翅は半透明、暗褐色、光線の工合にて紫色を現はす。腹部の斑紋は黄褐色。體長五分五厘。これは稀なり。
分布—本州。

スズキキングチバチ.....(九三)

Crabro suzuki Mats.

體は黒色、小點刺を密生す。大腮、觸角柄節、胸部及び腹部の斑紋は灰白。前頭及び頬は銀白の短毛を密生す。後胸背の中央に心臟形の滑澤部を具へ、其の中央に深き一縱溝ありて、その兩側に銀白長毛を裝ふ。翅半透明。各腹節の後縁は黄褐色。脚黒色。體長三分五厘。稀ならず。
分布—本州。



體は黒色。點刺多く、長白毛を粗生す。翅透明、少しく暗黄色を帯ぶ。第六腹節の後縁赤褐色。體長四分内外。少なし。
分布—本州。

オホホソコシアナバチ.....(九五)

Pemphredon japonicum Mats.

體は光澤ある青藍色、白毛多し。大腮及び觸角は黒色。翅は半透明、暗褐色を帯び、光線の具合に依り紫色を現はす。脚は體色

オホホソコシアナバチ.....(九五)

Pemphredon japonicum Mats.

體は黒色。點刺多く、長白毛を粗生す。翅透明、少しく暗黄色を帯ぶ。第六腹節の後縁赤褐色。體長四分内外。少なし。
分布—本州。

ルリジガバチ.....(九六)

Zochilbron inflexum Stek.



體は光澤ある青藍色、白毛多し。大腮及び觸角は黒色。翅は半透明、暗褐色を帯び、光線の具合に依り紫色を現はす。脚は體色

キアシハナダカバチ.....(九八)

Sphaecius pectinatus Sm.



體は黒褐色。額片の前半、複眼の内側、前胸背の後縁、各腹節の二紋は黄白色。翅暗褐色、半透

明。脚は黄褐、基節及び腿節の基部黒褐。腹面の中央に二黄紋あり。體長七分。少なし。
分布—本州、支那。

キイロアナバチ *Sphex aurulentus* F. (九九)

體黒褐。頭及び胸背に金色の短毛を密生す。大腮及び觸角の基部、後脚の基部及び脚の大部は黄褐。後胸背に七横線を具へ、末端に黄褐の長毛あり。翅透明、少しく黄色を帯び、光線の工合により紫藍色を現はす。腹部は光澤強く、平滑なり。體長八分。
分布—沖縄、臺灣。



ツツアナバチ *Sphex nitens* Kohl (一〇〇)

體黒色。頭胸に黄色の細毛を、前頭には銀白の



細毛を密生す。翅は透明、少しく黄色を帯び、外縁は暗色。腹柄は長く、殘節と同長。體長六分—七分。花上に稀ならず。
分布—本州、九州、支那。

ハラアカアナバチ *Sphex platynotus* Mats. (一〇一)

體黒、灰白長毛多し。複眼の兩側、前頭、額片、頬及び胸側に銀色短毛を密生す。中胸背に大形の點列を具へ、後胸背は平たく、少しく凹陥し、小なる横皺多し。翅は透明、黄色を帯び、光線により少しく紫色を表はす。腹部は赤褐、黒褐紋を具へ、第四節には暗褐の八字形紋あり。脚黒色、剛毛多し。體長七分。少なし。
分布—沖縄。



オホハラアカアナバチ *Sphex rufosus* Mats. (一〇二)

體黒色、灰白の短毛を密生す。前頭は光線の工合にて銀光を放つ。前胸背に銀白毛を密生す。



中胸背には小點刺あり。後胸背には横皺多く、中央に二隆起あり。第二腹節の前後兩縁、第三節以下各節の兩側及び後縁、尾節及び腹面は黄褐。體長八分。少ならず。
分布—臺灣。

クロアナバチ *Sphex nimbrosus* Christ (一〇三)

體黒色、灰褐乃至黄白の細毛を、顔及び前胸背の後縁に銀白の短毛を密生す。觸角黒褐。後胸背に横皺多し。翅透明、外縁暗色を帯ぶ。脚



五 鼈甲蜂科 Pompilidae

觸角端直にして、長し。前翅に普通三副前緣室を有す。脚長く、脛節端に二長刺を具ふ。蜘蛛を捕へて幼蟲の食となす。本邦に三十餘種あり。

ヒラヤマベツカフ(バチ) *Ceryle hirsutaria* Mats. et Uch. (一〇六)

體黒色、少しく紫色を帯び、特に腹部に於て著し。顔面及び第一、二腹節の後縁兩側には灰白毛あり。翅暗褐、紫色を帯び、基部透明。體長七分。少なし。
分布—沖縄(石垣島)。



ルリベツカフ *Macromeris violacea* Mats. (一〇七)

體黒藍色、天鵝絨様の光澤を帯び、黒毛多し。兩腹及び觸角は黒褐。翅は珊瑚色にて美し。脚甚だ長く、爪は二分す。體長七分—一寸八分。これは何れの地方にも多からず。

及び腹背は光澤強し。體長七分—一寸。

分布—本州、四國、九州、沖縄、支那、印度。

トガリアナバチ *Tachytes samuraii* Zn. (一〇四)

體暗褐。前頭及び額片に金色の短毛を密生す。觸角は黒褐。胸下黄色の細毛を裝ひ、胸背には淡褐の短毛を密生す。腹部黒色、第二、三節の後縁に銀色の光澤ある一帯あり。翅は黄色。脚黒褐、金色の短毛を密生す。體長七分。砂地に少なからず。
分布—本州、臺灣、支那、印度。



ジガバチモドキ *Trypoxylon obscurator* Sm. (一〇五)

體黒色。頭に銀白毛あり。翅底鱗灰褐、後胸背に横皺多く、白毛を裝ふ。腹部は棍棒状を呈し、第一節の末端、第二、三節は赤褐。翅透明、少しく黄褐を帯





分布—沖縄、臺灣、印度、支那。

ハラグロベツカフ……………(一〇八)

Pompilus aldominatus Mats.

體黃褐。腹部黒褐。中胸背の二縱條は暗色。翅

電甲様の透明にして、外縁少しく暗色を帯ぶ。尾節の末端は黄褐。脚長く、各

節の基部は暗褐。體長五分五厘。少なし。

分布—沖縄。



♀

ツマキベツカフ……………(一〇九)

オホモンクロベツカフ……………(一一一)

Pompilus atrocissimus D. F.

體は黒色、天

鵞絨様の光澤あり。翅透明、外縁暗色。節には黄白の各二紋あり。翅透明、外縁暗色。體長四分内外。普通なり。

分布—北海道、本州、九州。



♀

オホシロフベツカフ……………(一一〇)

Pompilus arcticus Sin.

體黒色。複眼の内側に黄白紋あり。第二、三腹節以下赤褐、第五、六節に赤褐粗毛を帯ぶ。翅透明、少しく暗色を帯ぶ。體長六分。少なし。

分布—沖縄、支那、印度。

キケツネベツカフ……………(一一三)

Pompilus basalis Mats.

體黒色、暗褐長毛及び灰白短毛多し。頭、胸、腹の斑紋は黄

白。觸角黒褐、下面は黄褐。翅透明、黄色を帯び、光線の工合にて紫色を呈す。體長四分。少なし。

分布—本州。



♀

モンベツカフ……………(一一二)

Pompilus luculentus Hingh.

體黒褐。頭、觸角、前胸背の一紋、稜狀部、脚並

に翅は黄褐。翅電甲様の透明なれども、少しく暗色を帯び、翅の中央黄色なる



♀

を以て紋を有するが如し。第二腹節に黄紋を有するものあり。體長五内外。少なし。

分布—本州、印度。

カホモンクロベツカフ……………(一二四)

Pompilus fulvifrons Mats.

前種に酷似するも、複眼の内側に橙黄紋あり。

複眼の後縁に沿うて赤褐紋を帯び、額片の前縁列られず。翅少しく淡色にして、

翅底透明ならず。第三腹節に黄帯を有し、其中央少しく列らる。體長八分内外。少なし。

分布—北海道、本州。



♀

ハリマベツカフ……………(一二五)

Pompilus harrimensis Mats.

體黒色。頭、顔、胸部等にある斑紋は黄色、



♀

第一膜翅目

ホツホベツカフ……………(一二六)

Pompilus hoyonis Mats.

體は黒褐、暗褐短毛を寄生す。觸角、顔、頭、胸並に腹部の

斑紋は黄色。翅は半透明、黄褐。脚黄褐、前後兩胸背及び胸側に黄紫色の鱗狀毛多し。體長四分六厘。これは少なし。

分布—臺灣。



♀

オキナハルリベツカフ……………(一二七)

Pompilus ignobilis Sauss.

體黒色、天鵞絨様の光澤を



♀

ムツボシベツカフ……………(一二九)

Pompilus propinquus Sin.

體黒色。大腮の中央赤褐。翅半透明、少しく暗色を帯ぶ。第一、二、三腹節に橙黄紋を有す。脚黒色、後腿節の外半は橙黄色。體長四分。少なし。



♀

分布—本州。

アカホシベツカフ.....(一二〇)

Pompilus rufus Sm.

體黒褐。頭は圓形に膨大す。翅透明、外縁は暗色。第一、二腹節は赤褐、但し前者の前縁、後者の後縁等は黒褐。體長三分五厘。これは餘り多からず。
分布—北海道、本州、臺灣。



分布—北海道、本州、臺灣。

シロフベツカフ.....(一二一)

Pompilus saipurensis Mats.

體黒色、黒長毛を粗生し、灰白の短毛を密生す。頭部及び顔部の斑紋は黄白。翅は半透明、外縁は暗色。體長四分。少なし。
分布—北海道。



暗色。體長四分。少なし。
分布—北海道。

テラウチベツカフ.....(一二二)

Pompilus tenuehii



を帯び、光線の工合に一紫色を呈す。腹も亦光

Mats.

オキナハベツカフに似るも、觸角短大、末端暗色ならず。顔は體と同色。中胸背兩側の縱條は黒褐。各腹節の後縁は淡褐。脚短し。體長五分内外。これは餘り多からず。
分布—臺灣。

キオビベツカフ.....(一二三)

Pompilus nufasciatus Sm.

雌は體黒褐。頭、觸角、胸背、翅及び脚は黄褐色。雄には第二腹節に黄色の一帯あり。翅は龍甲様の光澤を帯ぶ。體長七分。少なし。
分布—本州、支那、印度。



ヤノベツカフ.....(一二四)

Pompilus



斑紋、脚及び翅は龍甲様の光線に

クロベツカフ.....(一二五)

Salix irritabilis Sm.

體黒色、暗褐毛多し。翅透明、少しく暗色を帯び、外縁の近くに判然せざる暗色帯あり。體長五分内外。少ならず。
分布—北海道、本州。



ヒメクロオビベツカフ.....(一二六)

Salix secundus D. T.

體黒色、暗褐毛多し。翅半透明、龍甲様の黄色を帯び、前翅の中央及翅端に近く暗色帯あり。尾端及び各腹節の後縁は赤褐。體長三分。少ならず。
分布—北海道、本州。



クロバベツカフ.....(一二七)

Salix sinensis Sm.

體黒色、金色の微毛を密生す。頭、胸部の紋、



線の工合により青紫色を現はす。體一寸一分内外。これは最大の龍甲蜂にして、少なし。
分布—臺灣、支那、馬來、印度。

ベツカフバチ.....(一二七)



♀ 沖繩、臺灣、支那。

腹部第一節を除き、脚等は黄褐。翅黒藍色にして、半透明。體長五分。少なからず。

附言—元來鼈甲蜂科に屬する蜂は蜘蛛を曳き來り、穴に埋めて、己れの子供の餌に供す。而して蜘蛛は農業界に有益なれば、鼈甲蜂は寧ろ有害蟲と稱し得べし。尤も稀に昆蟲の幼蟲を曳き來り、その子供の食餌となすものあり。

六 土蜂科 *Scelithae*

雌の觸角短大、雄のものは長し、膝狀をなさず。脚太し。前翅に二個の副前線室あり。多くは地中の蟄蟄を採知し、これに産卵して、その子供の餌に供す。本邦に産するもの約三十種あり。

ヒメハラナガツチバチ……………(二三)

Elis annulata F.



♀ 本州、九州、臺灣、支那、印度。

體黒色、雄の腹部は藍色を帯ぶ。頭及び胸背に黄色毛を裝ふ。各腹節の後縁黄色にして、同色の粗毛を密生す。翅黄褐、外縁少しく暗色を帯ぶ。體長七分内外。普通。

キスチハラナガツチバチ……………(二三)

Elis aurulenta Sm.



♀ 本州、九州、臺灣、支那、印度。

體黒色。頭球形を呈す。胸、頭、脚及び腹部の各節の後縁に黄褐毛あり。觸角の

ハラナガツチバチ……………(三四)

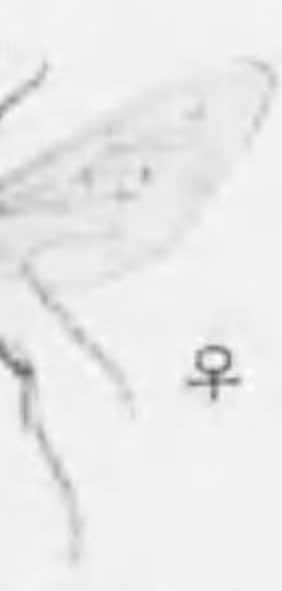
Elis grossa F.



♀ 本州、臺灣、支那、印度。

體黒色。雄にては黒藍色。頭には赤褐の粗毛を密生す。腹部光澤あり、各節の後縁は黄色にして、同色の粗毛を密生す、但し第五節、六節の後縁には黒色の粗毛を有し、帯をなす。翅透明、外縁は暗色を帯ぶ。體長九分内外。砂地に普通なり。

モンハラナガツチバチ……………(三五)



♀ 本州、臺灣、支那、印度。

體黒色。胸背に黄褐細毛を粗生す。前胸に黄紋を

具ふ。雄にては中胸背に二個の黄紋あり。腹部に黄色細毛を裝ひ、各節の後縁に黒色剛毛を密生す。腹部の斑紋は黄色。翅暗褐、半透明。體長九分内外。

♀ 本州、九州。

オホモンハラナガツチバチ……………(三六)

Elis ocellata Muls.



♀ 本州。

體黒色、複眼の後縁に横黄紋あり。胸背に黄褐の細毛を裝ふ。胸部及腹部の斑紋は黄色。翅黄褐。脚短大にして黄色細毛を具ふ。體長八分九厘。

ツマキツチバチ……………(三七)

Laticox



♀

體黒色、尾端の五腹節

は黄褐、金色長毛多し。翅不透明、黒色、光線の具合にて紫藍色を呈す。第三腹節に三角形の黒紋あり、之は第二節と共に少しく紫色を帯ぶ。體長七分内外。

♀ 臺灣。

オキナハルリツチバチ……………(三八)

Scelitha carolinaria Guenée



♀ 沖繩、印度、臺灣、亞弗利加。

體黒色、黒毛を具ふ。各腹節の後縁には黒色の粗毛帯を有す。翅暗褐、半透明、少しく紫藍色を帯ぶ。前脚刺は黄褐、鉤狀にして末端扁平。體長八分五厘。

アカスチツチバチ……………(三九)

Scelitha fuscata Sm.



♀

雌は體黒色、少しく紫色を帯ぶ。複眼間

に一黄紋あり。觸角黒色、短大。腹部長く、點刻を密布し、第三腹節に橙黄色の斑紋あり。雄は小形、第三腹節の斑紋は小なり。體長六分五厘。

♀ 北海道、本州、九州。

ヨツボシツチバチ……………(四〇)

Scelitha punctulata F.



♀

體黒色、光澤あり。第三、四腹節には各二個の赤褐紋あり。翅暗褐なれども光線の具合により藍色を呈す。脚短大。體長五分。

ホツボツチバチ……………(四一)

Scelitha hopponis Muls.



♀ 臺灣。

體暗褐。頭頂は黄色にて光澤あり。頭及び胸背に赤褐毛を裝ふ。第二、三腹節の斑紋は黄色。翅黄褐。體長七分五厘。

クロイハツチバチ

Zeolia kuroiwa Mats. et Ueh.

體黑色、黄毛を密生す。頭部及び前胸背、第二腹節の末端及び各残節は黄色。腹部には黄色毛多し。脚の刺は赤色。翅黄褐。雄にては梗狀部黄色。脚暗赤褐。體長九分。
分布—沖縄。



♀

Zeolia watanabei Mats.

體黑色。黄褐毛を密生し、大形の點刻を密布す。頭頂の一紋は黄褐、複眼内側の後方は甚しく刻らる。翅半透明、黄褐を帯ぶ。腹部は少しく紫色を帯び、第三、四節に橙黄色の斑紋あり、黄毛を簇生し、尾端の三節には褐色の剛毛を裝ふ。體長六分。
分布—臺灣。



♀

Trybia fuscipennis Sm.

體黑色、黄白毛を裝ふ。腹部光澤あり。翅透明、少しく暗褐。尾節の一紋は黄褐。脚にも黄白毛を密生し、脚刺は赤褐。體長四分内外。少なからず。
分布—北海道、本州。



♀

キオビツチバチ

Zeolia oenihata Mats.

前種に似るも、前胸の點刻大にして、少なし。體黑色、腹部は紫色を帯ぶ。雄は第三腹節に太き一黄帯を具へ、雌にては兩側に黄色の眼狀紋を有す。翅暗褐、紫色を帯ぶ。體長六分。
分布—北海道、本州、臺灣。



♀

ヤハマクロツチバチ

Zeolia yayayamensis Mats. et Ueh.

體黑色、點刻を密布す。腹部少しく紫藍色を帯ぶ。翅暗褐、光線の具合にて紫色を現はす。體長一寸。
分布—沖縄。



♀

ワタナベツチバチ

(一四四)

七 蟻蜂科 Mutillidae

觸角は短太にして膝狀を呈す。雌は翅を缺く。雄の前翅には三個の副前緣室あり。縁紋を缺く。熱帯地方に多き種類にして、他の蜂類の巢に寄生す。本邦學名を有するもの二十數種あり。

オホアリバチ

Mutilla timidula Lepelet.

體黑色。頭及び胸に銀色の光澤ある黄白色を裝ひ、後胸に銀白色を密生す。翅暗色、藍色を帯ぶ。腹部黄褐。雌は赤褐、腹部に銀色の毛紋を有す。體長六分。
分布—臺灣。



♀

タイワンアリバチ

Mutilla formosana Mats.

雌の體黑色。黒毛及び黄毛多し。胸部赤褐。腹部の斑紋は灰白、第三節の下面に黄褐帯あり。雄の腹部は尾



♀

フタホシアリバチ

Mutilla insulator Sm.

雌の二節を除き赤褐。翅半透明、黒藍色を帯ぶ。體長七分内外。
分布—臺灣。



♀

アカネアリバチ

Mutilla petulans Sm.

雌の體黑色。觸角柄節の末端及び梗節赤褐。第一及び第二腹節赤色、第三及び第四の後縁に灰白毛帯あり。體長四分。
分布—九州。



♀

ムナアカアリバチ

Mutilla pungens Sm.

雌の體黑色、暗褐毛多し。胸部、觸角の梗節、腹部の尾端、腿節、脛節の基部及び附節は赤褐。第二腹節の末端に金色の毛帯あり。體長二分七厘。
分布—本州(京都)。



♀

八 青蜂科 Chrysididae

觸角十三節。副前緣室の外方開口す。後翅に翅脈少なし。何れも鎖物性の光澤を有し、緑色、藍色、紫色及び赤紫色なるもの多し。幼蟲は多く蜜蜂科又は細腰蜂科の蜂巢に寄生するも、稀に蛾の蛹に寄生するものあり。

ヨツバセイボウ.....(一五三)
Chrysis ignita L.



體金屬性の青綠色。腹背は光澤ある赤銅色。中胸の大部は藍色。尾端に四齒あり。體長二分五厘内外。
分布—樺太、北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、歐洲、北米、亞弗利加。

ホソセイボウ.....(一五三)
Chrysis japonicus Cam.



體光澤ある青藍色。腹部は特に藍色強し。觸角及び脚は金屬光澤あり。

る綠色、前者の後半及び跗節は黒色。體長二分五厘。
分布—北海道、本州、朝鮮。

オホセイボウ.....(一五四)
Stilpnus cyanurum Först.



體青藍色、紫色を帯ぶ。頭は胸幅より狭し。尾端に四齒あり。翅透明。體長五分内外。
分布—本州、九州、沖繩、臺灣、朝鮮、印度、亞弗利加、南米。

九 蟻科 Formicidae

觸角糸狀又は棍棒狀にして、膝狀に曲折す。雌雄翅を生ずれども職蟻はこれを缺く。翅脈少し。社會生活をなし、結蟻、鳥蠅等を捕食し農家に有益なることあれども、時に野蟲を保護し、農土に造巢し、果實に集り、家屋に侵入し來りて有害なることあり。

クロオホアリ.....(一五五)
Camponotus japonicus Myr



黒色。雌觸角の基部、大臑及び頬は褐色。腹部及び脚は暗褐。臑節及び跗節は黃褐。各腹節の後縁淡黃褐。雌の觸角及び脚は赤褐。雄の臑節及び跗節黒褐。體長一分五厘。
分布—北海道、本州、四國、九州。

オホアリ.....(一五六)
Camponotus ligniperdus L.



體は光澤ある黒色。柄節の基部、中胸背の兩側、胸側、後胸、腹柄、第一腹節の前半並に後腿節の内側は赤褐。各節の後縁黃褐。職蟻は胸側扁平にして赤褐。雄暗黒色なり。體長四分五厘。
分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、歐洲。

アカアリ.....(一五九)
Formica rufa L.



職蟻體赤褐。大臑及び觸角赤褐。各腹節の後縁に黃白毛を裝ふ。雌黒色。觸角及び脚暗褐。體長二分五厘内外。
分布—北海道、本州、四國、九州、歐洲。

シリアゲアリ.....(一五七)
Cremastogaster sordidula Nyl.



暗褐。觸角、胸及び脚は黃褐、光澤あり。腹部の各節後縁は黃白。尾端に赤褐短毛を簇生す。雌暗褐。觸角と脚黃褐。體長一分内外。
分布—本州。

クロイハキアリ.....(一六三)
Myrtilocarus kuroiwae Mats.



體赤褐。大臑は著しく長く、小齒を列ね、末端は稍や直角に屈曲す。觸角細長、黃褐。第三、四腹節の後縁は金色を呈す。毒刺は尾端の三節と同長。體長三分。
分布—沖繩。

クロアリ.....(一六〇)
Lasius fuliginosus Latr.



職蟻は光澤ある黒色。頭大にして凹陥あり。觸角

オホツアリ *Pterichia notius* Sm. (一六三)



職蟻赤褐。兵蟻の頭は腹部の二倍以上あり。雌の胸部暗褐。腹部は頭部より大。體長二分内外。

分布 本州。

トゲアリ *Polyrhachis lamellifera* Sm. (一六四)



職蟻の體は光澤ある黒色。觸角基部、胸の鈎狀突起並に腹柄は赤褐。腹部稍や球形、各節の後縁黄褐。體長二分七厘。

分布 本州、四國、九州、臺灣、支那。

ハヒイロトゲアリ *Polyrhachis tyrannus* Sm. (一六五)



職蟻の體黒色、絹様の白毛を密生す。胸部の各節の前縁及び後胸の

中央に各二銳齒あり。雄には絹様の光澤少なし。雌腹大にして職蟻に似る。體長二分七厘内外。

分布 臺灣、支那、印度。

キアリ *Stenamma famelicum* Sm. (一六六)

雄の體色變化多く暗褐、赤褐又は黒色。尾端、觸角及び脚は黄褐、職蟻は雄よりも淡色にして小。雌は腹部大。體長一分六厘—二分二厘。



分布 北海道、本州、四國、九州。

一〇 卵蜂科 Proctotrupidae

觸角端直なるものと膝狀なるものとあり、十節乃至十八節より成る。翅の縁紋は著明、又稀にこれを缺くものあり。幼蟲は多く蟲卵に寄生す。

エダヒゲタマゴバチ *Dendrocerus ruficalergeri* Ash. (一六七)



體金屬性の綠色。觸角暗褐。腹部の基部に黄白紋あり。脚黄白。體長一分内外。

分布 北海道、本州。

オホクロタマゴバチ *Proctotrupes japonicus* Ash. (一六八)



體黒色。觸角黒褐。腹部光澤強し。脚の大部、觸角基部及び第二腹節の縁は赤褐。體長二分。

分布 北海道、本州。

一一 小蜂科 Chalcididae

觸角膝狀、六節乃至十四節。縁紋を缺き、脈は少なし。後腿節は普通膨大し、脛節は彎曲す。産卵管は尾端の下方より出づ。幼蟲は他蟲に寄生す。本邦學名を有するもの數十種あり。

コバネシリアゲコバチ *Anastatus gastropneuste* Ash. (一七〇)



體淡黄褐。頭は暗褐。觸角柄節は黄色。胸は縁色。翅は暗色、一白帯あり。腹部は暗褐。跗節黄白。體長一分。

分布 北海道、本州。

エゾアシプトコバチ *Chalcis jezoensis* Mats. (一七一)



體黒色。觸角基部暗褐。脚には黄色紋あり。翅半透明、灰白色。腹部は光澤強し。體長二分五厘。

分布 北海道。

ミカドシリアゲコバチ (一七二)

Chalcis mikanio Kirby



體黒褐。腹部光澤強し。脚は黒褐にして、黄紋を有す。翅は透明。體長一分内外。マイマイガに寄生す。

分布 北海道、本州、四國、九州。

キアシナガコバチ *Eurytoma japonicum* Ash. (一七三)



體暗褐、少しく縁色を帯ぶ。觸角の柄節は黄色。翅は透明。腹部光澤ある黒色。脚は赤褐。體長一分五厘。

分布 北海道、本州。

シリアゲコバチ *Leucospis japonica* Wk. (一七四)



體暗褐。觸角の基部は黄色。胸部及び腹部に黄紋あり。脚暗褐にして、黄紋を装ふ。翅は暗色にし

オホクマゴバチ *Proctotrupes suzuki* Mats. (一六九)



體黒色。腹部は光澤あり、第一節の基部、兩側、下面及び後縁は赤褐。脚黒色。體長二分五厘。

分布 本州。

附言 本科に屬する蜂は大部微小なり。而して本邦産のものは未だ充分に研究せられ居らず。多く害蟲の卵に寄生するを以て農林業に有益なり。本邦學名を有するもの數十種あり、何れも顯微鏡的のものなれば爰には比較的大形なるもの三種を擧げたるに過ぎず。

て、中央は淡色半透明。體長四分内外。
分布—本州。

オキナハシリアゲコバチ……………(一七五)

Leucospis okinawensis Mats.



♀
體黄色。觸角黒色。胸部に黄褐紋、腹部には黒褐紋あり。脚は黄褐。翅半透明。少しく暗色を帯ぶ。體長四分。
分布—沖縄。

エグリマルコバチ……………(一七六)

Perilampus japonicus Ash.



♀
體黒緑。觸角赤褐。翅は少しく黄色を帯び、透明。腹部は光澤強し。脚に黄褐紋あり。體長一分七厘。
分布—北海道。

ヘウタンコバチ……………(一七九)



Schizaspidia tenuicornis Ash.

キアシヲナカトカリヒメバチ……………(一八二)

♀

Acroricus ambulador Sm.



體黒色。顔、觸角中央、後胸、稜狀部及び後基節等に黄紋を裝ふ。脚黄褐、黒紋を有す。第二、三腹節の接線暗褐。翅透明、先端は少しく暗色。體長七分内外。
分布—本州、四國、九州、朝鮮、滿洲。

ヒゲナガコバネアメバチ……………(一八三)

♀

Agrypon japonicum Ueh.



體黒色。觸角暗褐。顔、胸面稜狀部及び脚

第一膜翅目

體光澤ある緑銅色。觸角黒褐、基部黄褐。翅は黄白、暗褐部あり。脚は基節を除き黄色。體長二分内外。蟻の巢に寄生す。
分布—本州。

ヲナガコバチ……………(一七八)

Thezousna longicauda Mats.



♀
中胸背及び腹部には紫藍色を帯びたる部分あり。第三腹節の中央に

黒色の一縦隆あり。體長三分。
分布—臺灣。

エゾアラコバチ……………(一七九)

Torymus sapporensis Ash.



♀
體は金綠色。觸角暗褐。翅は白色、半透明。脚は黄色。腹部は著しき光澤あり。體長一分内外。
分布—北海道。

の大部は黄色。後肢及び腹部は黄褐。腹部の末端は暗色を呈す。體長五分。
分布—北海道、本州。

セグロアメバチ……………(一八三)

Agrypon nigritutum Mats. et Ueh.



♀
前種に酷似するも、體黄褐、中胸背黒色、頭頂及び顔も亦黒色なるを以て容易に區別せらる。體長三分。
分布—沖縄。

スズキコバネアメバチ……………(一八四)

Agrypon suzuki Mats.



♀
體淡黄褐。顔、稜狀部及び胸面は黄色。頭頂及び中胸背に暗褐條紋あり。體長五分。
分布—本州、九州。

二 姫蜂科

Ichnumonidae

觸角端直にして細長、十四節以上より成る。前翅に多くは鏡胞あり。他の昆蟲の幼蟲に寄生して農林業上有益なるもの多し。

コンボウアメバチ……………(一八〇)

Acanthostoma insidiator Sm.



♀
體黒色。顔の紋、口部及び觸角は黄色。腹部黄褐なれども末端は暗褐。脚黄色、暗褐紋あり。體長一寸五分内外。
分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮。

ヒロクチヒメバチ……………(一八五)

Alomya debellator F.



♀
ヤホニカ形。光澤あり。前脛節、跗節及び後脛節の大部は黄色。翅透明。
體長六分。
分布—北海道。

スキムシヨコジマヒメバチ……………(一八六)

Anatromorpha schoenobii Viar.



♀
體黒色。脚の大部、後胸、第一腹節の後縁及び

第三節は赤褐。觸角中央の小紋及び腹部の先端は白色。體長四分。これは三化蠶蟲に寄生す。

分布—臺灣。

ナイブチヒメバチ *Amblyteles amatouris* Müll. (一八七)



體黑色。脚及び第二、三腹節は黄褐。各節の後縁は白

色。雌の第二腹節は赤褐。觸角中央褐色。體長八分。これは松粘蠶に寄生す。普通なり。

分布—樺太、歐洲。

ハラアカヒメバチ *Amblyteles cursorius* Sm. (一八八)



體暗褐。頭、觸角、口部、胸の紋、腹部及び脚は赤褐。觸角の中央は黄白。體長四分五厘。

分布—本州、四國、九州。

オホモリヒメバチ *Amblyteles omori* Mats. (一八九)

體黑色。顔の兩側、跗節及び觸角中央は褐色。腹部に三條の黄帯あり。體長五分。

分布—本州。



これは盛岡地方に稀ならず。

キミスチヒメバチ *Amblyteles trifasciatus* Grav. (一九〇)

體黑色。黄色紋多し。脚の大部、腹面、第二、三、四腹節は黄褐。雌の顔は黄色。觸角黑色。體長六分。これは稀ならず。

分布—樺太、本州、朝鮮、西比利亞、歐洲。



分布—本州、千島、樺太。

アイノヒメバチ *Amblyteles trifasciatus* Grav. (一九一)

次の變種に酷似するも、第二腹節の基部に於ける黄帯なく、僅に



暗褐を呈す。體長四分。稀ならず。

分布—北海道、本州。

ニイクニヒメバチ *Amblyteles trifasciatus* Grav. (一九三)

原種と異なる所は體の黄紋少なく、脚黑色、觸節の中央部のみ黄色。體長四分。これは稀なり。



分布—本州、千島、樺太。

マツケムシヒラタヒメバチ *Apochitris aburahi* Mats. (一九三)

體黑色。顔の兩側及び稜狀部の末端は黄色。觸角の基部に白紋あり。觸角、脚、其の基部は黑色。觸角下面は黄褐。體長四分内外。

分布—樺太、北海道。



クロスチヒラタヒメバチ *Apochitris japonica* D. T. (一九四)

體黑色。顔の兩側、稜狀部、前中基節及び跗節並に後腹節の中央は黄色。脚の先端は淡黄褐、後



肢には黒紋あり。體長五分内外。稀ならず。

分布—北海道、本州、四國、九州、臺灣。

第一 膜翅目

Aphanistes jozankuanus Mats. (一九六)

體黑色。顔、跗節及び稜狀部は黄色。觸角、脚及び腹部は黄褐。觸角の基部及び腹部には暗褐紋あり。體長五分。

分布—北海道。



サキアカコンボウアメバチ *Aphanistes orientalis* Uch. (一九六)

體黑色。顔及び跗節は黄色。觸角、脚の大部及び腹部は赤褐、黒紋あり。後胸の兩側は赤



褐。體長一寸。これは少なし。

分布—北海道、樺太、朝鮮。

モイハケンラ *Arotus moiwanus* Mats. (一九七)

體黑色。顔及び胸の斑紋、稜狀部及び後跗節の末端は黄色。前中肢黄褐。翅は少しく黄色を帯ぶ。體長六分。



エゾフタラアメバチ *Astiphronema jezoense* Uch. (一九八)

體赤褐。觸角、頭部及び脚は淡赤褐。翅透明、縁紋及び脈は黄色。體長四分五厘。これは多からず。



三七

分布—北海道、本州。

アコウヒメバチ *Amylojoppa akonis* Mats. (一九九)

淡黄褐色。觸角の中央黄白、末端暗褐色。翅黄色を帯び、透明。腹部三終節は黒色。腿節並に脛節の末端は黒色。體長五分。



分布—臺灣。

エグリヲナガヒメバチ *Rathyeetes catenator* Panz. (二〇〇)

體黑色、光澤なし。翅透明。脚赤褐色、轉節黄色、後肢の脛節以下少しく暗褐色。體長四分。産卵管三分。これは稀ならず。



分布—樺太、歐洲。

カラフトカタモンアメバチ *Mesochorus fuscicornis* F. (二〇一)

體黑色。稜狀部に心臟形の黄紋あり。觸角中央黄色。腹部の末端白。翅は半透明、黄褐色を帯ぶ。體長五分五厘内外。稀ならず。



分布—北海道、本州。

ウスイロヒメバチ *Coelinius pallidulus* Mats. (二〇二)

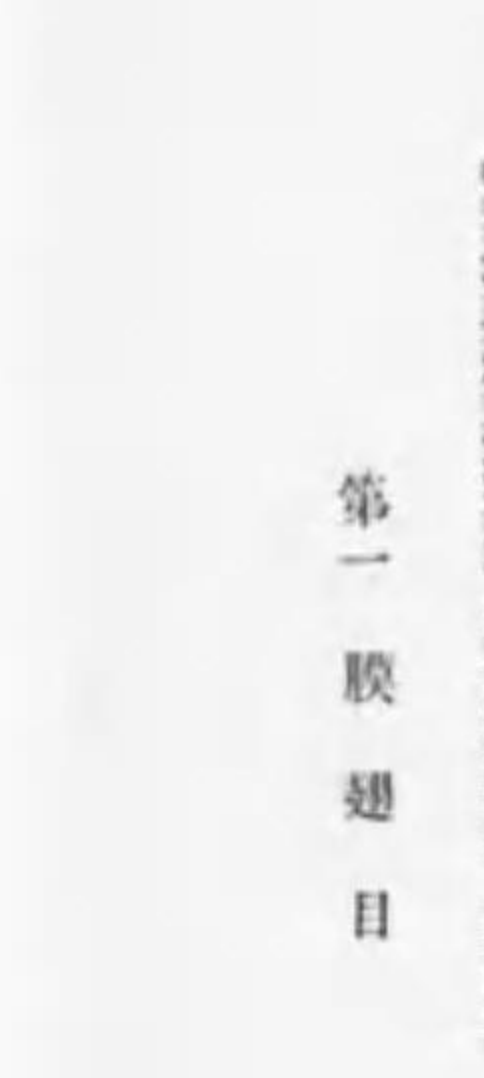
體淡黄褐色。大脛の末端黒色。觸角暗褐色。翅黄褐色。腹部末端の三節は黒藍色。



分布—北海道、本州。

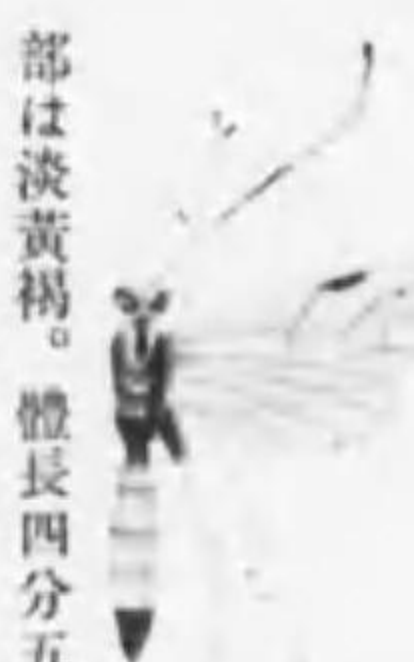
フタスチヒメバチ *Coelichneumon bivittatus* Mats. (二〇三)

體黑色。顔、稜狀部、各脛節の基半部、第一、第二腹節の後縁は白色。翅は暗褐色、半透明。體長五分五厘。稀ならず。



Kanelinus falcatorius F.

♀



分布—樺太、歐洲。

フタスチヒメバチ *Coelichneumon bivittatus* Mats. (二〇三)

體黑色。顔、稜狀部、各脛節の基半部、第一、第二腹節の後縁は白色。翅は暗褐色、半透明。體長五分五厘。稀ならず。



分布—北海道。

ヒラタアブヒメバチ *Mesochorus laetatorius* F. (二〇四)

體黑色。顔及び胸の紋、稜狀部及び後脛節の

體黑色。兩脛、胸に於ける斑紋及び脚の大部は黄白、但し後肢は黄色。第二、三、四腹節の後縁は赤褐色。體長六分五厘。少なし。



分布—本州。

エゾクロコブヒメバチ *Coelichneumon coxalis* Uch. (二〇五)

體黑色。觸角の中央及び稜狀部等は黄白。第一腹節の後縁も同色なり。腹は少し藍色、後



分布—北海道。

ホツボヒメバチ *Coelichneumon hopponis* Mats. (二〇六)

體黑色。頭、觸角の下面、稜狀部及び胸部の紋は黄色。第二、三及び四腹節並に脚の大部分は淡黄褐色。體長四分五厘。稀ならず。



中央白色。腹部は赤色、先端は黒色。脚黄褐色。體長二分内外。これはヒラタアブの幼蟲に寄生す。

分布—世界共通。

ヨコヒラヒメバチ *Campoplex matsunuræ* Uch. (二〇七)

♀



分布—北海道、本州。

ウスバヒメバチ *Chasmodon furcatus* Uch. (二〇八)

體黑色。頭黄色、黒紋あり。觸角暗褐色、中央は黄色。大臑は栗色なれども、基部黄色。脚淡黄褐色。翅暗黄、少しく紫色を帯ぶ。體長六分。臺灣に少なからず。



分布—臺灣。

スグリナミシヤクヒメバチ *Coelichneumon nipponicus* Uch. (二〇九)

體黑色。腹黒藍色。觸角中央は白色。前脛節の前面黄白。雄にては觸角の白紋を缺く。顔、前中肢の基部、腿節、



分布—北海道、本州。

ナナホシヒメバチ *Coelichneumon 7-guttatus* Mats. (二一〇)

體黑色。頭、觸角の下面、稜狀部及び胸部の紋は黄色。第二、三及び四腹節並に脚の大部分は淡黄褐色。體長四分五厘。稀ならず。



黒色。頭、胸、腹等の斑紋及び口部は黄白。脚黒

Coelocentrus excitator Poi



色、暗褐色あり。觸角暗褐色。體長六分五厘。稀ならず。

分布—北海道。



カラフトコンボウヲナガバチ……………(二三)

Coelocentrus elijazani Mats.

體黒色、光澤あり。前中肢は赤褐色、後脛節中央

♀

フシナガヒメバチ……………(三四)

Coeloflypsa segmentalis Vah.

體黒色。觸角の中央紋、稜状部の兩側、腹部及び後脛節

♀



及び附節は暗褐色。翅少しく黄色を帯ぶ。體長五分内外。これは樺太に稀ならず。

分布—樺太、千島。

コンボウヲナガバチ……………(二三)

顔、胸、腹の紋は黄白色、但し後肢の大部は黒色。



キマダラマルヒメバチ……………(三六)
Colpocrochus trochilus nipponicus

體長七分。これは札幌地方に少なからず。

分布—北海道。

ナカキマルヒメバチ……………(三五)

Colpocrochus elegantula Schrank

♀



體黒色。光澤強し。腹部の中央及び各脛節並に附節は黄色。翅透明。體長四分。少なし。

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

附言—本邦産のものは腹部中央黄褐色なり、これを *f. fuscos* Vah. と云ふ。又稜状部に黄紋あるものを *f. jozankanus* Vah. と云ふ。

murina Vah.

體黒色、光澤強く、暗褐色毛を密生す。斑紋は黄色。觸角暗褐色。翅黄色、透明。體長六分。

分布—本州。

ツヤマルヒメバチ……………(三七)

Calpocrochoides orientalis Vah.

體黒色、光澤強し。腹部の中央、各脛節及び前中

♀



附節は黄色。觸角下面暗褐色。翅黄色、先端少しく暗褐色を帯ぶ。體長五分。少なし。

分布—本州、朝鮮。

シロツマヒメバチ……………(三八)

Coenocryptus tarsalis Mats.



第一膜翅目

體黒色。觸角中央、後附節及び各脛節の後縁は白色。雄の顔、前中基節及び轉節等白色。體長三分。これは札幌地方に少なからず。

分布—北海道、本州。

シロコブヒメバチ……………(三九)

Cratichneumon japonicus Ash.

體黒色。觸角中央、稜状部及び各脛節の中央等は

♀



白色。雄は觸角に白紋を缺く。顔白色。體長六分内

外。これは札幌地方に少なからず。

分布—北海道、本州、四國、朝鮮。

ムナグロアカヒメバチ……………(四〇)

Cratichneumon luteiventris Grav.



體黒色。觸角中央稜状部は黄色。脚及び第

二、三脛節は暗褐色。雄は腹及び脚赤褐色、顔面及び前中基節は黄色。體長四分五厘。稀ならず。

分布—北海道、本州、四國、歐洲。

キハラアメバチ……………(三一)

Gremastus japonicus Ash.

體赤褐色。頭頂及び後胸基部及び第二脛節の基部

♀



に黒紋あり、但し個體により黒紋を缺くものあり。體長三分内外。これは二化螟蟲に寄生す。

分布—全日本、臺灣。

イラガアヲトガリヒメバチ……………(三三)

Cryptanlux coreanus Szépl.

♀



體紫藍色。觸角は黒色、中央は白色。前肢の脛節前面褐色。體長五分。これはイラガの幼蟲に寄生す。

分布—臺灣、朝鮮。

ナカアカエグリトガリヒメバチ……………(三三)

Cryptus diano Grav.

♀



體黑色。觸角中央白色。脚及び腹部は赤褐色。翅透明、翅長四分、少なからず。

分布—北海道、朝鮮、歐洲。

ホシクロナガトガリヒメバチ……………(三四)

Cryptus suzukii Mats.

♀



體黑色。觸角の中央及び後跗節端に白紋を裝ふ。翅透明なれども中央に廣き暗褐色帯を有す。體長三分五厘内外。

分布—本州、北海道、四國。

カラフトオホキアシヒメバチ……………(三五)

Cryptus tarsatorius Grav.

♀



顔及び脚の大部分は黄色。後脚節は暗褐色。翅透明、縁

紋黄褐色。體長三分五厘。少なからず。分布—北海道、本州、歐洲。

オキナハチビヒメバチ……………(三六)

Dicelotus dimittus Mats.

♀



黒色。觸角紋、稜狀部等黄色。脚及び腹部の基半部は赤色。腹部の先端は暗色。體長二分五厘。

クロモンアメバチ……………(三三)

Dicamptus nigrofasciatus Mats.

體淡黄褐色。觸角及び脚は黄褐色。第三腹節の背上に黒紋あり、腹部の末端は暗褐色。翅の中央にはキ

體黑色。脚は基節及び轉節を除き赤褐色。翅半透

♀



明、少しく暗黄を帯ぶ。體長六分。少なからず。

分布—樺太、千島、朝鮮、歐洲。

ホソハラトガリヒメバチ……………(三六)

Cryptus tenuialatimus Uel.

♀



體黑色。觸角中央及び後肢の跗節端は白色。翅は少しく暗褐色を帯ぶ。雄は顔、前中基

節及び轉節並に後跗節白色。前中肢黄褐色。體長五分内外。これは何れの地方にも稀ならず。

分布—北海道、本州、四國、九州。

分布—臺灣。

タイワンアゲハヒメバチ……………(三九)

Dinotomus formosanus Mats.

♀



體淡黄褐色。觸角暗褐色、基部黄褐色。後肢は暗褐色。前中肢及び第一、二腹節は體と同色、以

下の腹節は黒藍色。體長六分。分布—臺灣。

ムラサキアゲハヒメバチ……………(三四)

Dinotomus lapidator F.

♀



體黑色。腹部黒紫色。脚黄褐色。翅暗色を帯び、光線の工合にて紫色を呈す。體長七分。こ

これはキアゲハの幼蟲に寄生す。

分布 北海道、西比利亞、歐洲。

アゲハヒメバチ.....(三五)

Dinotomus maculator Tosi.



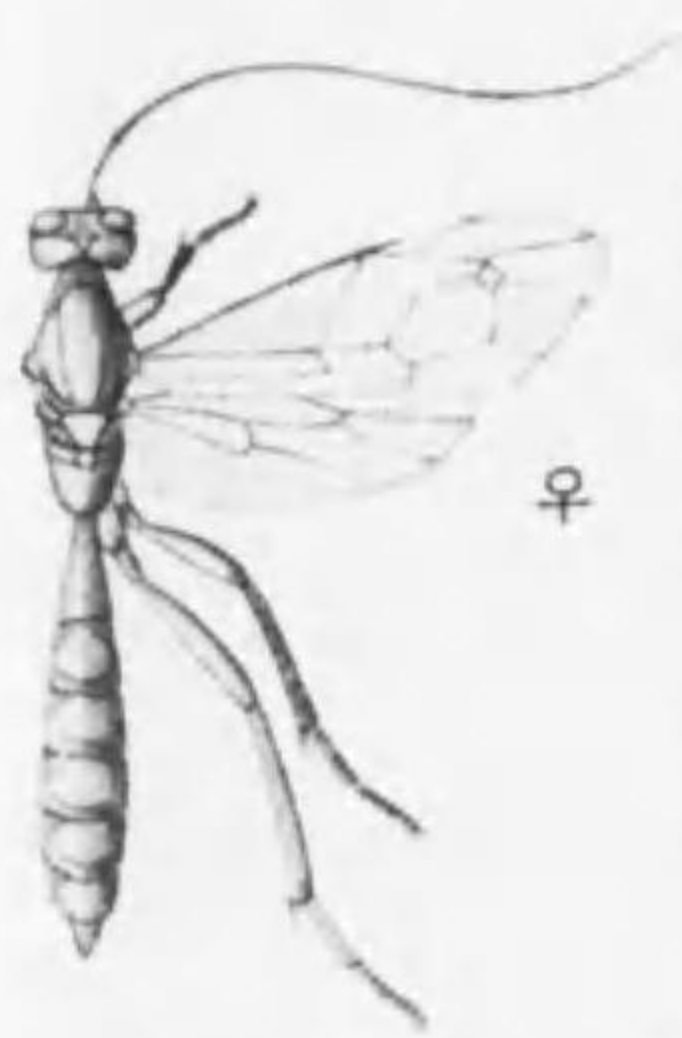
體黃褐、黒褐紋あり。翅腹甲様の黄色を帯ぶ。脚黄色、後基節及び同腹節は黒褐。體長六分。

アゲハの幼蟲に寄生す。

分布 北海道、樺太、本州、九州、四國、西比利亞。

コブマルヒメバチ.....(三六)

Dysipates praerogator L.



體黒色、光澤なし。第二、三腹節の後縁は暗褐。

前中肢の先端は黄褐。翅透明。體長四分。

分布 北海道、本州、歐洲。

アカアシモンヒラタヒメバチ.....(三七)

Echthronophya notulitoria F.



體黒色、光澤強し。頭、胸及び腹部の斑紋は黄色。脚淡褐。翅は透明なれども翅に暗色紋あり。體長四分。

鳥、セレベス、ボルネオ、ビルマ、馬來。

分布 臺灣、印度、比

クロヲナガバチ.....(三八)

Ecdurus rufipes Vch.



體黒色、光澤あり。脚は基節を除き赤黄褐、轉節は黄色、脛節及び跗節暗褐。體長五分。産卵管一寸三分。

アカエグリヒメバチ.....(三九)

Egriehennon agitatus Mats. et Vch.

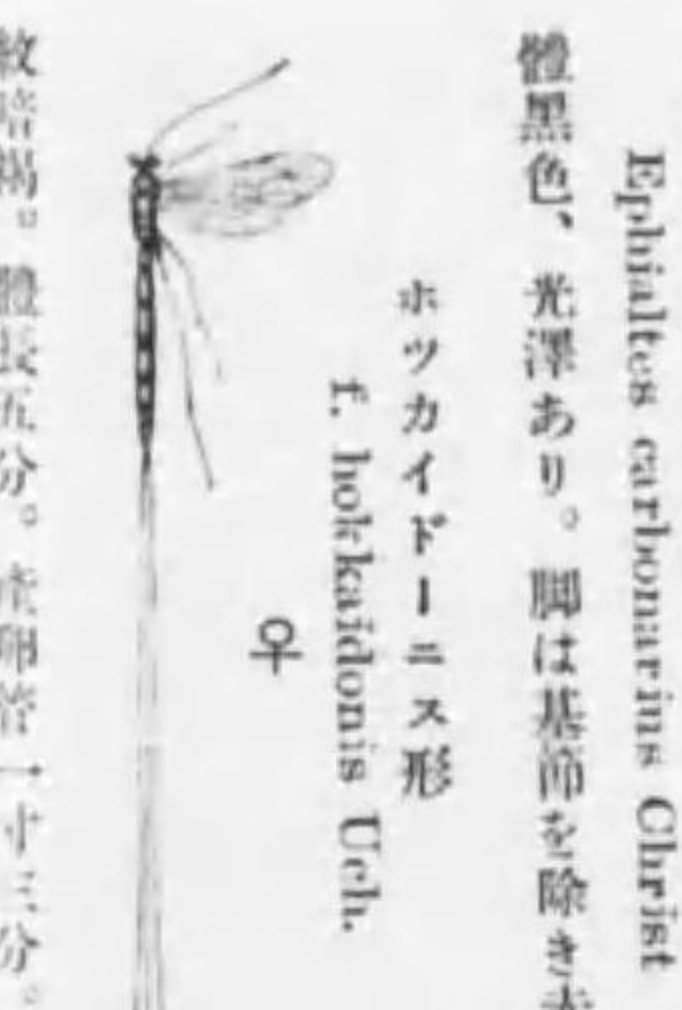


體黒色。觸角中央及び稜狀部黄色。第一、二、三腹節赤色。翅透明。體長四分。

海道、本州。

エゾホソヲナガヒメバチ.....(四〇)

Ephialtes carbonarius Christ



體黒色、光澤あり。脚は基節を除き赤黄褐、轉節は黄色、脛節及び跗節暗褐。體長五分。産卵管一寸三分。

樺太、北海道。

フシヲナガバチ.....(四一)

Ephialtes manifestator L.



體は黒色、光澤あり。脚は赤褐、但し後肢の脛節以下少しく暗色を帯ぶ。翅は透明、縁紋は黒褐。體長一寸内外。産卵管は體長に等し。

分布 樺太、北海道、歐洲、西比利亞、北米。

附言 *E. matsunurui* Vch. は基節黒色なり。

テンフシヲナガヒメバチ.....(四二)



Ephialtes
Hess
nitrus
Graw.
meso-

體黒色。脚赤褐、前種に酷似するも、翅の縁紋黄褐、腹部に小點刻を密布する事により區別せらる。體長一寸内外。産卵管一寸五分内外。

分布 樺太、北海道、歐洲、西比利亞。

フシダカミドリヒメバチ.....(四三)

Eujiopna eye-
nea Vch.

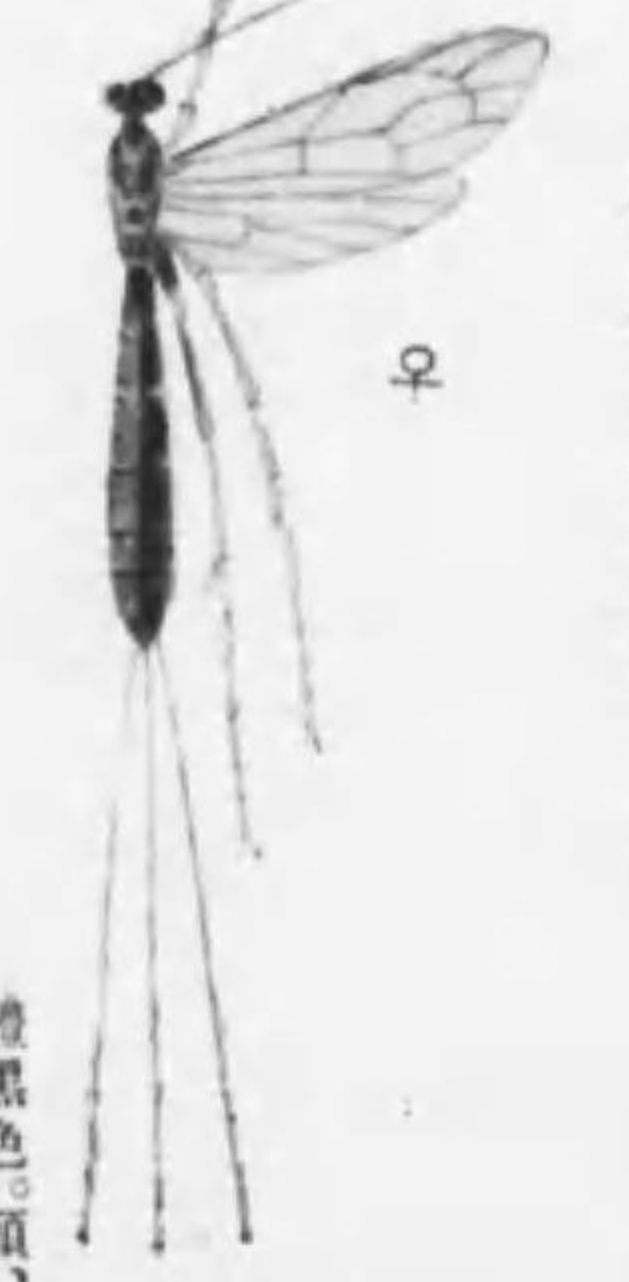


體青藍色にして、金屬光澤あり。第一、二腹節黄褐色。顔の兩側白色。翅暗褐、半透明。體長四分。

分布 臺灣。

モイハヲナガバチ.....(四五)

Ephialtes miyama Mats.



體黒色。頭、胸及び腹部等に黄紋多し。脚も亦黄色なるも、黒紋あり。翅透明、先端に暗色

紋を有す。體長六分五厘、産卵管七分。
分布—北海道。

エゾマツヒラタヒメバチ
Egynurus jezoensis Mats. (三六六)



雌
體黑色。顔の上方に黄褐紋あり。脚の大部は黄褐、轉節、前中基節及び後肢の脛節は黄色、後者の末端及び跗節は黑色。體長三分。
分布—北海道。

クロヒゲヒラタヒメバチ
Egynurus permolis Ash. (三四七)



雌
體黑色。前種に酷似するも、顔の黄紋を缺如

す。體長三分五厘内外。
分布—北海道、本州、四國、朝鮮。

ウスアカトカリヒメバチ
Ptilia hokkaidensis Ueh. (三四八)



雌
基部は黄色。脚及び腹は暗黄褐。翅透明、黄色を帯ぶ。體長五分内外。稀ならず。
分布—北海道。

テウセンアカヒメバチ
Eupulchus coreanus Ueh. (三四九)



雌
體黄褐。暗褐紋あり。脚及び腹部赤褐。顔黄色。觸角末端三分の一は暗褐。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。體長五分。少なからず。

テウセンキマダラマルヒメバチ
Exanthemus coreensis Ueh. (三五〇)



雌
體黑色。頭、胸、腹及び脚等の斑紋は黄色。翅透明、縁紋黒褐。體長三分。少なし。
分布—朝鮮。

ツマキヒメバチ
Exephanes apicalis Ueh. (三五二)



雌
體黑色。稜狀部及び第七腹節一紋並に觸角の中央は黄白。翅透明、黄色を帯び、縁紋黄色。體長四分内外。

分布—樺太、北海道。

ヤフシキアシヒメバチ
Exephanes thibialis Ueh. (三五三)



雌
二は黄色、各跗節褐色。體長四分内外。
分布—樺太、北海道。

シロスチホシヒラタヒメバチ
Exeristes albivincta Mori. (三五三)



雌
體黑色。觸角柄、節下面及び各腹節の後縁は黄白色。脚の大部は黄褐、後脛節及び跗節は黑色、白紋あり。體長五分五厘。
分布—本州、九州、臺灣、印度。

ヒメマツヒラタヤドリ
Exeristesoides spectabilis Mats. (三五四)



雌
體黑色。觸角下面褐色。脚の大部は赤褐、轉節黄色、後肢の脛節及び跗節は黑色にして、白紋あり。翅少しく黄色を帯ぶ。體長三分内外。これは松枯蝨に寄生す。稀ならず。
分布—北海道、本州、四國、朝鮮。

ヨタククロアメバチ
Exeristes cinctipes Kutz. (三五五)



雌
體は黑色。腹部は光澤強し。脚の大部は赤色、基節及び轉節は黑色。觸角中央及び後跗節端は黄色。雄の稜狀部及び顔黄色、腹部の中央赤色。體長四分。これ

は衣笠蝨に寄生す。
分布—樺太、北海道、歐洲。

テウセンアカアシクロアメバチ
Exeristes fornicator F. (三五六)



雌
體は黑色。前中肢は基節及び轉節を除き、後肢の脛節及び跗節は橙黄色。翅は半透明、暗褐を帯ぶ。體長五分。
分布—朝鮮、印度、歐洲。

ヒゲナガアメバチ
Exeristes jehennei Grav. (三五七)



雌
體黑色。觸角の中央、稜狀部、第一及び第二腹節並に脚は淡黄褐。腹部光澤強し、第四腹節以

下の後縁は黄褐。體長五分。
分布—北海道、歐洲。

アシナガクロアメバチ
Exetastes longipes Ueh. (二五八)



體黑色
腹部光澤強し
雄は顔
稜状部
前中基
體長五
節及び轉節黄色。前中兩肢は淡黄なり。
分内外。
分布—本州、四國。

節は赤色。腹部は光澤あり。體長四分。
分布—北海道、歐洲。

マツケムシアメバチ
Exochilum circumosum L. (二六〇)



體は黒色
顔及び稜
状部の紋
は黄色。
褐、腹部
及び觸角等は赤褐なれども、前二者には黒紋あり。後附節及び前肢は黄色。體長九分内外。松姑蝻に寄生す。普通なり。
分布—日本全土、支那、西比利亞、歐洲、阿弗利加。

分布—北海道、本州、四國、九州。

ムネナガトガリヒメバチ
Friornia okinawana Ueh. (二六二)



體は黒色、腹部を除き光澤あり。斑紋は白色。脚黄褐、後附節及び前中基節は白色。翅透明。體長五分内外。少なし。
分布—沖縄、臺灣。

モトアカクロアメバチ
Exetastes rolnatus Grav. (二五九)



體は黒色
稜状部黄
色。觸角
暗褐。脚
の大部及
び第一、
二、三腹

ツヤアカハラヒメバチ
Exolytus laevigatus Grav. (二六一)



體は黒色
腹部光澤
あり、山
尖は赤色
脚は黄
褐、基節
及び後附節は黒色。體長三分五厘。

ムクゲアカアシナガヒメバチ
Formoxorides pilosus Szepel. (二六三)



黒色。顔、
觸角中央
前中肢等
は黄白。
後肢は淡
黄褐。腹
部の各節後縁は黄白。體長七分。産卵管四分。

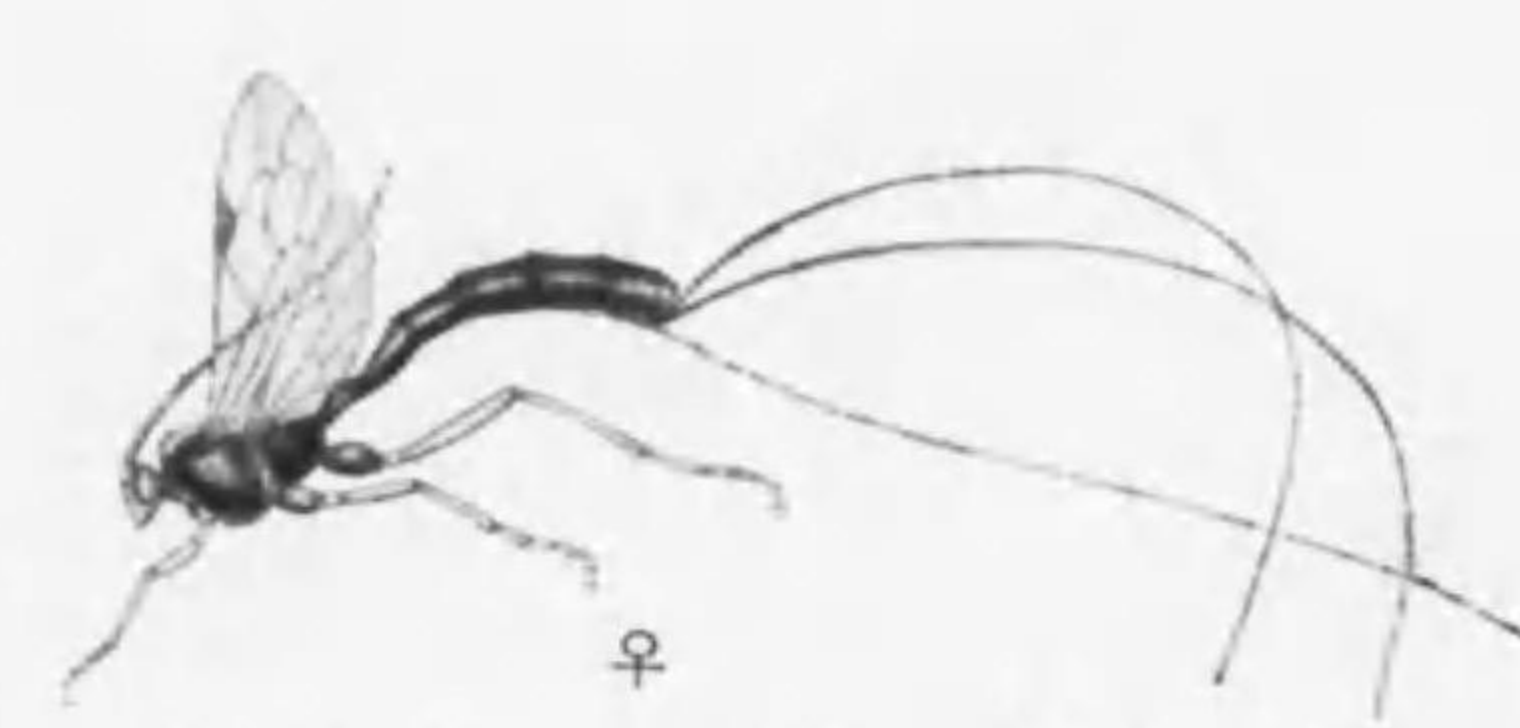
分布—臺灣。

アダチ
ヲナガ
ヒメバ



體黑色。脚は基節を除き全部黄褐。翅透明。體長三分。
分布—樺太。

コヲナガヒメ
バチ
Glypta glypta
Ash. (二六五)



體黑色。前中肢赤褐、後肢の脛節及び腿節の基部黄色。額片の前半赤色。體長四分内外。稀ならず。

分布—北海道。

マルヤマヒラタトガリヒメバチ
Gonioerytus naruyamanus Ueh. (二六六)



體黑色、少しく光澤あり。灰白細毛を密生す。觸角中央及び後附節端は黄白、前中兩肢黄褐。體長三分内外。
分布—北海道。

セスチコンボウアメバチ
Habronyx heros Wesm. (二六七)



體黒
色、少
しく光
澤あり。
顔、
前中肢及び後附節は黄色。腹部及び觸角赤褐。翅は龍甲様の黄色を帯ぶ。體長一寸二分内外。松姑蝻に寄生す。普通なり。
分布—樺太、千島、歐洲。

セアカフシヲナガバチ
Hemijumpia rugosa de Geer (二六八)



頭、胸
及び前
中肢は
黄褐。
腹及び
後肢は
黒色。翅暗褐、不透明、縁紋黄褐、その基部は淡色。體長五分五厘。
分布—臺灣、印度、セレベス、ボルネオ、フィリッピン。

マツケムシトガリヒメバチ
Hemiteles matsukemushi Mats. (二六九)



體黑色、光澤あり。腹部の中央節の後縁は僅かに暗褐。翅の中央に暗褐帯を有す。體長三分。これは松姑蝻に寄生す。少なからず。
分布—北海道。

フタスチホシアメバチ
Hentiscoptilus bifasciatus Ueh.



分。少なし。
分布 臺灣。

體淡黄、黒紋あり。頭は黄色。腹部の末端は暗色を呈す。翅に暗色の二紋あり。體長五分。

には黒紋あり。第二及び第三腹節の基部には淡黄色紋あり。尾端は暗黄色。翅に二個のキチン質の黄褐紋あり。體長七分。
分布 臺灣、印度。

ヨコハマヒメバチ
Hoplismenus obscurus Kriech.



體黒色。光澤なし。觸角中央紋及び後跗節の末端は黄白。稜状部の先端は白色。前跗節及び脛節暗褐。體長五分。稀ならず。
分布 北海道、本州。

クロヒゲナガヒメバチ
Hoplismenus speciosus Ueh.



前種に酷似すれども體細く後跗節の末端黄白ならず。稜状部に白紋を缺如す。體長四分内外。
分布 北海道、本州。



スキモンアメバチ
Hentiscoptilus semifuscus Mats.



ヘウモンヒメバチ
Hoplismenus piens Wesm.



ヒシモンヒメバチ
Ichneumon angulosus Mats.

黒色。觸角の中央は黄褐。脚及び腹の斑紋は黄色。脚黒褐、黄褐紋あり。體長五分。
分布 北海道。

ダイセツセアカヒメバチ
Ichneumon clatsetuzanus Ueh.



長三分。これは少なし。
分布 北海道。

黒色。中胸背、稜状部、脚、腹部第一、二、三節は赤色。第六、七節は黄白紋あり。觸角基部暗赤褐。體

本端の紋は黄白。各脛節の中央黄白。雄は顔黄色。觸角及び腹部に黄白紋あり。體長五分五厘。
分布 北海道、本州、歐洲。

マダラヒメバチ
Ichneumon generosus Sm.



第六、七節は黄色。脚黄褐。體長五分。
分布 北海道、本州、四國、九州。

體黒色。觸角、稜状部、第三腹節の後縁及び

アカヘリヒメバチ
Ichneumon inguinatus Wesm.



暗赤色、末端節に黄紋あり。脚暗褐。雄の顔は

色。脛節及び腿節並に跗節は暗赤褐。體長六分。
分布 北海道、本州。

オホナカアカヒメバチ
Ichneumon deliratorius J.



體黒色。腹黒藍。色。觸角中央紋、稜状部及び腹部

Ichnemon magnus Uch.

黒色。顔、頭、胸等の紋は黄色。脛節、跗節の大部は黄褐。第二、三、四腹節は赤色。體長八分。
分布—北海道。



ツマボシヒメバチ
Ichnemon melanotis Hohnig. (二八三)

黒色、光澤なし。觸角及び各脛節の中央、稜状部等は黄色。向ほ腹部の

末端にも同色紋あり。體長三分五厘。
分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

シロテンアカヤガヒメバチ
Ichnemon molitorius Grav. (二八二)



黒色。顔

の紋、稜状部、第二、三腹節の後縁は黄色。觸角下面暗褐。脛節及び跗節黄褐。體長五分。これはシロテンアカヤガに寄生す。
分布—樺太、本州、歐洲。

ネグロヒメバチ
Ichnemon nigricoxalis Uch. (二八四)



體は黒色、光澤あり。顔、胸部の紋、脛節及び跗節の大部黄色。第二、三腹節は赤褐。體長七分。これは少し。
分布—樺太。

エゾオホヒメバチ
Ichnemon prinatorius Först. (二八五)



體黒色、顔、頭、口部、胸部、腹等の紋及び第二及

び第三腹節並に脚の大部は黄色。翅蓋甲様の黄色。體長一寸五分。普通なり。
分布—北海道。

モトアカヒメバチ
Ichnemon rubrasalis Uch. (二八六)



體黒色、光澤なし。稜状部は雄黄白、雌末端のみ褐色。第二、第三腹節并に脛節及び跗節は暗赤褐。雌の觸角には白紋あり。體長六分五厘。稀ならず。
分布—北海道。

ツマドロホソヒメバチ
Ichnemon sappo-rensiss Ash. (二八七)



體黒色

腹、腹の基部等は黄褐。胸部の紋は黄色。脚黄褐。暗褐紋あり。體長五分五厘内外。
分布—北海道。

シコツヒメバチ
Ichnemon shikotsuensis Uch. (二八八)



體黒色。稜状部、第六、七腹節の紋は黄白。觸角基部暗褐。脛節及び跗節の大部は褐色。第

二腹節は黄褐。體長三分五厘。少なからず。
分布—北海道。

ムツボシヒメバチ
Ichnemon emaculatus Mats. (二八九)



第一腹翅目

黒色。觸角、顔、胸、腹等の斑紋並に脛節及び跗節の大部は黄色。大股赤褐。翅半透明、暗色、少しく紫色を呈す。脛節黄褐。體長八分。
分布—九州。

トヨハラコヒメバチ
Ichnemon toyoharensis Uch. (二九〇)



體黒色。稜状部、第六、七腹節の背面は黄白。觸角中央褐色。第二、三腹節、脛節及び跗節は赤褐。雄は腹部の末端に黄白紋なく、觸角黒色。體長四分。
分布—樺太。

ツヤクロトガリヒメバチ
Ichobrya obtusator Vill. (二九一)



體黒色、強き光澤を有す。觸角の

中央に白紋あり。前肢は暗褐。體長三分内外。少なからず。
分布—樺太、北海道。

タマヌキヲナガヒメバチ
Iezarotes tamanukii Uch. (二九二)



體黒色、光澤強し。頭部及胸部の斑紋、前中肢、腹面、稜状部及び

第二、三腹節の紋は黄色。翅は透明、但し翅端は暗色。體長四分内外。産卵管四分。
分布—北海道、本州。

シンシヤトガリヒメバチ
Lactotus shinshanus Mats. (二九三)



體黒色。斑紋は黄色。脚黄褐、前中基節黄

五三

色、後肢に黒紋あり。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。體長七分。
分布—臺灣。

クハハマキヒメバチ
Limnerina exarlemae Uch. (二九四)

♀

體黑色。前中肢及び後肢の脛節は淡黄褐、後肢の脛節の中央は白色。第二腹節の後縁は暗褐。體長二分内外。
分布—北海道。

ホソヲナガヒメバチ
Lissonota cytharator F. (二九五)



體は黑色
脚は基節及び轉節を除き黄褐。腹部の中央暗褐。縁紋黄色。體

長四分。稀ならず。
分布—樺太、歐洲。

ツヤアカホソヲナガヒメバチ
Lissonota irrigua Thomas. (二九六)

♀

體は黑色。脚の全部及び腹部の中

褐色。縁紋暗褐。體長三分五厘。
分布—樺太、北海道、歐洲。

サツボロホソヲナガヒメバチ
Lissonota sapyronis Uch. (二九七)

♀

體黑色。前肢の脛節及び跗節は暗褐、後肢の脛節及び腹部の中央は黒褐。翅は透明、少しく黄

色を帯び、縁紋は暗褐。體長四分五厘。
分布—北海道。

キリガトガリヒメバチ
Isitrogathus eecyperomus Uch. (二九八)

♀

體黑色。腹部は光澤強し。觸角中央、頭及び腹部先端の紋並に後跗節の先端は白色。前中脛節及び跗節の前面は褐色。體長五分。少なからず。
分布—北海道。

ツノトガリヒメバチ
Megaplectes monticola Grav. (二九九)

♀

體は黑色。腹部の後半は光澤を放ち、少

シロスチムネアカトガリヒメバチ
Mesostenus longicornis Ash. (三〇四)

♀

體は黑色。脚、中胸側、後胸及び第一腹節は赤褐。腹部に三條の白帯あり。觸角中央白色。翅の中央に暗褐帯を有す。體長三分内外。少なからず。
分布—臺灣。

キマダラトガリヒメバチ
Mesostenus orthocinctus Ash. (三〇五)

♀

體黑色。斑紋は黄白。脚の大部は黄褐、黒紋あり。翅透明。體長五分内外。
分布—本州、四國、九州、臺灣、支那。

色を帯ぶ。觸角中央白色。翅暗黄、半透明。體長八分内外。
分布—北海道。

サキブトロヲナガヒメバチ
Mesocercus gigantus Uch. (三〇〇)

♀

體は黑色。光澤なし。腹部の中央は暗褐。各脛節及び跗節は

暗褐。翅透明、縁紋は黒褐。體長六分。
分布—北海道。

オホシロコブヒメバチ
Melanichneumon leuconelas (Uch.) (三〇一)

♀

體は黑色。額、觸角の中

く。複眼の内側白色。體長五分。少なからず。
分布—北海道、本州、四國、歐洲。

ツマジロムツボシヒメバチ
Melanichneumon spectralis Holmgr. (三〇二)

♀

體黑色。觸角の中央、頭、胸、腹等の紋は白色。翅透明、少

しく暗色を帯ぶ。體長五分内外。
分布—北海道、歐洲。

ヒゲナガシロフトガリヒメバチ
Mesostenus funebris Grav. (三〇三)

♀

體黑色。觸角中央及び後跗節端は白色。翅透明。體長五分内外。
分布—北海道、本州、歐洲。

タイワンムネアカトガリヒメバチ (三〇六)

Mesostenus opacus Szépl.

♀



前種に酷似するも稜状部及び後跗節は白色。翅に暗褐色を缺如す。體長三分内

外。少なからず。
分布—臺灣。

翅透明。少しく暗黄を帯ぶ。體長三分内外。

分布—臺灣。

コクロヲナガトガリヒメバチ (三〇八)

Mesostenus tarsalis Mats.

♀



體黑色。觸角中央、顔の兩側の腹部の末端及び後跗節は白色。翅透明。體長四分五厘内外。

分布—北海道、本州、四國。

テウセンキスチマルヒメバチ (三一〇)

Metopius coreanus Uch.

♀



體黑色。觸角黄褐色、顔、稜状部、胸、腹及び脚の紋は黄色。後脛節以下黄褐色。體長三分五厘。

分布—朝鮮。

アカアシシロフトガリヒメバチ (三〇七)

Mesostenus rufipes Szépl.

♀



體黑色にして多数の白紋を帯ぶ。脚の大部赤褐色。

アラカハマルヒメバチ (三〇九)

Metopius arakawai Uch.

♀



體黑色。次種に酷似するも稜状部黄色。第一腹節の基部僅に黑色。腹部の藍色著し。體長六分。

ムラサキマルヒメバチ (三一〇)

Metopius dissectorius Panz.

♀



體黑色。腹黒藍色。顔及び腹部の斑紋は黄色。

翅透明、先端暗色。體長五分。
分布—樺太、北海道、四國、歐洲。

ハキマルヒメバチ (三一一)

Metopius haktensis Mats.

♀



體黑色。顔、胸及び腹部の斑紋は黄色。脚に黄紋あり。翅透明、少しく暗黄色を帯ぶ。腹部は少しく藍色を放つ。體長七分。少なからず。
分布—九州。

トゲアメバチ (三一一)

Nawalia japonica Ash.

♀



體黑色。頭、胸、腹及び脚等には黄紋多し。各腹節の後縁も亦黄色。觸角黑色。體長四分。

Neopimpla naranyae Ash.

♀



體黑色。觸角及び腹部は末端を除き黄褐色。脚は黄色なれども後肢の脛節は黄褐色、その脛節の兩端は黑色。體長三分五厘内外。これはフタバビコヤガの幼蟲に寄生す。
分布—日本全土、沖縄、臺灣、朝鮮。

カコガハヒメバチ (三一二)

Metopius rufus Cam.

♀



體暗赤褐色。顔、胸、腹の紋及び脚の大部は黄色。腹部の基部は黒褐色。翅黄色を帯び透明、先端暗褐色。體長四分。何れの地方にも稀ならず。
分布—本州、四國、九州、朝鮮、支那、印度、臺灣。

セアカヒメバチ (三二五)

Natyus injudator F.

♀



體黑色。中胸背及び稜状部赤黄色。觸角黄褐色。脚黑色にして褐色を有す。腹部には白紋あり。體長三分。
分布—四國、朝鮮、歐洲。

テウセンオホアメバチ (三二七)

Nipponophion coreanus Uch.

♀



體黄褐色。中胸背は暗色を帯び、第二、三腹節の背面及び末端

の二節は黒色。觸角基部暗褐。脚黄色。體長一寸。
分布—四國、朝鮮。

マダラオホアメバチ……………(三二八)

Nipponophion variegatus Tsh.

♀



體黄色
淡黄紋
多し。
頭淡黄
觸角基
部黒色
脚及び
腹部の
紋は淡
黄。後肢は暗褐。體長一寸内外。
分布—北海道、本州。

カラフトトゲヲナガヒメバチ……………(三二九)

Ohlomerus karafutonis Tsh.

♀



體光澤
ある黒
色。次
種に酷
似する

も腹部の中央節に横皺なきを以て容易に區別せ
らる。體長四分。産卵管五分。
分布—樺太。

ニツクワウヒラヲナガヒメバチ……………(三三〇)

Ohlomerus nikkoensis Ash.

♀



體光澤ある黒色。脛節及び跗節は多少暗褐を帶
ぶ。翅少
しく暗色
を呈す。
體長四
分。産卵
管五分。
分布—本
州。

♀



アビカリス形
A. japonicus Mats.

オホツアアメバチ……………(三三五)

Paniscus cephalotes Holmgr.

♀



前種に酷似
するも體大
形、頭は複
眼の後方廣
し。體長一
寸内外。
分布—北海
道、本州、
支那、印度、歐洲。

ヨタウヤドリヒメバチ……………(三三六)

Paniscus ocellaris Thoms.

♀



體暗黄褐。頭は黄
色。翅透明。複眼
の後方は狭し。體
長九分内外。
分布—日本全土、
支那、印度、歐洲。
アカアメバチ……………(三三七)

Paniscus testaceus

ツマグロベツカフヒメバチ……………(三三一)

Ophites glaucopertus L.

體淡黄褐。頭は
黄色。中胸背に
淡黄の二縱條あ
り。翅透明、少
しく灰色を帶
ぶ。體長八分内
外。夜盜蟲に寄
生す。
分布—日本全
土、支那、印度、
歐洲。

オホアメバチ……………(三三二)

Ophion luteus L.

♀



體、脚、觸
角、腹部等
は黄赤色、
後者の末端
黒色。翅半
透明、少し
く黄色を帶
ぶ。體長五分内外。これは松枯蝨、キクセダカ、
モモフトハバチ等に寄生す。
分布—樺太、北海道、本州、四國、朝鮮、西比
利亞、印度、歐洲。

モンキアメバ
チ……………(三三三)

Macrus Grav.

♀



體淡黄色。觸角暗褐。胸背及び腹部は少しく暗色

バイバラヘリアアメバチ……………(三三八)

Paralatus tschirensis Tsh.

♀



體淡黄色。觸角暗褐。胸背及び腹部は少しく暗色

Ophion obscurus F.

♀



體黄褐。頭部及び胸部の斑紋は黄色。縁紋の基
部黄色。翅透明。前種に酷似するも胸部に淡黄
紋多きを以て區別せらる。體長五分—八分。
分布—日本全土、支那、アームル、歐洲。

クロヒゲナガヒメバチ……………(三三九)

Olohinea nigra Tsh.

♀



體黒色
觸角及
び腹部
末端の
紋は白
色。翅透明。雄は額の兩側、稜狀部及び腹部に
白紋あり。體長六分内外。
分布—北海道、本州、四國、九州。

を帯ぶ。翅透明、光線により金緑色を呈す。體長五分。

分布—臺灣。

スチアメハチ *Parabatus cristatus* Thoms. (三三九)

♀



體淡黃褐、頭は黃色、後胸に横條多し。翅は透明、光線の工合にて金緑色を現はす。體長五分。

—七分。

分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、歐洲。

マツケムシアリガタヒメハチ (三三〇)

Lezomachus dendrolimi Mats.

♀



體は黒褐色。觸角褐色。脚は暗褐。雌は翅を缺けども、雄はこれを有す。體長一分五厘。マツケムシに寄生す。

分布—樺太。

キオビフシヲナガハチ (三三一)

Perithous japonicus Ueh.

♀



體黑色、光澤強し。脚黃褐、但し後脛節以下暗色を帯ぶ。顔、稜狀部及び各腹の節後縁は黃色。體長五分。産卵管六分。

分布—樺太、北海道。

ツマグロヲナガハチ (三三二)

Phaenobius apicatus Mats.

♀



體は黑色。頭、胸及び腹部の斑紋、稜狀部、觸角中央紋、前中肢及び後肢の轉節并に跗節は橙黃色。翅は黃色を帯び、翅端は暗黃。體長六分。

分布—北海道、本州。

ハラアカチビヒメハチ (三三三)

Phaeogenes similis Ueh.

♀



黑色。觸角中央は黃白基部黃色。前中肢及び第二、三及び第四腹節の基部等は赤色。體長三分五厘。

分布—北海道。

シロワヒラタヒメハチ (三三四)

Pimpla albomaculata Ueh.

♀



體黑色。各轉節及び脛節の中央は白色。觸角暗褐。翅透明。體長三分内外。

分布—北海道、本州、朝鮮。

マイマイヒラタヒメハチ (三三五)

Pimpla disparis Vier.

♀



體黑色、光澤なし。脚は赤褐。但し後肢の脛節以下は黑色、尙、同脛節の末端も黑色。體長六分内外。これはマイマイガの幼蟲に寄生す。

分布—北海道、本州、四國、九州、滿洲。

キアシフシヲナガハチ (三三六)

Pimpla instigator F.

♀



體は黑色、光澤なし。脚は基節及び轉節を除き黃褐、但し後跗節は黒褐。體長五分。

分。これは何れの地方にも廣く分布す。分布—樺太、千島、北海道、印度、西比利亞、阿弗利加、歐洲。

クハゴヒラタヒメハチ (三三八)

Pimpla pluto Ash.

♀



體黑色、少しく光澤を帯ぶ。前脛節及跗節は暗褐。翅は透明、縁紋黑色なれどもその基部は白色。體長五分内外。

分布—日本全土、樺太、朝鮮。

マイマイヒメヒラタヒメハチ (三三八)

Pimpla portheana Vier.

♀



體黑色、前種に酷似するも後肢は黑色、前中肢黃褐。體長六分。マイマイガの幼蟲に寄生す。

分布—北海道、本州、四國。

クロヒゲアラヒメハチ (三三九)

Platylabus nigricornis Ueh.

♀



體は青藍色、光澤あり。觸角及び各跗節並に脛節は黑色。翅透明、少しく暗色を呈す。體長五分。

分布—北海道、四國(土佐)。

エゾマルトガリヒメハチ (三四〇)

Plectocryptus japonicus Ueh.

♀



體黑色、腹部は光澤強し。觸角中央白色。翅透明、少しく暗色を呈す。體長五分。

分布—北海道。

ノヒラマルトガリヒメハチ (三四一)

Plectocryptus nohirai Ueh.



♂
體黑色。
椀狀部黄
色。脚、
後胸、觸
角、顔及
び腹の大
部は黄褐。翅は黄色を帯び、透明。體長六分。
分布—本州。

オホフタアアメバチ……………(三四三)

Ichneumon (Plesiophthalmus) alpinus Grav.



♂
體赤褐。頭
淡黄褐。觸
角及び脚は
黄褐。腹部
は淡赤褐に
して、先端
暗褐、雄に
は糸状の二
附屬物あり。個體により中胸背少しく暗色を呈
す。體長五分。
分布—樺太、北海道、歐洲。

ムラサキヘリトリヒメバチ……………(三四四)

體黑色。頭、顔、口部、觸角の中央、胸等の紋、第
二、三腹節の後縁並に第二、三、四腹面節等は黄
色。翅半透明、龍甲様の黄色。脚黄色。體長五分五
厘。プランコケムシに寄生す。
分布—北海道、歐洲。

ホリシヤヒメバチ……………(三四七)

Protichneumon horishanus Mats.



♂
體黑色。頭、觸角、胸、腹及び脚等には黄色の
斑紋あり。翅は半透明、暗色、少しく藍色を帯
ぶ。體長八分。稀ならず。
分布—臺灣。

カハマラヒメバチ……………(三四八)

Protichneumon japonicus Kriechl.

前種に酷似するも、椀狀部小にして隆起し、黄
色を帯ぶ。第一、二腹節に黄白紋あり。體長八



♀
體黑色
觸角中
央、椀
狀部の
一紋及
び各脛
節の基
部は黄白。腹部は黒紫色。第一節及び尾端に白
紋あり。雄の各轉節及び顔の紋は白色。體長六
分。札幌地方に産するも少なし。
分布—北海道、本州。

アカアシトガリヒメバチ……………(三四九)

Pristiceiros pallidipes Uch.



♀
體黑色。頭部、胸部等に黄色紋多し。觸角中央
黄色。腹は紫色にして光澤あり。脚橙黄色。體
長一寸。これは稀なるが如し。

分内外。クチバズメの幼蟲に寄生す。
分布—北海道、本州、四國、九州。

アシマダラヒメバチ……………(三四九)

Protichneumon maculifemoratus Mats.



♂
體黑色
觸角、
頭、胸、
腹、脚
等に黄
紋あり。
翅は半
透明、暗
黄にして、少
しく紫色を帯
ぶ。基部に
黄白紋あり。體
長八分。
分布—北海道(札幌)、滿洲(大連)。

モイハヒメバチ……………(三五〇)

Protichneumon moiwanns Mats.



♀
體黑色。頭、觸角及び胸の斑紋は黄白。翅半透
明、暗色にして少しく紫色を帯ぶ。體長九分五
厘。エビガラスズメの幼蟲に寄生す。
分布—北海道、本州、四國、九州。

キバラヒメバチ……………(三四六)

Protichneumon

disparis

Pol.



♀
體黑色。頭、觸角、胸等には黄紋あり。第二、
三腹節
並に脚
の大部
は黄褐
體長八
分。雌

♂



の中胸背及び尾端に黄紋あり。
分布—北海道。

ナカノヒメバチ……………(三五二)

Protichneumon nakanoensis Mats.



♀
體黑色。頭、胸、觸角等の斑紋及び脚の大部は黄
色。大脛の末端赤褐。翅半透明、龍甲様の黄色
を帯ぶ。體長一寸。
分布—本州、朝鮮、アムール。

オヒワケヒメバチ (三五二)

Protichneumon oiwakeensis Mats.

♀



體黑色。複眼の内側及び稜状部黄色。觸角の中央黄白。翅半透明、褐色、少しく紫色を帯ぶ。第一腹節は暗褐、第二及び三節は赤褐。脚黒褐、黄色紋あり。體長七分。

分布—本州。

トワダヒメバチ (三五三)

Protichneumon platycerus Kriech.

♀



及び四腹節は赤褐。脚黄色、黄褐紋あり。體長八分五厘。オホエダシヤクの幼蟲に寄生す。

體黄褐。觸角、胸及び腹部等には暗褐紋あり。翅半透明、體甲様の黄色。脚黄褐。體長六分。分布—沖縄。

ヤマガタヒメバチ (三五八)

Pseudorhynchus major Uch.

♀



體黑色、光澤なし。觸角中央、稜状部及び腹部末端の二紋は黄色。翅暗黄。雄の顔、基節、各脛節、跗節及び肩の斑紋黄色。體長九分内外。

分布—北海道。

ヒメキアシシラナガバチ (三五九)

ツビラーサ形

t. dubiosa Mats



第一膜翅目

分布—北海道、本州。

イヨヒメバチ (三五四)

Protichneumon satanus Kriech.

♀



體黑色。觸角後半は暗褐。翅は半透明、光線の工合にて紫色を現はす。前中轉節の末端は黄白。體長九分内外。ヒメクチバズメの幼蟲に寄生。

分布—本州、四國、九州。

タイチエウヒメバチ (三五五)

Protichneumon taichuensis Mats.

♀



體黑色。顔面、頭、觸角、胸及び脚に黄色紋あり。

Rhyssa approximata F.

體黑色。顔及び腹部に白紋あり。脚黄褐、後脛節及び跗節は暗褐。體長七分内外。産卵管は體長と同長。

分布—北海道、本州、歐洲。

フランシナガバチ (三六〇)

Rhyssa approximata F.

フランシナ形

♀



體黑色。前種に酷似すれども稜状部に黄紋あり、又腹部多少暗褐を呈す。體長及び産卵管は前種と同長。

分布—北海道。

オホマツキバチヤドリ (三六一)

Rhyssa perniciosaria L.

體黑色。頭、胸及び腹に白紋あり。後者は光澤を帯ぶ。脚黄褐、後肢の脛節以下暗色を呈す。

翅は半透明、翅底の内半は黄色、外半は暗色。體長九分。

分布—臺灣。

オホツマグロヒメバチ (三五六)

Protichneumon takasagoensis Mats.

♀



體黑色。顔面及び口部は黄色。觸角暗褐。稜状部に黄褐紋あり。翅は淡き暗黄褐、少しく紫色を帯ぶ。第一より第四腹節まで黄褐。脚黑色、黄紋あり。體長一寸。

分布—本州。

ヤエヤマヒメバチ (三五七)

Protichneumon yaya-yamaensis Mats.

♀



♀

す。體長一寸三分内外。産卵管一寸五分。マツキバチに寄生す。

分布—樺太、千島、

北海道、朝鮮、西比利亞、歐洲。

カラフトコンボウアメバチ (三六二)

Schizoloma amictum F.

♀



體黑色。觸角、腹部及び脚は赤褐、但し跗節は黄色。翅は暗甲様の黄褐を帯び、半透明。體長八分

一寸。松姑蝻に寄生す。
分布—樺太、日本全土、朝鮮、支那、印度、西
比利亞、歐洲。

オホツコンボウアメバチ……………(三六三)

Schizomyia cyathata Desv.



♀
體黑色。
脚及び腹
部は赤褐
にして、
前種に酷
似するも

頭部は著しく複眼の後方に於て膨大し、後頭は
中央に於て深く刻らる。體長一寸内外。
分布—北海道、本州、臺灣、印度、歐洲。

マツムラヒメバチ……………(三六四)

Schizomyia matsunuraf Ueh.



♀
體は黑色。
前中肢黄褐
後肢黑色な
れども脛節
及び跗節の
基部、前者

の中央及び轉節は黄色。翅透明。體長八分。
分布—北海道、本州。

シロスチヒメバチ……………(三六五)

Stenichneumon oratorius F.



♀
黑色。頭、胸、腹
部等の斑紋は白
色。脚に白紋あ
り。雌は第一及
び第五、六、七腹
節の後縁中央に白紋を裝ふ。翅透明、體長四分。
分布—樺太、北海道、本州、四國、歐洲。

サキブトヒメバチ……………(三六六)

Stenichneumon nipponicus Ueh.



♀
體黑色、光澤
あり。脛節、跗
節及び第二腹
節等は赤褐、
腹端は黄色。
雌は觸角中央部に白紋を缺く。體長六分。
分布—北海道。

オキナハシロオヒヒメバチ……………(三六七)

Spilocyrtus albifasciatus Mats. et Ueh.



♀
體黑色。觸角
中央、第一、二
腹節の後縁及
び第七、八節
の背面は白
色。翅透明。

體長三分。
分布—沖縄。

シロフトガリヒメバチ……………(三六八)

Spilocyrtus japonicus Ueh.



♀
體黑色。觸角中央及び腹部の先端並に後跗節の
基部は白色。翅の中央は少しく暗色を帯ぶ。體
長三分五厘。
分布—北海道、本州、四國。

キスチホソヒメバチ……………(三六九)

Zenichneumon flavolineatus Ueh.



♀
前種に
酷似す
るも、
雌の後
肢及び
第一、
二腹節暗赤色、前中肢は黄白色。腹部の各節の
後縁白色。體長五分五厘。
分布—臺灣。

タイワンシラホシヒメバチ……………(三七〇)

Zenichneumon guttatus Ueh.



♀
體黑色
頭、胸
及び腹
等に白
色紋多
し。觸
角中央
白色。
脚暗赤色。體長六分。
分布—臺灣。

ナカノヒメバチ……………(三七二)

Zenichneumon naganonis Ueh.



♀
黑色。
觸角中
央、肩、
枝狀部
等は黄
色。複
眼の内側及び第一、二腹節の後縁は黄褐。脚暗
赤褐。體長六分五厘。これは稀れなるが如し。
分布—本州(上高地)。

トゲクロヒメバチ……………(三七三)

Zenichneumon posticalis Mats.



♀
體黑色。觸
角の中央及
び複眼の内
側の一紋は
黄白、又腹
部にも黄白紋あり。脛節及び跗節は黄色。體長
五分内外。
分布—北海道、本州。

カラフトアカハラトガリヒメバチ……………(三七三)

サトウマルトガリヒメバチ……………(三七四)

Stylocyrtus satonis Ueh.



♀
體黑色。
腹部は光
澤強し。
觸角中央
白色。各
脛節以下
暗褐。體
長二分五厘。
分布—朝鮮。

シリアカナガヒメバチ……………(三七五)

Syzectus apicifer Wk.

♀



體黑色
額の兩
側は黄
色。稜
狀部及
び後胸

の紋並に腹部は黄褐、後者の末端は暗色。脚は淡黄褐。觸角暗褐。翅の末端は暗色。體長三分。
分布—本州。

エゾヲナガバチ……………(三七六)

Thalessa citraria Oliv.

♀



原種に酷似するも第二腹節の黄紋の形を異にし
後肢は黄褐
觸角黑色。
縁紋黄褐。
體長一寸、
産卵管一寸
六分。

分布—北海道。

♀

クロフヲナガバチ……………(三七八)

Syzectus apicifer Wk.



Thalessa japonica Ash.

觸角暗褐。脚の大部は黄褐。
翅は少しく黄色を帯び、縁
紋は黒褐。體長一寸六分内
外。産卵管二寸。
分布—北海道、本州、歐洲。

ヲタネヲナガバチ……………(三七九)

Thalessa citraria Oliv.

♀



ヲタネガワリーナ形 *T. otanegawana* Mats.

體黑色。頭、胸及び腹の斑紋黄色。觸角褐色。
脚黄色、黒褐紋あり。翅透明黄色を帯び、暗褐
紋あり、縁紋赤褐。體長一寸内外。
分布—北海道、本州。

オホアメイロヲナガバチ……………(三七九)

Thalessa superba Schrank

體淡黄褐。頭黄色。胸部及び腹部に黄紋を裝
ふ。後胸前黄色。翅は黄色。雄は體細長、腹部

ムラサキウスヒメバチ……………(三八二)

Thyreodon purpurascens Sm.

♀



黑色、紫藍色を
帯ぶ。觸角黄色
翅半透明、暗黄、
末端は暗色。脚

黑色。體長一寸二分。天蛾の幼蟲に寄生す。
分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那、
西比利亞。

シロスチトゲヒメバチ……………(三八三)

To gea

albifera

sciatu

Uch.

黑色



に黄紋を缺く。體長一寸八分内外。産卵管は體
より少しく長し。

分布—樺太、千島、北海道、滿洲、西比利亞、
歐洲、北米。

エゾシロヒラタヒメバチ……………(三八〇)

Theroria atahutae Poel.

♀



體淡黄褐、光澤
を帯ぶ。頭は黄
色。胸部には黒
紋多し。翅は少
しく黄色を帯ぶ
體長四分。これ
はエゾシロテフの幼蟲及び松枯蝨に寄生す。

クロツヤヒラタヒメバチ……………(三八二)

Theroria laevigata Tschk.

♀



體は黒
色、光
澤強
し。前
肢の脛
節前面
暗褐。
翅は透

分布—樺太、日本全土、朝鮮、歐洲。

明、縁紋黑色。體長四分。
分布—北海道、本州、歐洲。

斑紋は白色。翅透明。雄の前中基節、各轉面及び顔白色なるも觸角には白紋を缺く。體長六分内外。

分布 北海道、本州、四國。

シラキヒメバチ.....(三八四)

Trogus arrogans Zn.

♀ シラキイ形 f. shirakii Mats.



黒褐。頭、胸、腹等の斑紋、觸角基部三分の二、脚は暗褐。翅半透明、體甲様の黄褐。脛節及び跗節黄褐。體長一寸三分。天蛾の幼蟲に寄生す。

分布 本州。

ハキヒメバチ.....(三八五)

Trogus exaltatoris Panz.

黒色。頭、胸の紋は黄色。觸角黄色なるも、基部三分の一は暗褐。第二、三腹節の後縁は黄褐。翅黄褐。體長一寸三分。

♀

ハキエンシス形 f. hikiensis Mats.



分布 九州、本州、歐洲。

スズメヒメバチ.....(三八六)

Trogus infornis F.

♀ エンシス形 f. jezoensis Uch.



胸、頭等の斑紋は黄色。第一、二、三腹節は黄赤色。雄の觸角は基部のみ黄色。體長一寸内外。

分布 樺太、北海道、本州、歐洲。

テウセンアカマルヒメバチ.....(三八七)

Tryphon brunneiventris Grav.

シロスチマルツヒメバチ.....(三八九)

Xorides albimarginis Uch.



體黒色。觸角中央、顔、腹部及び脚の斑紋は白色。體長八分内外。

分布 北海道。

マルツクロヒメバチ.....(三九二)

Xylonomus investigator Sm.



體黒色にして、次の種に酷似するも觸角に黄紋なく、第三腹節は幅よりも長からず。體長六分内外。雌は雌よりも遙に小形なり。

分布 北海道、本州。

オホマルツヒメバチ.....(三九三)

Xylonomus jezoensis Mats.



黒色、光澤なし。觸角中央黄色。前中兩肢赤褐。翅は少しく黄褐を帯ぶ。體長八分。産卵管八分。

分布 北海道。

サツボロマルツヒメバチ.....(三九四)

Xylonomus saipporensis Uch.

黒色。觸角中央紋、顔の兩側、腹部の紋等は白色。翅透明なれども、大なる暗色紋あり。體長五分内外。産卵管二分。

分布 北海道

斑紋は白色。翅透明。雄の前中基節、各轉面及び顔白色なるも觸角には白紋を缺く。體長六分内外。

分布 北海道、本州、四國。

シラキヒメバチ.....(三八四)

Trogus arrogans Zn.

♀ シラキイ形 f. shirakii Mats.



黒褐。頭、胸、腹等の斑紋、觸角基部三分の二、脚は暗褐。翅半透明、體甲様の黄褐。脛節及び跗節黄褐。體長一寸三分。天蛾の幼蟲に寄生す。

分布 本州。

ハキヒメバチ.....(三八五)

Trogus exaltatoris Panz.

黒色。頭、胸の紋は黄色。觸角黄色なるも、基部三分の一は暗褐。第二、三腹節の後縁は黄褐。翅黄褐。體長一寸三分。

♀

ハキエンシス形 f. hikiensis Mats.



分布 九州、本州、歐洲。

スズメヒメバチ.....(三八六)

Trogus infornis F.

♀ エンシス形 f. jezoensis Uch.



胸、頭等の斑紋は黄色。第一、二、三腹節は黄赤色。雄の觸角は基部のみ黄色。體長一寸内外。

分布 樺太、北海道、本州、歐洲。

テウセンアカマルヒメバチ.....(三八七)

Tryphon brunneiventris Grav.

シロスチマルツヒメバチ.....(三八九)

Xorides albimarginis Uch.



體黒色。觸角中央、顔、腹部及び脚の斑紋は白色。體長八分内外。

分布 北海道。

マルツクロヒメバチ.....(三九二)

Xylonomus investigator Sm.



體黒色にして、次の種に酷似するも觸角に黄紋なく、第三腹節は幅よりも長からず。體長六分内外。雌は雌よりも遙に小形なり。

分布 北海道、本州。

オホマルツヒメバチ.....(三九三)

Xylonomus jezoensis Mats.



黒色、光澤なし。觸角中央黄色。前中兩肢赤褐。翅は少しく黄褐を帯ぶ。體長八分。産卵管八分。

分布 北海道。

サツボロマルツヒメバチ.....(三九四)

Xylonomus saipporensis Uch.

黒色。觸角中央紋、顔の兩側、腹部の紋等は白色。翅透明なれども、大なる暗色紋あり。體長五分内外。産卵管二分。

分布 北海道

♀



モイハマルツ
ヒメバチ……………(三九五)

Nyctinomus septentrionalis
Holmgr.

體黑色、光澤あり。觸角の中央及び後肢跗節の末端は白色。翅透明、中央少しく暗色を帯ぶ。體長七分内外。
分布—北海道。

一三 細蜂科 *Evanidae*

♀



マルガタヤセバチ……………(三六六)

Evanha brachygaster F.

體黑色。觸角は黒褐。翅は透明。第二腹節の兩端は赤褐。脚黑色なれども各節の末端は黄褐。體長三分。
分布—本州、九州、沖縄、臺灣。



コンボウヤセバチ (三九七)

Gasterupterion japonicum
Cam.

體黑色。口部黄色。各腹節の後縁は赤褐。脚は黑色にして、黄紋あり。翅は透明、少しく灰黄を帯ぶ。體四分五厘。産卵管は體長に等し。
分布—北海道、本州。

一四 小蘭蜂科 *Eraconitidae*

タイワンアメイロコマユ……………(四〇一)

♀



Ceratoplia cornemacula Enderl.

體及び脚は淡黄。腹部は黄褐、腹部の先端少しく暗色。翅透明、前縁及び縁紋は黄褐。體長六分。
分布—朝鮮、臺灣。

觸角は糸状又は鞭状。翅には鏡胞を缺く、縁紋著明。雌の産卵管の長きものは體長に數倍す。多くは微小の種類にして、他蟲の幼蟲に寄生し有益なるもの多し。

エゾシロコマユ (バチ)……………(三九八)

♀



Apanteles apertus Ash.

分布—北海道。

シブヲナガコマユ……………(三九九)

♀



ヨコハマダラコマユ……………(四〇〇)

Campyloneurus jokohamensis Cam.

♀



Braconia shibensis Muta.

體黄褐。觸角黒褐、中央黄白。翅體甲様の黄色。腹部の末端は黒色。體長七分内外。産卵管一寸。
分布—本州(東京)。

褐紋あり。體長四分。
分布—本州、臺灣。

分布—本州、臺灣。

♀



ウマノヲバチ(馬尾蜂)……………(四〇一)

Eurobracon penetrator Sun.

體は光澤ある銚色。觸角、産卵管及び後肢は黒色。腹部の中央及び翅に黒紋あり。翅は龜甲様の黄色。體長七分。産卵管五寸。天牛に寄生す。
分布 本州、四國、九州、朝鮮。

アラカハコマユ *Euryperna araka-*

vine Mats. (EOM) 雌



體は光澤ある黒色。顔、口部及び胸部の紋は黄色。胸面、腹及び脚は黄褐。體長四分。本種は蟻の巢に寄生す。
分布 北海道。

ブランココマユ *Glyptapanteles japonicus* Ash. (EOM) 雌



體光澤ある黒色。口部及び脚は黄色。腹部の兩側に黄色縱條あり。體長二分。

分布 日本全土。

ガランビツマガロコマユ *Iphiaulax garampiana* Mats. (EOM) 雌



體黄色。後頭及び觸角黒色。翅は黄色、後半部黒褐、不透明。體長四分内外。
分布 臺灣。

分布 臺灣。

ホリシヤベツカフコマユ *Iphiaulax horishiana* Mats. (EOM) 雌



體光澤ある黄褐。觸角暗褐。翅は龜甲様の黄色、外縁は暗褐。體長五分五厘。

クロバアカコマユ *Iphiaulax impostor* Scop. (EOM) 雌



體光澤ある赤色。觸角及び脚は黒色。翅は黒褐、不透明、翅の中央に灰白透明紋あり。體長三分。
分布 本州、朝鮮、歐洲。

ツマキスチコマユ *Phanerotoma diversus* Wk. (EOM) 雌



體淡黄。頭、胸、腹及び脚に暗褐紋あり。翅透明、淡黄を帯ぶ。體長一分。
分布 東洋に廣く分布す。

カモドキコマユ *Rhogas japonicus* Ash. (EOM) 雌



キイロマダラコマユ *Mantispa munitata* Mats. (EOM) 雌

體は黄色。後頭、胸及び腹部に暗褐紋あり。體長二分。
分布 本州、四國、九州。



Zethus testator Gurt. 雌
體及び脚は銚色。觸角暗褐。翅透明。少しく黄色を帯ぶ。縁黄褐。體長四分。
分布 北海道、本州、歐洲。

一五 角細蜂科 Stephaniidae

前科に酷似するも頭は球形、角状突起を有す。觸角は前頭の下より出づ。腹部は後胸の後縁に附着す。第一腹節は糸状にして他節を合したるものより長し。本邦學名を有するもの一種あり。

ツノヤセバチ *Stephanus cinctus* Mats. (EOM) 雌



體黒褐。灰白の長毛を簇生す。後頭は赤褐。翅半透明、少しく灰黄を帯ぶ。脚は赤褐、轉節のみ黄褐なり。體長五分五厘。産卵管六分。
分布 沖縄。

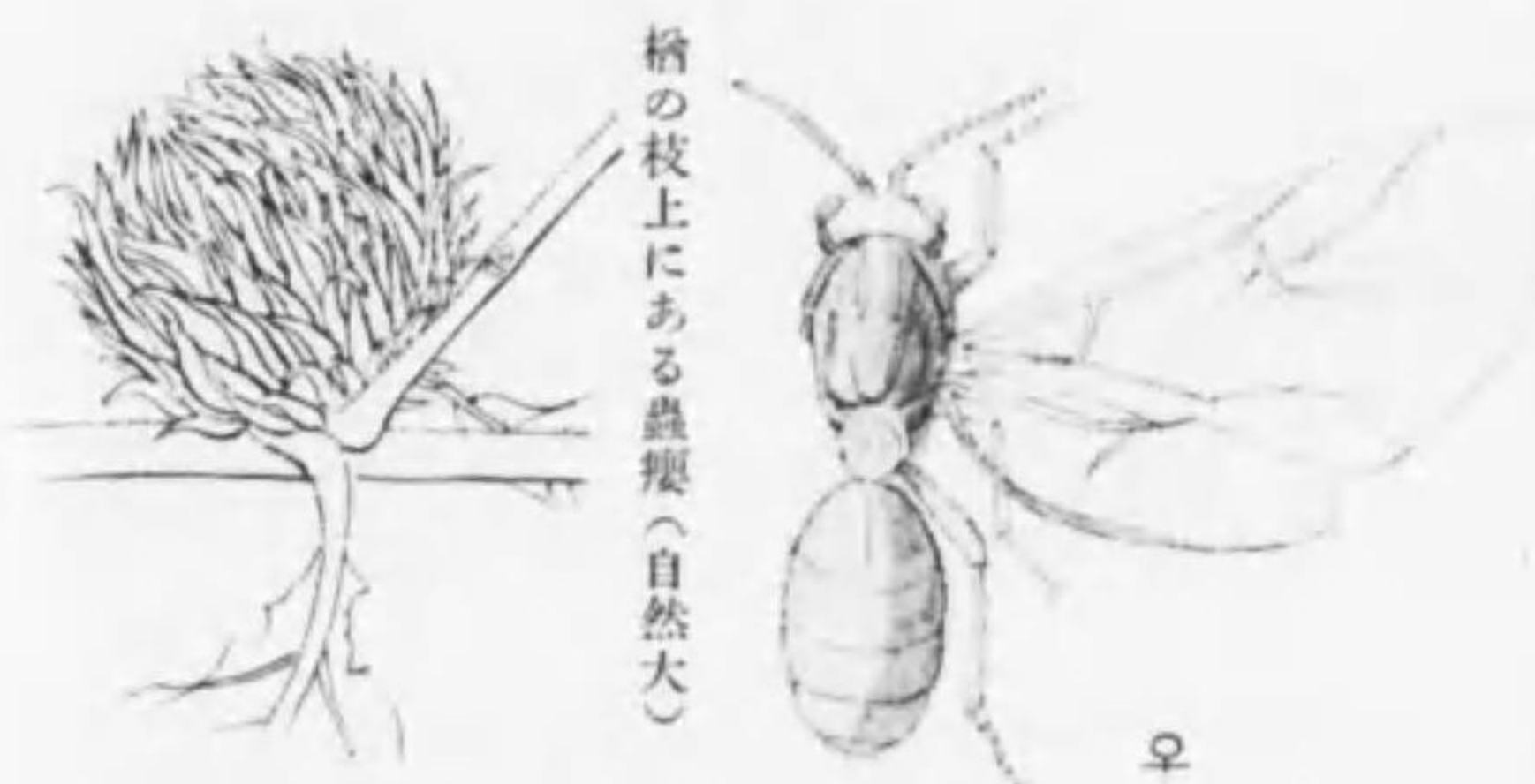
アメイロコマユ (EOM) 雌



體は光澤ある淡黄褐。後頭及び腹部の先端は黒色。觸角暗褐。翅透明、黒紋あり。體長五分。
分布 臺灣。

一六 没食子蜂科 (Cynipidae)

觸角は端直、十三節乃至十六節。前翅に縁紋を缺く。腹部側扁にして短大、腹下の縦溝内に産卵管を藏す。



幼蟲は樹枝又は葉に寄生し、蟲癭を生ず。

ナライガ

フシバチ

……(四三)

Dryophanta

nita

nukogae

wae Mats.

體褐色にして胸背少しく黒色、體長一分。蟲癭はナラダシゴと稱し球形、褐色

楕圓の枝上にある蟲癭(自然大)

にして、外面に細長の鱗片を有し、恰もクヌギの殻斗の如し。
分布 本州。



ナラリンゴフシバチ (四二四)

Dryophanta nawai Ash.



體黒色、光澤あり觸角黄褐、末端は暗色。體長一分。コナラ、クヌギ、ミツナラ等の枝の先端に黄色又は紅色の圓形なる美しき蟲癭を生ず。
分布 北海道、本州。



ナラフシバチ (四二五)

Dryophanta serrata Ash.

體黄褐。口部及び觸角は黒褐、後者の基部黄

色。後頭及び胸に黒紋あり。後脛節及跗節は暗褐。體長二分。ナラに寄生す。
分布 本州、九州。



ヒラタフシバチ (四二六)

Thecia japonica Mats.



體黒褐。頭及び胸の紋は黄色。觸角暗褐、中央は黄褐。翅は灰白、半透明。腹に五條の黒褐帯あり。脚黄色。體長五分。
分布 北海道。

クロヒラタフシバチ (四二七)

Thecia picea Ash.

一七 擬葉蜂科 (Trigonoidae)

Trigonoidae

翅脈は葉蜂科に酷似し、體は蟻蜂科に類似す。觸角は十九節以上。腹部は多く楕圓形にして五節。轉節は二個を有し、稀に後轉節三個を有するものあり。胡蜂類の巢に寄生す。

エゾマルハバチモドキ (四二八)

Nippoagonalus jezensis Tsch.



體は光澤ある黒色。胸部及び腹部の斑紋は黄色。雄に於ては腹背面に黄紋を缺く。觸角の基半部褐色。翅は少しく黄色を帯ぶ。體長三分内外。タロスズメバチの巢に寄生す。
分布 北海道(定山溪)。

一八 樹蜂科 (Ziricidae)

Ziricidae

觸角絲狀にして端直、十一節乃至二十四節。腹部は九節。産卵管は針狀にして長く、尾節の下方向に出づ。幼蟲は三双の脚を具へ、單眼を缺く。本科の幼蟲は天牛のそれの如く何れも樹木の材部に蠶入して大害を加ふ。

ナカアカムギバチ (四二九)

Cephus subrufa Mats.



體長六分。禾本科植物に寄生す。
分布 本州、北海道。



キアシムギバチ (四三〇)

Cephus viator Sm.

體黒色。腹部は黒褐。胸部

及び腹部に黄帯あり。各腹節及び跗節は淡黄褐。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。體長七分内外。

分布—北海道。

クロキバチ *Sirex antennalis* Marl. (四三)

♀



體黒色。頬灰白。觸角に白紋を帯ぶ。胸部及び腹部にも亦白紋を有す。脚黒色。體長八分内外。

分布—北海道、本州。

♀



カラフ
トキバ
チ……………(四三)

Sirex nipponicus Mats.

♀



體黒藍色。觸角黒色。翅の外半は暗色。腹部は基部及び尾節を除き

瑠璃色。脚に黄褐色あり。雄の觸角基部、脚及び腹部先端は黄褐。體長八分内外。

分布—本州。

ヒゲジロコキバチ *Sirex oginuro* Mats. (四二)

♀



體黄色。觸角に白紋を帯ぶ。翅半透明、暗色を帯ぶ。腹部は光線によりて紫色を現はす。第八節及び脚に白

紋あり。體長五分。

分布—樺太。

ヒメキバチ……………(四二八)

♂

體光澤ある黒色。頬、觸角、胸の紋、脚及び第一、二、三、七、八腹節は黄色。脚に黒色部あり。雄の腹部黄色、但し第一節及び尾端黒色。體長七分内外。少なし。

分布—樺太、歐洲。

マツキバチ *Sirex japonica* Sm. (四三)

♀



雌の體は黄色。中後の兩胸及び體下黒色。翅透明、末端少しく暗色。腹及び脚に黒紋を帯ぶ。雄は全體黄色にして、尾端の三節黒褐。體長七分—一寸。少なし。

分布—本州、九州。

コルリキバチ *Sirex juvenis* L. (四四)

♀



マツキバチに酷似するも體小。翅は黄褐、初の四腹節黄色、第五、六、七節は黒色。第八節の前

半黄色。體長六分内外。

分布—本州。

クロヒラアシキバチ *Tremex aspidis* Mats. (四二九)

♀



體黒色。腹部は黒藍色、白紋を帯ぶ。觸角先半及び脚の斑紋

は白色。翅は少しく黄色を帯び、外半は暗褐。體長八分内外。

分布—北海道。

タイワンヒラアシキバチ……………(四三〇)

七八



體黒藍色。觸角暗褐黄紋あり。翅半透明、黄色を帯ぶ。脛節は黄色、基節は體色と同色。體長六分内外。

分布—樺太、西比利亞、歐洲。

マツオホキバチ *Sirex matsumurae* Kohw. (四三五)

♀



雌は體黄色、體下黒色。胸背は黒褐。觸角及び脚は黄色。基節及び脛節は黄褐。雄は腹部暗黄、脚黒色。體長七分—一寸。普通なり。

分布—樺太、北海道。

ニトヘキバチ……………(四三六)

♀



體黒色。前胸、腹部及び脚の斑紋は黄色。觸角及び腹部は黒藍色を帯ぶ。翅黄

色、外縁は暗色。體長一寸。

分布—臺灣。

ヒラアシキバチ *Tremex similis* Marl. (四三一)

♀



體は黄色。中後の兩胸及び腹部の斑紋は黒色、

後者は金色光澤を有す。觸角暗褐、基部黄褐。翅黄色。脚黄褐。體長一寸一分。

分布—本州。

キアシクビナガバチ

Xiphyletia longicornis Konow

♀



雌は黒色。頭、胸及び腹の紋並に觸角及び脚は黄色。腹部光澤あり。翅は少しく黄色を帯び、透明。體長六分。

分布 本州(日光)。

エゾクビナガバチ

Xiphyletia japonensis Mats.

♀



カハカミクビナガバチに酷似するも觸角先半白色、各腿節赤色、脛節及び跗節黒褐、肩の白紋を缺く。體長七分。

分布 北海道。

カハカミクビナガバチ

Xiphyletia kawana

♀



體黑色。頭及び腹に白紋を裝ふ。各腿節及び跗節黄褐。肩に大なる白紋あり。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。體長七分。家蠶の害蟲なり。

分布 北海道。

アカツクビナガバチ

Xiphyletia rubroops Mats.

♀



體黑色、光澤強し。頭は光澤ある赤黄、但し顔面及び口部は黑色。翅は半透明暗色、光線の工合により少しく藍色を現はす。體長六分。

分布 北海道・本州。

一九 葉蜂科 Tenthredinidae

ルリコンボウハバチ

Abia karakana Mats.

♀



體黒藍色。觸角黒色。翅半透明、少しく黄褐を帯ぶ。脚黒色。體長四分二厘。

分布 本州。

ネジロコンボウハバチ

Abia lewisii Cam.

♀



體黑色、少しく綠色を帯ぶ。第一腹節及び各腿節以下白色。翅は透明、暗褐紋あり。體長三分。

分布 本州。

フタオヒハバチ

明、前縁の先半は暗色。體長四分内外。

分布 北海道、朝鮮。

ツマセグロハバチ

♀



體は淡綠黄。頭頂、後頭、胸背、腹部の基部及び先端は黒色、後者の中央は黄褐。翅は透明。體長三分内外。

分布 北海道。

ホシアシフトハバチ

♀



體黒藍色。腹部黄褐黒紋あり。翅黄色にして半透明。體長五分。

分布 本州、四國、九州。

カブラハバチ

八一

♀



體黑色。腹部は光澤強し。各腿節以下、觸角及び大腿は黒褐、但し後者の基部、胸部の紋、第一及び第五腹節は黄色。翅の前半は暗色。體長五分。

分布 本州。

キムネコシボソハバチ

♀



體黄色。後頭、胸背、第二及び第五腹節以下黑色。觸角黒褐。翅は黄色を帯び、先端は廣く暗褐。體長四分。

分布 九州。

ハネナガハバチ

Ailanthus longipennis Mats.

體黑色。顔面白色。觸角基部及び各腿節並に跗節は暗褐。腹部に黄帯あり。翅透明、黄色を帯

第一腹翅目

Athalia colibri Christ

♀



體光澤ある黄褐。頭及び稜状部兩側は黒色。觸角黒褐。翅透明、基部黄色を帯ぶ。體長二分内外。

分布 朝鮮、樺太、歐洲。
附言 本邦産のものを *f. japonica* Kokuw. と云ふ。

セグロカブラハハチ……………(四四六)

♀



Athalia nigri-notum Mats.
體黄褐、光澤なし。胸背及び頭部黒色。觸角、各脛節及び跗節は黒褐。翅透明、基部暗色を帯び、不透明。體長二分内外。

分布 本州、九州、沖縄。

クロハアカマルハハチ……………(四四七)
The wasps of the subgenus Athalia Mats.

Cimex castaneus Tsch.

♀



體は光澤ある暗褐色(栗色)、脚も亦同色なり。觸角赤褐。腹部は黄褐、光

澤強し。翅は黄褐、半透明。體長一寸。
分布 本州。

カラフトアシプトハハチ……………(四五〇)

♀



體は光澤ある黒色。觸角黄褐。基部は暗褐。各跗節黄褐。翅は黄色を帯び、外縁は暗褐。雄の跗節は膨大す

及び跗節は黄白。觸角末端暗褐。翅少しく黄色を帯び、暗褐紋あり。體長七分。
分布 本州。

ハチガタハハチ……………(四五五)

♀



Conospidha cylindrica Mats.
體上黄褐、體下及び脚は黄色。觸角暗褐。胸部及び腹部に黄紋あり。翅透明。體長四分五厘。
分布 本州。

フトハチガタハハチ……………(四五六)

♀



Conospidha umbrosa Mats.
體暗黄褐、黒紋あり。顔及び胸部の斑紋は白色。脚は黄褐。觸角黒褐。翅透明、先端は暗褐。體長四分内外。
分布 北海道。

シロオビクロハハチ……………(四五七)

Dolerus albocinctus Mats.

を除き黄褐なり。體長一寸。
分布 北海道、本州、西比利亞、歐洲。

キイロアシプトハハチ……………(四五三)

♀



Cimex tankushi Murri.
體黒藍色。頭、觸角、前胸、稜状部及び腹部(基部を除き)は黄色。各脛節及び跗節は黄褐。翅黄色、透明。

體長九分。
分布 本州。

ニトベヒラケチハハチ……………(四五四)

♀



Chavelaria nitobei Mats.
體光澤ある黒色、少しく綠色を帯ぶ。腹部の各節後縁は白色。各腿節

ルリアシプトハハチ……………(四五)

Cimex formosus Tsch.

♀



體は光澤ある黒藍色。腹部に黄白紋を帯ぶ。雄の腹部に褐色紋あり。他は原種と同一なり。

體長八分内外。
分布 北海道、本州、樺太。

アカハラアシプトハハチ……………(四五二)

♂



Cimex silvermani F.
シルバートルム形。
f. rufa Tsch.
前種に酷似すれども雄の腹部は基部



分布 北海道。

♀
體光澤ある黒色。腹部に白紋を装ふ。後轉節白色。前肢の前面は黄白。翅透明、少しく暗色を帯ぶ。體長二分五厘。

フタモンクロハバチ
Dolerus nigritatus Mats. (四五六)



分布 北海道。

♀
體黒色。頭、胸及び腹に黄白紋を装ふ。腹部黒褐。觸角下面及び脚の大部は黄

オホムネアカハチ
Dolerus epiphthalmus Sm. (四五九)



體黒色。腹部は光

澤強く、光線により綠色を現はす。前中胸は赤色。翅透明。體長四分。

分布 北海道、本州、四國、九州。

モンキクロハバチ
Dolerus flavipictus Mats. (四六〇)



分布 北海道。

♀
體黒色、少しく綠色を帯ぶ。口部及び脚黄褐。觸角下面及び腹部の中央は暗黄褐。翅透明。體長二分。

ハグロハバチ
Dolerus fuscipennis Sm. (四六一)



エソツマクロハバチ
Dolerus japonicus Mats. (四六二)

♀
體黒色。後轉節の基半部は白色。前轉節の前面黄白。翅暗色を帯び、半透明。體長三分。



♀
體黒色。前胸及び中胸の前半は赤色。腹部の中央は黄褐。翅透明。體長二分六厘。

分布 北海道。

シロアシマルハバチ
Eriocampa alipes Mats. (四六三)



♀
體は光澤ある黒色。各轉節及び附節は白色、但し後肢にては先端少しく暗色。翅透明。體長二分。

モンキハバチ
Eriocampa suturalis Mats. (四六四)



♀
體は黄褐、胸背及び腹部に黒褐紋を装

♀
翅は透明、少しく黄色を帯び、基部及び先端の一致部に中央の二帯は暗褐。體長三分五厘。

分布 北海道、本州。

キアシヒゲナガハバチ
Holeoneur flavipes Mats. (四六五)



♀
體黒色。大腿は黄褐。各轉節白色。前中肢及び後腿節並に同脛節の基部赤褐。翅透明。體長三分。

分布 北海道。

ムネアカルリハバチ
Hylotoma capitivum Sm. (四六六)



♀
體黒藍色、光澤あり。觸角黒色。前中胸背は赤褐。翅半透明、暗色を帯び、光線により紫色を現はす。體長三分五厘内外。

分布 北海道、本州、九州、臺灣。

キハネチユレンジ
Hylotoma flavipennis Mats. (四六七)



♀
體光澤ある黒藍色。觸角及び各附節黑色。翅は體甲様の黄色、脈は赤黄。體長六分。

分布 臺灣。

リングハバチ
Hylotoma mali Mats. (四六八)



♀
體黒藍色。觸角黄褐。腹部黒色、中央に白帯あり。各脛節の中央は白色。翅は黄色を帯び、暗褐紋あり。體長三分内外。

分布 北海道、本州。



♀
クロチユレンジ
Hylotoma nigritarsis Sm. (四六九)
體藍色、光澤強し。各脛

節白色、腿節黒色、附節暗褐。翅は黄色を帯び、黒帯を有す。體長四分内外。

分布 本州。

スズキチユレンジ
Hylotoma suzuki Mats. (四七〇)



♀
體光澤ある黒綠色。腹部の基部三節は暗黄色。觸角黄褐。胸黒褐。脛節の中央は白色。翅透明、暗褐紋あり。體長三分内外。

分布 本州。

ハコネマツハバチ
Lojhyrus hakonensis Mats. (四七一)



♀
體黒色。頭頂及び後狀部黒褐。觸角暗褐。各脛節、附節、肩及び各腹節の後縁并に第一腹節の全部黄色。翅透明。體長三分。

分布 本州(箱根)。

ムナグロマツハハチ.....(四七二)

Lophyrus jini Tr.
L. nigripectus Mats.



雌 體黄白。頭、胸下
中胸背の三紋及び
腹部の中央は黒
色。觸角暗褐。後
肢黒褐。翅透明、
少し黄色を帯ぶ。
體長二分七厘。

分布 本州。

クマモトヒラタハハチ.....(四七三)

Lyda kumanotensis Mats.



雌 體は光澤ある黒
色。頭、胸、腹
等の斑紋及び脚
は黄白。觸角黒
色。翅透明、少
しく黄色を帯
ぶ。體長四分。

分布 九州。

クロヒラタハハチ.....(四七四)

Lyda nigricans Mats.



雌 體黒色。額片、大
腿、翅底鱗及び
脚の大部は黄
白。後基節は黒
色。翅透明。體
長四分。

分布 北海道。

マツヒラタハハチ.....(四七五)

Lyda nigricoxae Mats.



雌 體黒色。複眼内
側の一紋、稜狀
部及び後稜狀部
は黄褐。觸角及
び脚は黄褐。翅
透明、少しく黄
色を帯ぶ。體長
三分五厘。

分布 北海道、本州。

アトグロヒラタハハチ.....(四七六)

Lyda posticoides Mats.

ホソヒラタハハチ.....(四七八)

Lyda saipuronis Mats.



雌 體黒色。複眼
前の一紋、後
頭、額片及び
胸部の斑紋は
黄白。脚黄褐。
腹部暗黄褐、
但し兩縁は淡
色。翅透明、少
しく黄色を帯ぶ。
體長四分。
分布 津太。

體黒色。觸角、前頭、口部、後頭、胸部の斑紋



雌 及び脚は黄色。腹
部光澤ある黄褐、
黒紋あり。翅透
明、少しく黄色を
帯ぶ。體長三分五
厘。

分布 北海道。

ハラグロヒラタハハチ.....(四七九)

Lyda scintillava Mats.



雌 體黒色。胸部の
紋及び稜狀部黄
白。觸角、腹背
並に各脛節及び
跗節は黄褐。觸
角末端は黒褐。
翅透明。體長四
分。

分布 北海道。

ツマジロクロハハチ.....(四八〇)

Macroplyta apicalis Sin.

體黒色。腹部は光澤強し。口部、觸角先端、後
腿節の一紋及び同轉節は白色。翅は少しく暗色



雌 體黒色、少
しく光澤あ
り。體下、
前中肢及び
後肢の大部
顔並に胸背
の斑紋は黄白。翅透明。體長二分五厘。

分布 本州、九州。

キバラハハチ.....(四八一)

Macroplyta flaviventris Mats.



雌 體黒色、少
しく藍色を
帯ぶ。觸角
中央及び腹
基部の下面
白色。翅透
明。體長四分。

分布 北海道。

フジハハチ.....(四八二)

Macroplyta fujisana Mats.



雌 體黒色。腹部
光澤あり。口
部及び腹部の
基部兩側は白
色。各脛節並
に跗節暗褐。

分布 北海道。

クロソチハハチ.....(四八三)



雌 體黒色。腹部
光澤あり。口
部及び腹部の
基部兩側は白
色。各脛節並
に跗節暗褐。

翅は透明。體長四分。
分布 北海道。

クロソチハハチ.....(四八三)

Macroplyta nishushii Mats.

クロハハチ.....(四八三)

Macroplyta ignava Sin.



雌 體黒色。口部、肩
及び脚に白紋を
帯ぶ。腹部少
く光澤あり。翅
透明。體長三分
五厘。

分布 北海道、本州、九州。

ミツハシハハチ.....(四八四)

Macroplyta nishushii Mats.

♀ *Macroplyya nigrolineata* Mats.
體は黄白。後頭、胸背及び腹背は黒色。胸背には緑色を帯びたる白紋あり。觸角の上面及び後脛節並に跗節は暗褐。翅透明。體長三分。



♀ 體長三分。
分布 北海道。

♀ *Macroplyya superornis* Mats.
體黒色。頭胸部には黄白紋あり。觸角及び腹部は黄褐。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。體長三分。



分布 北海道。



♀ *Tsunaguroharaa Kahachi* Mats.
體黒色。腹部黄褐、

但し基部及び末端は黒色。脚黄褐。翅透明。體長二分。

分布 北海道。

♀ *Zematus dorsalis* Mats.
體は黄褐。胸下及び胸背は暗褐。但し末端は黄褐。觸角赤褐。翅透明、基半部は黄色を帯び、



半透明。體長二分八厘。
分布 本州。

♀ *Olanotomus yorofui* Marl.
體黒色、金緑色の光澤あり。顔、脚の大部、前胸、稜状部及び腹部の大部は黄色。脚及び腹には黒紋あり。觸角黒褐。翅の前縁は廣く暗褐。體長六分。



分布 本州。

♀ *Pachyproctus palliventris* Marl.
體上は光澤ある黒色、體下、頭、胸、腹並に脚の大部は黄白。脚には黒紋あり。翅は透明。體長三分。



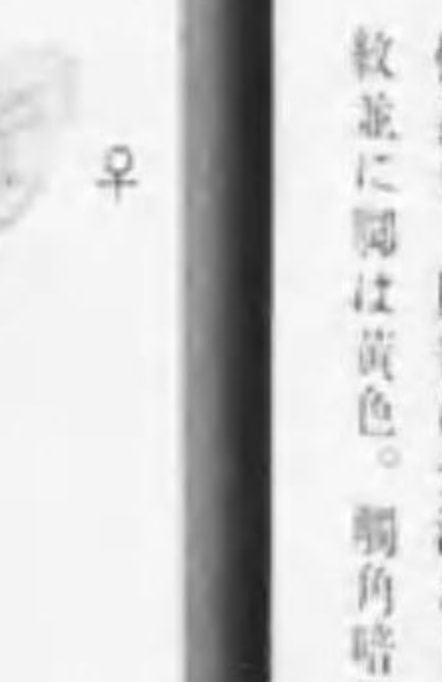
分布 北海道。

♀ *Phonatoeris aterrimus* Klug.
體は光澤なき黒色。脚黒褐。觸角に黒褐毛を密生す。翅半透明、暗色を帯ぶ。體長二分五厘。



分布 北海道。

♀ *Poecilosoma pallipes* Mats.
體黒色。腹部は光澤あり。頭、胸及び腹部の斑紋並に脚は黄色。觸角暗褐。翅透明。體長二分。



部の中央等黄褐。後肢の腿節及び脛節は黒色。翅は黒色を帯び、透明。體長四分。
分布 北海道。

♀ *Strongylogaster annularis* Mats.
體黒色、光澤なし。脚は黄褐。腹部黄褐なれども暗褐紋あり。翅透明、少しく黄色を帯ぶ。體長三分内外。



分布 北海道。

♀ *Strongylogaster compressus* Mats.
體光澤ある黒色。脚



シロハラナガハチ
分布 北海道。

♀ *Rhogogaster viridis* L.
體黄緑色。觸角、頭頂、中胸背、各腹節(後縁を除き)及び脚の斑紋は黒色。翅透明。體長四分内外。



分布 本州、支那、西比利亞、歐洲。

♀ *Poecilosoma nigricolor* Mats.
體は黄褐。觸角基部は暗褐。翅透明、少しく黄色を帯び、縁紋の基部黒色。體長三分。



分布 北海道。



分布 北海道。

♀ *Poecilosoma nigricolor* Mats.
體は黄褐。觸角基部は暗褐。翅透明、少しく黄色を帯び、縁紋の基部黒色。體長三分。



分布 本州。

♀ *Rhogogaster viridis* L.
體黄緑色。觸角、頭頂、中胸背、各腹節(後縁を除き)及び脚の斑紋は黒色。翅透明。體長四分内外。



分布 本州、支那、西比利亞、歐洲。

♀ *Zematus dorsalis* Mats.
體は黄褐。胸下及び胸背は暗褐。但し末端は黄褐。觸角赤褐。翅透明、基半部は黄色を帯び、



半透明。體長二分八厘。
分布 本州。

♀ *Olanotomus yorofui* Marl.
體黒色、金緑色の光澤あり。顔、脚の大部、前胸、稜状部及び腹部の大部は黄色。脚及び腹には黒紋あり。觸角黒褐。翅の前縁は廣く暗褐。體長六分。



分布 北海道。

♀ *Pachyproctus palliventr* Marl.
體上は光澤ある黒色、體下、頭、胸、腹並に脚の大部は黄白。脚には黒紋あり。翅は透明。體長三分。

分布 北海道。

及び腹部は黄白。觸角柄節白色。翅透明。體長二分五厘。

分布 北海道。

モイハナガハチ *Zenopsis logaster moiwanus Mats.* (五〇〇)

♀



體黑色、光澤あり。大臑は褐色。胸部に黄紋を装ふ。各脛節は白色。腹部暗褐。翅透明。體長四分。

分布 北海道。

ツノキクロハチ *Zenopsis flavicornis Mats.* (五〇一)

♀



體黑色。觸角は末端を除き黄褐。後棘節白色。前中脛節及び跗節黄褐。翅透明。體長四分。

分布 本州。

ウスツマクロハチ *Zenopsis flavicornis Mats.* (五〇二)

Tentredo adusta Motsch.

♀



體黄褐、光澤あり。腹部の末端黑色。翅は黄色を帯び、透明、先端は暗褐。體長四分内外。

分布 北海道、本州、九州。

ハラナガクロハチ *Tentredo lularis Sm.* (五〇三)

♀



體黑色。腹部の中央、各脛節及び跗節は黄褐。口部は黄白。後胸及び腹部の基部兩側に白色を帯び、體長四分内外。

分布 北海道、本州、九州。

ジャウノハチ *Tentredo japonensis Mats.* (五〇四)

體は黑色、光線の工合にて藍色を呈す。口部、頭及び胸部の黄紋は白色。各脛節及び跗節は白



色。前者の先端は黑色。翅透明、末端は黒褐。體長五分五厘。

分布 本州、九州。

タケダハチ *Tentredo takebe Mats.* (五〇五)

♀



體黄綠色。頭、胸及び脚に少しく黒紋あり。觸角上面黒褐。翅透明。體長三分内外。

分布 本州。

ルリハラハチ *Tentredo abominabilis Mats.* (五〇六)

♀



體黑色、光澤なし。大臑の基部及び腹部の基部兩側は白色。腹部黒藍色。翅透明。體長四分五厘。

北海道。

ネウスキハチ *Tentredopsis basalis Mats.* (五〇七)

♀



體黑色。頭、觸角柄節、體下、前中肢並に胸及び腹の斑紋は黄白。後肢及び腹部は黄褐、黒紋あり。翅透明。體長三分五厘。

分布 本州。

キグチハチ *Tentredopsis flavomandibulata Mats.* (五〇八)

♀



體黑色。口部、肩並に後胸及び腹の基部兩側は白色。脚の大部黄褐。翅透明、少しく黄褐を帯ぶ。體長五分

五厘。分布 本州。

ハキハチ *Tentredopsis hakensis Mats.* (五〇九)

♀



體暗黄褐、黒紋あり。觸角暗褐。脚黄白、但し後脛節末端及び脛節は黑色。翅は少しく黄色を帯び、先端暗褐。體長六分。

分布 本州、九州。

チャウサンハチ *Tentredopsis jezani Mats.* (五一〇)

♀



體黑色。觸角及び柄節は黄褐。前中肢及び白紋を装ふ。腹部暗褐。翅透明、先端に暗褐紋あり。體長四分。

分布 北海道。

クロムネハチ *Tentredopsis nigripectus Sm.* (五一一)

體黒褐。頭、各跗節、脛節の基部及び棘節は黄

ムナグロキハチ *Tentredopsis platycerus Sm.* (五一二)

♀



體黄褐、黒紋あり。觸角前半及び後脛節は黑色。翅透明、黄色を帯ぶ。體長五分。

分布 本州。

オホツマクロハチ *Tentredopsis providens Sm.* (五一三)

♀



體黄褐。頭頂、胸背、腹の先端及び後脛節上面は黑色。觸角暗

褐。體長五分。

分布—北海道、本州。

オホヒラクチハバチ……………(五一四)

♀

Trichosoma allopilosum Mats.



體光澤ある黒色、少しく緑色を帯び、灰白毛を密生す。顔黄色。腹部の下面及び各跗節は褐色。翅は少しく

黄色を帯び、透明。體長九分。

分布—本州。

ヒラクチハバチ……………(五一五)

Trichosoma fozankannum Mats.

♀



體黒色、光澤あり。觸角黒褐。各脛節及び跗節黄色。翅黄色を帯び、透明、外縁は少しく暗色。雄の腹部兩

縁は赤褐。體長七分内外。

分布—北海道。

カラフトヒラクチハバチ……………(五一六)

♀

Trichosoma sachalinense Mats.



體は光澤ある黒色。觸角黄褐。末端黒色。腹部の兩側及び各脛節以下黄褐。胸部に灰白毛を密生す。體長五分。

分布—樺太。

追加

タケフシコバチ(小蜂科)……………(五一七)

Aiolomorpha

rhopaloides

Wk.

♀



體黒色、光澤なく、腹部は暗赤褐。觸角暗褐。

體長二分内外。幼蟲は竹に寄生す、然らばその局部紡錘狀に肥大す。

(a) 被害の竹

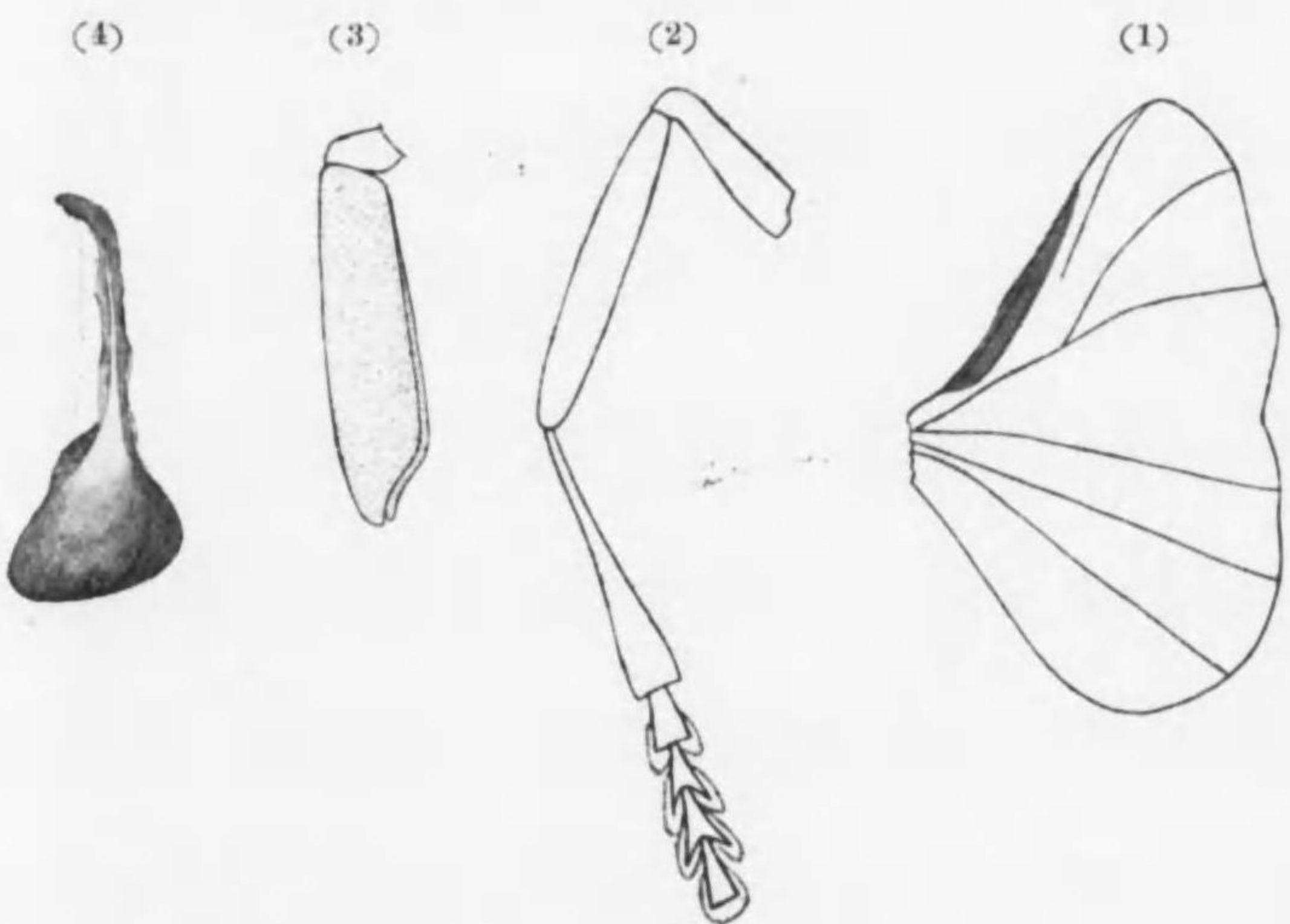
分布—本州、支那。

第二 燃 翅 目 STREPSIPTERA

第二 撚翅目

Strepsiptera

口部は退化す。三胸環は相分離し、後胸背は腹背上に延長す。前翅小にして、其末端撚る。後翅は大にして、静止のときは縦に重疊す。雌は脚及び眼を缺き、蛆状を呈す。變態は完全なり。幼蟲は異形變態をなし、胸部に三双の脚を具へ、二個の尾毛を装ひ、能く跳躍す。一度蜂に寄生すれば脚及び尾毛を失し、蛆状となる。何れも蜂の外體に寄生す。本邦に産するもの左の一科あり。



(1) 後翅
(2) 前肢
(3) 觸角
(4) 前翅

(何れも廓大)

一 撚翅蟲科 *Strophopidae*

雄の觸角は四節、第三節は外側に長枝を出し、長き第三節と同長。附節は四節より成り、爪を缺く。雌の頭胸は一定せず。何れも蛆状にして翅脚を缺く。本邦に産するもの左の一種あり。

果してビエール氏の種類なりや不明なり。今假にビエール氏の學名を採用し置くも、或は新種なるやも知れず、その場合には *V. japonicum* の名を與へんと欲す。

クロネジレハネ *Vespaenosis erabronis* Pierre (1)

Vespaenosis erabronis Pierre

體は天鵞絨様の黒色、中胸背の中央に黄褐色の帯を具へ、後胸背の後縁は暗褐色。腹部の兩側は灰黄、尾端中央の附屬物は黄色。前翅棍棒状にして、黒色、其縁は灰白。後翅は半透明、少しく暗色を帯ぶ、五縦脈ありて、其内、第二脈は中央に近く分支す。脚は黄褐色、各附節の下方にある附屬物は黄色。開張二分。これはモンズメバチの巢にて捕獲せるが、甚だ稀なるが如し。



附言—ビエール氏は雌にて屬名を創設し、種名を命じたれば、本種が

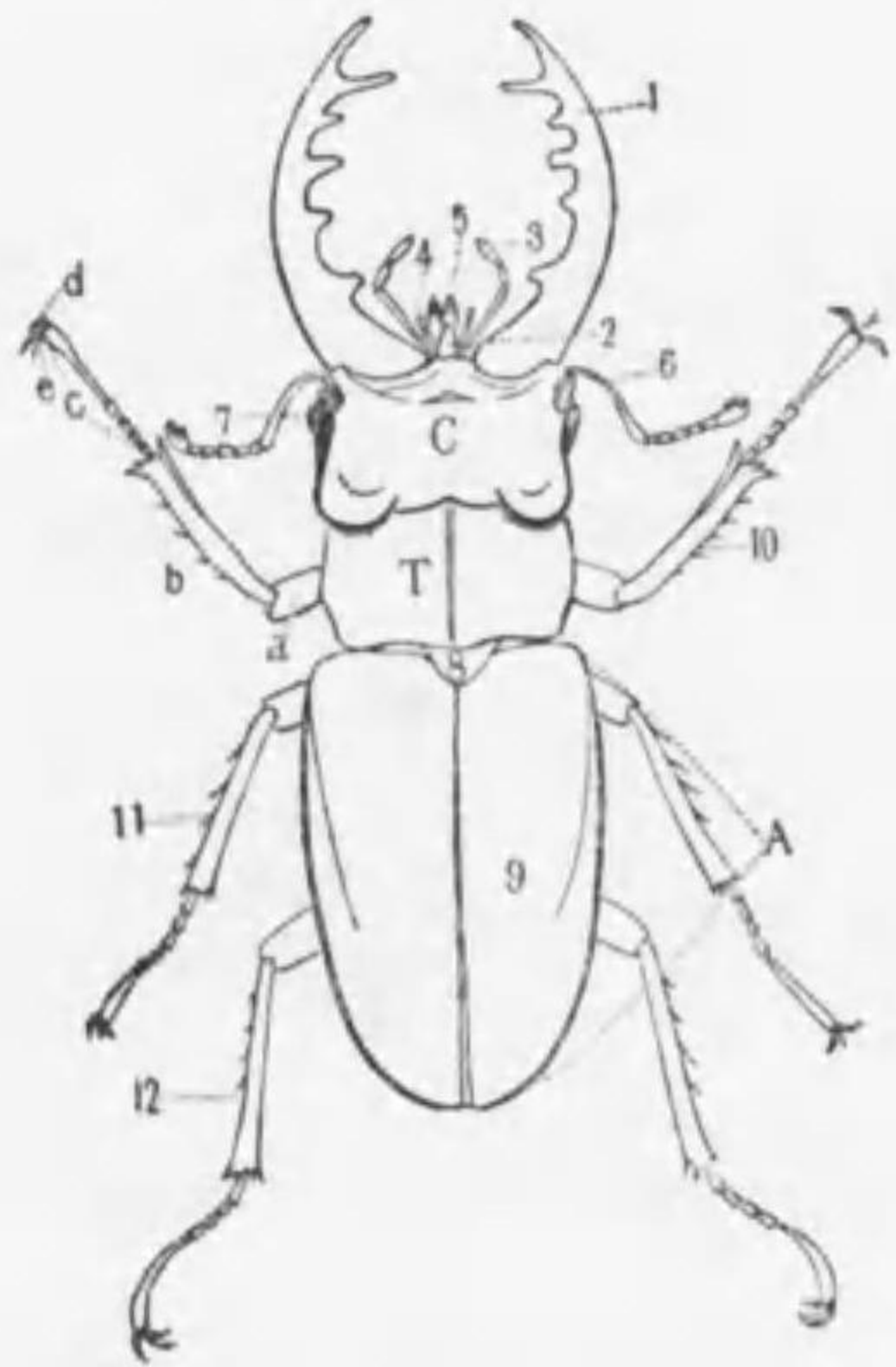
第三
鞘翅目
COLEOPTERA

第三 鞘翅目

Coleoptera

本目は普通甲蟲と稱するものを包擁す。口は咀嚼に適す。頭及び前胸は角質の硬皮を以つて蔽はれあれども自在に動く。觸角は種類により大にその形状を異にす。單眼を有するもの極めて稀なり。前翅は角質にして、腹部と後翅とを蓋ふ。後翅は膜質にして、獨り飛行を司どる。脚は歩行若くは游泳に適す。腹部は肥大せり。變態は完全なり。幼蟲は六脚を具へ、多くカンボデア形なれども、亦退化して象鼻蟲の如く脚を缺くものあり。蛹は普通、裸蛹、時に繭を造るものあり。多くは食草性にして、農林業者に有害なれども、又時に食肉性にして、有益なるものもあり。本邦學名を有するもの約二千五百種あり。

ミヤマクハガタ



Lucanus maculifemoratus Motsch.

- (e)(d)(c)(b)(a)(12)(11)(10)(9)(8)(7)(6)(5)(4)(3)(2)(1)(A)(T)(C)
- 頭部 (Caput)
 - 胸部 (Thorax)
 - 腹部 (Abdomen)
 - 大顎 (Mandibula)
 - 上唇 (Labrum)
 - 小顎 (Palpus maxillaris)
 - 下唇 (Palpus labiales)
 - 舌 (Lingula)
 - 觸角 (Antenna)
 - 複眼 (Oculus compositus)
 - 稜狀部 (Scutellum)
 - 翅鞘 (Elytra)
 - 前肢 (Pedes anteriores)
 - 中肢 (Pedes medius)
 - 後肢 (Pedes posteriores)
 - 腿節 (Tibia)
 - 跗節 (Tarsus)
 - 爪 (Ungues)
 - 小爪 (Empodium)

一 斑蝥科 Cicindelidae

觸角十一節、鞭狀を呈す。大顎に三銳齒あり。小顎は二葉に分れず、末端に動き得べき一鈎を裝ふ、小顎齒は二個ありて、内側にあるものは二節、外側にあるものは四節より成る。舌は内方に曲り、副舌を缺く。脚は延長して歩行に適し、跗節は五節、細長なり。腹部は六節、初めの三節は癒着して動かず。普通砂地に多く、又田圃の路上に棲息するものあり。幼蟲は牧草間又は路上に圓柱形の深き巢孔を造り、其の口にありて他蟲の來るを待ち伏せ捕食す。本邦領土内に産するもの約三十四種あり。

イカリハンメウ

Cicindela anethorialis Chev.

(一)



♀
背面は銅綠色。翅鞘は白色、一大縱形紋は銅綠。體下及び腿節は綠色。脛節並びに基節は黃褐。體長三分七厘内外。これは種々鳥に普通なり。

第三 鞘翅目

分佈 沖繩、臺灣

ヤツボシハンメウ

Cicindela aurulenta F.

(三)

背面は大部紫藍色。頭頂、前胸背の二大紋、翅鞘の周圍及び接合線は綠色。翅鞘の各四紋は白色。體下及び脚は金線乃至綠色、光線の工合により藍色を現はす。脛節及腿節の末端は藍色。體長五分五厘。これは臺灣に稀ならず。

パテシイ形 ♀ *f. latessi* Plant.



分佈 臺灣

ナミハンメウ (ハンメウ)

Cicindela chinensis Dege.

(三)

體は頗る美麗にして、金線と紫色とを相混じり、光線の方向によりて多少その彩色を異にす。翅鞘の翅底に近き一圓紋並びに翅端に近き一紋は紫色、その他の紋は白色。體長六分八厘内外。これは本邦普通の種類なれども、北海道には産

分佈 本州、四國、九州、沖繩、朝鮮、支那

♀



エリサハンメウ

Cicindela elisae Motsch.

(四)

背面は暗褐、銅色を帯ぶ。翅鞘上の斑紋は灰黃。體下及び脚は暗綠、灰白毛を裝ふ。各轉節は黃赤。體長三分五厘内外。これは本邦稀なら



九九

ざる種類にして、湿地の路傍に捕へ得べし。
分布—北海道、本州、朝鮮、臺灣、支那、西比利亞。

脚は金緑、腿節の外側は銅色。體長五分五厘内外。これは朝鮮には普通なり。
♀

支那、西比利亞。

アマミハンメウ……………(五)

Ociudela ferriei Plant.

體は美麗なる紫藍色、頭部及び前胸背は大部濃藍色。觸角は基節を除き黒色。翅鞘の各五紋は白色。腿節に白毛多し。體長五分内外。これは奄美大島に稀ならざるが如し。
♂



分布—樺太、北海道、朝鮮、滿洲、西比利亞。

ホソハンメウ……………(七)

Ociudela (Cylindera) gracilis Pall.

體は黒色、少しく緑色を帯ぶ。翅鞘前縁の中央にある一長紋及び翅端の、字形紋は白色。尾端は黄色。體長四分内外。これは本邦餘り多からざる種類なり。
♂



分布—北海道、本州、四國、九州。

コニハンメウ……………(八)

Ociudela hybrida L.

體は黒緑、前胸背の二横溝は美麗なる紫藍色。ヤバネンシヌ形。翅鞘の紋は黄白。腹面金緑、兩側に判然せざる灰色の軟毛あり。體長四分三厘内外。これは本邦至る處に分布す。
分布—日本全土、朝鮮。



ニハンメウ……………(九)



アイノハンメウ……………(六)

Ociudela gemmata Fald.

背面は暗褐、銅色を帯ぶ。翅鞘の斑紋は淡黄。體は綠色、光線の工合により紫藍色を現はす。前胸の側方、中、後兩胸の側板等は背面と同色。



分布—九州(大島)。

Ociudela japonica Motsch.

體色は一定せずと雖も、暗緑なるもの普通なり。ミヤマハンメウに酷似するも、上唇の前縁は直なるによりて區別せらる(ミヤマハンメウにては三角形を呈す)。體長五分八厘内外。これも前種同様に普通なり。
分布—日本全土、朝鮮、支那、西比利亞。

タイワンヒメハンメウ……………(一〇)

Ociudela kalua Bat.

體は暗緑、背面に銅色の光澤あり。翅鞘は濃色にして、光澤を缺き、斑紋は白色。體下に白毛多し。體長二分八厘内外。この種類は臺灣の道路に稀ならず。
♂



分布—臺灣、支那、印度支那。

カハラハンメウ……………(一一)

Ociudela laetescripta Motsch.

體は藍色。翅鞘は黄白、前方の龜甲様紋及び後方の大字形紋は黒緑。腹面は兩側に白色の短毛を密生し、中央は光澤ある紫綠色。體長五分八厘内外。これは中國地方の海岸に普通なり。
♀



分布—日本全土、朝鮮、支那、滿洲、西比利亞。

レウキスハンメウ……………(一二)

Ociudela lawisi Bat.

背面黒色。翅鞘の斑紋は淡黄。體下は暗紫色、中、後兩胸の側板は銅色を帯ぶ。脚は綠色又は金緑、光線の工合により銅色を現はす。前胸背の側方、體下及び腿節に白毛多し。體長五分五厘内外。これは本州に稀ならざるも北海道に産せざるが如し。



ヒメハンメウ……………(一三)

Ociudela litoreifera Chant.

體は暗緑。翅鞘の斑紋は黄白。胸腹の兩側に白色の短毛を密生す。體長三分三厘内外。これは日本全土に分布する普通種なり。
分布—日本全土、支那、ベルシヤ。

シロヘリハンメウ……………(一四)

Ociudela niveinecta Chev.

體は黒緑。翅鞘は紫色を帯び、兩側は白色、光線の方向により中央に一個の紫色紋を現はす。

インスベクラリス形 ♀
C. insperularis Horn



腹面の両側に灰白の軟毛を密生す。體長三分三厘内外。これは播州地方の海岸に普通なり。
分布 本州、四国、九州、朝鮮、臺灣、支那。

ヒメヤツボシハンメウ……………(一六)

Cicindela psilica Lat.

體は金緑。眼の内側及び前胸背の前後兩縁は濃藍色。頭頂の一紋及び前胸背の中央は銅色。翅鞘は銅褐色、各四紋は白色。腹部は藍色。腿節は金緑、末端は藍色、脛節及び跗節は赤褐、少しく紫色を帯ぶ。體長二分五厘—三分。これは石垣島及び臺灣に普通なり。
♂



分布 沖縄(石垣島)、臺灣。

ミヤマハンメウ……………(一七)

♀



Cicindela schalinskiensis Mor.

體色は一定せずと雖も、暗緑又は綠褐なるもの多く、光澤を缺く。翅鞘上の斑紋は何れも淡黄。體長五分五厘内外。これは高山地帯に稀ならざる種類なり。
分布 樺太、北海道、本州、朝鮮、アムール。

ザウテルハンメウ……………(一八)

Cicindela sauteri Horn

體は暗綠色。背面は光澤を缺き、褐色を帯ぶ。翅鞘は側方に各二個の白紋を裝ひ、點刻は青綠色なり。體長三分五厘。これは臺灣に稀ならず。
♂



分布 臺灣。

ムツボシハンメウ……………(一九)

Cicindela sesquipedata F.

背面黒藍色。翅鞘の各三紋、大腿基部及び上唇



れは暖地に稀ならず。
分布 本州、九州、沖縄、臺灣、支那、比島、印度。

カラフトハンメウ……………(二〇)

Cicindela sylvatica L.

體は赤銅色。大腿の大部及び翅鞘の紋は黄白。翅鞘に判然せざる縮紋多し。腿節は紫藍色。腹節は綠藍色。體長六分内外。樺太に普通なり。フアシアトブンクタータ形
C. fasciopedunculata Gerni.



分布 樺太、西比利亞、歐洲。

大部は黄白。翅鞘周囲は綠色。體下及び脚は綠色。體長五分内外。これは臺灣に普通なり。
♂



分布 臺灣、支那、印度支那。

コハンメウ……………(二〇)

Cicindela speenlaris Chant.

體は金緑。翅鞘の一弓狀紋、丁字形の一紋、翅端のフ字形並に翅底より約2/3の所にある一點は黄白。胸下及び腹面に灰白の短毛を密生す。體長三分三厘内外。これは中國地方に稀ならず。
♀



ホソメダカハンメウ

Collyris (Noecolysis) formosus Kat.

體は青紫色。翅鞘は緑青色。體下は濃藍色。觸角及び脚は黄褐。腿節の末端は黒色を帯ぶ。體長四分五厘内外。これは臺灣に産すれども餘り多からず。葉上に捕へ得べし。



分布—臺灣。

クロステメダカハンメウ

アルボオブリクアーツス形

f. albo-obliquatus Horn



Therates clavicornis Horn

體は濃藍色、少しく緑色の光澤を有するものあり。翅鞘は暗褐、基部、肩部、末端等は淡色、中央に各一淡色帯を裝ふ。脚は黄褐乃至暗褐。體長三分内外。これは臺灣に稀ならざるも、その小形なる爲め捕へ損ふこと多し。

メダカハンメウ

Therates fruhstorferi Horn

體は濃藍色、少しく紫色を帯ぶ。翅鞘は紫藍色、各一紋は黄色。脚は赤褐、腿節及び跗節は黒色。體長四分五厘内外。これは臺灣に産するも餘り多からず。

ザウテリー形

f. sauteri Horn



分布—臺灣。

二歩行蟲科 Carabidae

觸角十一節、鞭狀若くは絲狀。大臑は大、其内側は双物狀を呈し、時に末端に一齒を有するものあり。小臑は二個ありて、前方にあるものは二節、後方にあるものは四節よりなる。舌は延長し、更に副舌を有す。脚は歩行に適して長く、跗節は五節より成り、雄にては前跗節肥大す。腹部は五節乃至八節より成る。多く地上にありて他蟲を捕食するを以て、農林家に有益なるものあり。本邦學名を有するもの約五百種あり。

セスチゴミ(ムシ)

Agonum daimio Kat.



普通なり。

分布—本州、九州、朝鮮、臺灣、支那。

セホシゴミ

下は灰黒。體長一分五厘内外。これは水邊に捕へ得べし。

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

ホシホシゴミ

Brethesa multipunctata L.

體は黒色、少しく銅色を帯ぶ。前胸背側方の點刻及び翅鞘縱溝内の小點刻は綠色。翅鞘の第二間室に四、五個、第四間室に二、三個の大點刻あり。體長四分五厘内外。これは札幌附近の密林中に捕へ得べし。



分布—北海道、西比利亞、歐洲。

キガシラアラゴミ

Calceida lepta Beal.

體は黄褐を呈す。翅鞘は金緑、中央は少しく黒味を帯び、接合線は黒褐。脚は黄褐にして、腿

雌上は銅色。體下は黒綠。頭部及び前胸背は綠色。翅鞘の縱溝は列然せざる小點刻を連ね、第三間室には大なる五個乃至七個の點刻を具ふ。體長三分二厘。これは札幌近傍の田圃に多し。



分布—北海道、西比利亞、歐洲。

マルガタゴミ

Amara chalcites Zimm.

體は光澤ある黒色にして、少しく綠色を帯ぶ。翅鞘に九個の縱溝を具へ、各溝には極めて小形の點刻を連ね、尙ほ第九溝には粗大の點刻列あり。體長三分二厘内外。これは本邦普通なる種類にして、早春路上に捕へ得べし。



分布—日本全土。

ナシトク(ハマダ)

Anisoholcylus signatus Illig.

第三鞘翅目

體は黒色。翅鞘の褐色なるものあり。頭頂の二紋は赤黄。翅鞘は列然せる縱溝を具へ、溝及び間室に點刻を缺く。體長四分八厘内外。これは本邦普通なる種類にして、早春路上に多し。



分布—日本全土、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。

ヒメカハラゴミ

Bembidium oxyglymma Bates

體は金色。翅鞘の兩側は少しく綠色。體長一分五厘内外。これは甚だ活潑なる種類にして、河畔の砂上に捕獲し得べし。



分布—北海道、本州、支那、西比利亞。

マダラミツギハゴミ

Bembidium varium Oliv.

體は暗褐、少しく綠色を帯ぶ。翅鞘は暗褐、各二個の黄紋を具ふ。脚は黄色。體



節端は黒色。體長四分内外。これは森林の樹上に捕へ得べし。

分布—本州、九州。

エゾカタビロヲサ(ムシ)……………(三五)

Calosoma nudaeae F.

體は黒褐、金光を放つ。翅鞘は全體鱗狀の小縮紋を密布し、判然せる金色點の三縱列あり。體長九分五厘内外。これは札幌附近に多き種類にして、夜盜蟲その他地蠶を捕食して有益なり。

キネンセ形 ♀ *C. chinense* Kirby



分布—樺太、北海道、本州、朝鮮、支那。

クロカタビロヲサ……………(三六)

Calosoma maximoviczi Mor.

體は黒色。翅鞘の兩側は少しく黒色を帯び、第四、第八及び第十二縱隆には數色の大點列を呈す。

♀



♀。體長一寸内外。これは倒木下に捕獲し得べしと雖も、亦嗜んで樹上に棲息し、毛蟲を捕食す。

分布—北海道、本州。

マイマイカブリ……………(三七)

Carabus (Danaster) biaptoiles Kollar

全體暗黒。翅鞘に小顆粒を粗布し、翅鞘末端は



延長して各別々に尖り、少しく上反す。體長一寸七分—一寸九分。これは本邦最大の歩行蟲にして、九州の如き暖地に稀ならず。

分布—本州、四國、九州。

オホヲサ……………(三八)

Carabus (Ochromopterus) dehaani Chaud.

體は黒色。前胸背及び翅鞘の兩側は紫藍色を帯ぶ。第七腹節の兩側に各一個の赤紋を裝ふ。體長一寸一分内外。これは本邦稀ならざる種類なれども、北海道には産せず。

♀



分布—本州、九州、支那。

ツシマカブリモドキ……………(三九)

Carabus (Coptolabus) frustorferi

Roesehlke

背面は黄褐色、光線の工合により金褐色を現は

♀



♀。翅鞘は黒色、周縁は金線。體下は暗藍色。觸角及び脚は黒色、少しく赤褐を帯ぶ。體長一寸三分内外。これは對馬に産する珍種なり。

分布—九州、對馬。

オホルリヲサ……………(四〇)

Carabus (Acoptolabus) gehini Fairm.

體は綠色若くは金線、光線の方向により多少その色彩を異にす。體下は黒紫色、兩側は赤紫色。體長一寸二分内外。これは札幌附近に普通なる種類にして、倒木下若くは石下に捕獲し得

♀



♂

分布—北海道、本州。

エゾヲサ……………(四一)

Carabus granulatus L.

體は緑黒。體下、頭部、觸角及び脚は黒色。尾端の兩側に各一個の小赤紋あり。翅鞘に判然せる縱隆條を供へ、第四、第八及び第十二隆は點線の隆條にして大なり。體長七分三厘内外。これは札幌地方にては倒木下若くは石下に捕へ得べし。

キネンセ形 ♀

C. jezoensis Bat.



分布—北海道、西比利亞、歐洲。

アラヲサ……………(四二)

分布—本州、四國、九州。

マヤサンヲサ……………(四三)

Carabus (Ochromopterus) miyasanus Bat.

體は黒褐色にして、赤銅色を帯ぶ。翅鞘に十五條の縱隆を裝ひ、其の内第四、第八及び第十二隆は點線なり。體下は黒色。體長七分八厘内外。これは札幌地方にありては倒木下若くは石下に捕へ得べし。始めて摩耶山にて發見せられたるを





♀
以てこの名あり。
分布—北海道、本州。

テウセンカブリモドキ……………(四四)

Carabus (Coptoharbus) ondoti Hans.

頭部及び前胸背は金緑、光線の工合にて銅色を呈す。翅鞘は緑色、少しく金色を帯び、黒色の紋列を装ふ。體下は黒色、少しく藍色を帯び、前胸及び中胸の側板は金緑を呈す。觸角及び脚は黒色。體長一寸二分五厘内外。これは朝鮮に



♂
サツホロクビナガヲサ……………(四八)

Carabus (Acoptoharbus) saipurensis

Uchida et Yamamaki

脊面は暗緑。翅鞘は黒色、周縁少しく藍色を帯ぶ。體下及び脚は黒色、光線の工合により少しく紫藍色を現はす。觸角は黒色。體長一寸二分内外。これは札幌附近に産するも甚だ稀なり。



♀
分布—北海道。

シユレンクラサ……………(四九)

Carabus (Acoptoharbus) schrenkii Motsch.

頭部及び前胸背は銅色、紫色を帯び光澤あり。



♂

産するも餘り多からず。

分布—朝鮮。

ヒメ(マイマイ)カブリ……………(四五)

Carabus (Danaster) oxuroides Schumm.

體は黒色、少しく藍色若しくは紫藍色の光澤を有す。翅鞘は暗黒、光澤を缺き、末端は別々に尖る(マイマイカブリに於ける程著しからず)。體長一寸三分内外。これは東京附近に稀ならず。



♀
分布—本州。

クロナガラサ……………(四六)

Carabus (Leptocarabus) procerulus

Chand.

體は黒色。頭頂に褐色の剛毛を装ふ。翅鞘に短線列より成れる三條の縦隆ありて、その間に二乃至三條の不明なる顆粒列を装ふ。體長九分七厘内外。これは森林内の倒木下に捕へ得べきも



♀

一〇八

分布—北海道、本州。

エゾカブリ……………(四七)

Carabus (Danaster) rugipennis Motsch.

體は黒色、少しく紫色を帯ぶ。腹面は紫色。翅鞘は不規則なる點刻を密布す。體長一寸四分内外。これは札幌地方に普通なる種類なり。



♀

分布—北海道。

分布—北海道、本州、朝鮮、西比利亞。

ヒメキベリアヲゴミ……………(五一)

Chlaenius circumductus Mor.

體は金緑。頭部及び胸部には頗る光澤あり。前胸背の兩縁は細く黃色を呈す。脚は淡黄。



♀

體下は黒褐。體長四分内外。これは札幌地方に多き種類にして、五月下旬、田圃の蘆芥下に捕獲し得べし。

分布—北海道、本州、朝鮮、西比利亞。

オホキベリアヲゴミ……………(五三)

Chlaenius culminatus Pat.



♀

體は暗綠色。頭部及び前胸は光澤ある金綠色。脚及び翅鞘の周圍は黃色。翅鞘には八條の縱隆ありて、間室の兩側には小點列を列ぬ。體長八分内外。これは塵芥下に多き種類にして、好んで電燈に飛來す。

分布—北海道、本州、西比利亞。

キベリアアラゴミ *Chlaenius inops* Chaui. (五三)

體は暗緑にして、金色の光澤を放つ。前胸背の兩側、翅鞘の周縁(前縁を除く)並に脚は暗黄。體長五分内外。これは本邦普通なる種類にして、田圃の塵芥下に多し。



分布—北海道、本州、九州。

アトホシトミ *Chlaenius aeneiger* Mor. (五四)

體は黒褐。頭部及び前胸背は金色を帯ぶ。脚及び翅鞘に近き二枚は黃色。體下は黒色。體長五分内外。これは本邦普通なる種類にして、田圃の塵芥下に多し。



分布—日本全土、朝鮮、支那、西比利亞。

ハラアカゴミ *Chlaenius japonicus* Motsch. (五六)



分内外。これは札幌地方に普通なる種類にして、田圃の塵芥下に捕獲し得べし。

分布—日本全土、朝鮮、滿洲、支那。

アラゴミ *Chlaenius pallipes* Gebl. (五五)

體は綠色。前胸背は金綠色。脚は黄色。體下は黒色。翅鞘に列然せる縱溝を具へ、之れに點列を列ぬ。間室には顆粒を密布す。體長四分七厘内外。これは早春田圃の塵芥下に捕へ得べし。



體黒褐、少しく藍色を帯ぶ。腹面灰黄。前胸背の兩側赤褐。翅鞘の縱溝に小點列を列ぬ。體長四分内外。これは醋酸様の臭氣を發散するを以て俗にスムシと云ふ。

分布—北海道、本州。

フサモトキ *Craspedonotus thalitis* Schumm. (五七)

體は黒色。翅鞘に點列の縱列を不規則に並列し其の中間は少しく隆起す。脚は黒色、脛節は黄色。體長八分内外。これは河畔の砂地に孔を穿ち、その内に住し、時々その孔より出て、小蟲を捕食す。



分布—北海道、本州。

タテスチゴミ *Crossoglossa lateineta* Bat. (五八)

體は淡黄褐。翅鞘は兩側に太き弓形の黒線を裝ひ、縱溝は點線を具へ、第三溝には太き一點列あり。體長三分内外。これは本州に普通なるも北海道に産せず。



分布—本州、九州。

セダカラサ *Cyclanus morawitzii* Gebl. (五九)

體は光澤ある黒色。翅鞘には隆起せる點列を具へ、その間に不定の縮紋あり。體長四分八厘内外。これは札幌地方にては倒木下に捕へ得るも稀なり。



分布—樺太、千島、北海道。

ダイメウゴミ *Gymnoidis chinio* Bat. (六〇)

頭部及び胸部は黒褐。翅鞘は赤褐、翅鞘端は鋼鐵様の藍色を帯ぶ。體長三分内外。これは石若しくは倒木下に捕へ得るも稀なり。



分布—北海道、本州、九州。

キクビアラゴミ *Dielya erythrocollis* Moe. (六一)

體は暗黄。頭部及び翅鞘は金緑。翅鞘は縱溝の代りに點列を有す。體長三分内外。これは本邦に稀ならざる種類なるも、北海道には少なし。



分布—北海道、本州、九州、西比利亞。

オホヨツボシゴミ *Dischissus quadrimaculatus* Motsch. (六二)

光澤ある黒色。翅鞘には點列ある十條の縱溝を具へ、間室には小點列を列ぬ、四個の紋は黄色。



體色には種々あり。全體黒色にして、前胸背の兩側及び脚の赤黄なるものあり、又雌に限り翅鞘に長き赤黄紋を有するものあり、尙、前胸背全部の赤黄なるものもあるなり。翅鞘には點列

分布—本州、九州。

セアカゴミ *Dolichus Indensis* Schall. (六三)



を缺く、但し第三溝には二個の點刻あり。體長七分内外。これは北海道には普通にして、田圃の塵芥下に捕獲し得べし。

分布—日本全土、朝鮮、支那、西比利亞、歐洲。

アトキリゴミ *Dromius prolixus* Lat. (六四)



體は黒褐。翅鞘の縱溝は太く、溝中には判然せざる點刻あり、翅端は少しく赤褐。體長二分三厘内外。これは札幌近傍に普通なり。

分布—北海道、本州。

ホソアラゴミ *Drypta dentata* Kozai (六五)

體は黒緑。翅鞘の縱溝は太く、溝中には粗大の點刻を連ね、縱溝上には小點刻多く、黄色の短毛を密生す。翅長三分内外。これは



石下に捕獲し得べきも稀なり。分布—北海道、本州、歐洲、亞弗利加。

ハンメウモドキ *Elaphrus dauricus* Mor. (六六)



體は黒褐。頭部は綠色。翅鞘は黒褐、四列の紺色圓孔を縱列す。體長三分内外。これは札幌地方の泥炭地に稀ならず。分布—樺太、北海道、西比利亞。

オホゴモク(ムシ) (六七)



紋は灰白、その中央の一點は暗褐。體長二分八厘内外。これは本邦に稀ならざる種類なり。分布—北海道、本州、九州。

クロツジフジゴミ *Lebia erux-minor* L. (七二)



頭部は黒色。前胸背は赤黄。翅鞘は黒色にして、四個の大紋は黄色。體長二分五厘内外。これは本邦稀ならざる種類なるも、北海道には産せざるが如し。分布—本州、九州、西比利亞、歐洲。

ジフジゴミ *Lebia japonica* Ohana. (七三)



體は黄色。斑紋は黒色。翅鞘の基部には五角形の一紋を具へ、その下方に十字形の大紋を具へ、兩側と翅端とは暗褐。體長二分内外。これは石下に捕へ得べし。分布—本州、九州。

Harpalus captio Mor. 體は光澤ある黒色。翅鞘の中央には黄色の短毛多く、判然せる縱溝を具へ、間室には粗大の點刻を密布し、第四溝には一個の大點刻あり。體下は雌にては黄褐、雄にては褐色。體長七分内外。これは田圃の塵芥下に普通なり。分布—日本全土、朝鮮、臺灣、西比利亞。

ヒラタゴモク *Harpalus platynotus* Lat. (六八)



體は黒褐。前胸背の周縁は黄褐。翅鞘に判然せる十條の縱溝を具へ、點刻を缺き、翅端の周縁は少しく赤褐。脚の基部及び腿節は赤黄。體長五分内外。これは田圃の塵芥下に棲息すれども、餘り多からず。分布—北海道、本州、九州。コゴモク (六九)

ヤホシゴミ *Lebiaia octoguttata* Mor. (七四)



體は暗黄。翅鞘に八個の淡黄紋あり。前胸背の兩側縁は淡黄。體下は背面よりも少しく淡色。體長三分八厘内外。これは本邦稀ならざる種類にして、草間に捕へ得べし。分布—北海道、本州、九州。

アラスチマルクビゴミ *Neloria banksi* Orosch. (七五)



背面は黒紫色。翅鞘の兩側は幅廣く綠色。觸角、體下及び脚は黒色。體長三分七厘内外。これは北千島に普通なる種類なり。分布—千島、カムチャツカ。

マルクビゴミ (七六)

Harpalus tridens Mor.



體は光澤ある黒色。翅鞘には十個の縱溝を裝ひ、その溝には點刻を缺き、第八溝及び第九溝の間には小形の點刻を、第九及び第十溝の間室には大形の點刻を粗布す。尾端は赤褐。體長四分七厘内外。これは田圃の塵芥下に普通なり。分布—北海道、本州、九州、支那。

フタホシヒメゴミ *Lebia bifenestrata* Mor. (七〇)



體上は黒褐、體下は暗黄。翅鞘の二紋は黄色。體長一分五厘内外。これは草間に捕へ得べしと雖も、小形なるが爲め注意せざれば捕へ難し。分布—北海道、本州、九州、西比利亞。

フタツメゴミ *Lebiaia bisoculata* Mor. (七一)

頭部、前胸背並に體下は淡黄。翅鞘後方の卵形

Nebria chinensis Lat.



雌
體は光澤ある黒色。翅鞘には九條の縦溝ありて第四溝には四

個の點刻を有す。尾端は黄褐。脛節及び跗節は赤褐。體長四分三厘内外。これは白亞系の砂地若くは同岩石のある地方に多し。
分布 樺太、北海道、本州、九州、朝鮮、支那。

カハラゴミ……………(七六)

エタアリス形 雌 *E. taialis* Mor.



Onoph.
ron him-
latus L.
體は赤褐背面は少しく淡色

オホヒラタゴミ……………(八一)

Platynus magnus Lat.



雌
體は黒色。翅鞘に判然せる縦溝を具へ、第三溝には二個の大點刻あり。脚は赤褐、脛節は褐色。體長五分内外。これは本邦普通なる種類なれども、北海道には稀なり。

キンナガゴミ……………(八二)

Poecilus encyrtus Solsky



雌
體色は一定せずと雖も、金線なるもの多し。體下は黒色。翅鞘の縦溝には小形の點刻列を具へ、第三溝に二個、第



雌

ヨツボシゴミ……………(七八)

Panagaeus robustus Lat.



雌
體は黒色。翅鞘の四大紋は赤黄

縦溝には粗大の點刻列を裝ふ。體長四分内外。これは札幌近傍に普通なる種類にして、石若くは倒木下に捕獲し得べし。
分布 北海道。

カウヤ(行夜)(ミキヂラハンメウ)……………(七九)

Pterostichus jessoensis Mor.

雌
體は黄色。頭頂に一黒紋あり。翅鞘は黒色を呈し、縦溝は七條あり、縦溝は廣く、棘様の縮紋あり。前胸背の前縁、中央の縦溝及び脛節

九溝には十數個の大點刻あり。體長四分五厘内外。これは石下若くは倒木下に多し。
分布 北海道、本州、西比利亞。

クビナガゴミ……………(八三)

Pristochelyla crocata Lat.



雌

體は黒色にして、少しく褐色を混ず。翅鞘は深き縦溝を具へ、第三溝には二個の點刻あり、翅端の周縁は赤褐。體長四分三厘内外。これは石下若くは倒木下に捕へ得べきも多からず。
分布 北海道、本州、九州、支那。

オホナガゴミ……………(八四)

Pterostichus fortis Mor.

雌
體は光澤ある黒色。翅鞘は小點刻ある縦溝を具へ、第二溝には二個の大點刻ありて、これに各一黄毛を裝ふ。體長七分内外。これは本邦稀な



雌

は黒色。體長六分三厘内外。これはエゾエンシスの學名を有するも、北海道には産せざるが如し。中國地方には普通なり。臭液を滲出す。
分布 内地全土。

フタホシヒラタゴミ……………(八〇)

Planates bimaenatus MLevy



雌

體は黒褐。翅鞘の圓紋及び脚は黄色。前胸背の兩側は赤褐を呈す。翅鞘に二十四條の細き縦溝を具へ、溝中には小點刻を連ぬ。體長四分五厘。これは石下若くは倒木下に捕獲し得るも稀なり。
分布 本州、九州、支那、印度、瓜哇。



分布 北海道、本州、九州。

コガシラゴミ……………(八五)

Tero tichus (Laagarus) microcephalus Molsch.

雌
體は光澤ある黒色。翅鞘に判然せる縦溝を具へ、外側にあるものは點刻を列ね、第三溝には二個の大點刻あり。體長三分五厘内外。これは札幌地方にては



田圃に多し。

分布—日本全土、朝鮮、支那、西比利亞。

アトマルゴシ *Pterostichus orientalis Motsch.* (八六)

體は光澤ある黒色。翅鞘の縱溝中には判然せざる小形の點刻を連ね、第三溝には二個、第四溝には一個の大なる點刻を裝ひ、第九溝には大なる點刻あり



體長四分八厘
内外。これは早春石

下若しくは倒木下に捕へ得べし。
分布—北海道、本州、西比利亞。

ヘウタンゴシ *Scarites aeternus Mor.* (八七)

體は光澤ある黒色。翅鞘には七條の縱溝を具へ、其の内は一行の點刻を縱列す。體長六分五厘内外。これは中國地方海濱の塵芥下に普通なる種類なり。
分布—北海道、本州、四國、九州、滿洲。

ヒメクヒナカゴシ *Taphria congrua Mor.* (九一)



體は光澤ある黒褐若くは黒色。前胸背後縁の兩側、翅鞘の接合線及び翅端は赤褐。脚は赤黄。體長二分九厘内外。これは石下、倒木下に稀ならず。
分布—北海道、本州、九州。

オホゴシ *Triplogenus ingens Mor.* (九三)



體は光澤ある黒色。翅鞘には八個の判然せる縱溝を裝ひ、溝中には小形の點刻を連ね、第三溝には二個の大點刻あり。體長八分五厘内外。これは石下若しくは倒木下に捕へ得べき普通種なり

♀



オホヘウタンゴシ *Scarites sulcatus Oliv.* (八八)

全體黒色。觸角鞭節は少しく赤褐を帯び、短き褐毛を裝ふ。脛節に褐毛多し。これはヘウタンゴシに酷似するも、體透かに大形なり。體長一寸三分内外。これは臺灣及び朝鮮に産するも稀なるが如し。
分布—朝鮮、臺灣、支那、印度、瓜哇。



ナガヘウタンゴシ *Scarites sulcatus Oliv.* (八九)

Scarites terricola Bon.

♀
パキフィクス形
f. pacificus Kat.



體は光澤ある黒色。翅鞘には各七條の判然せる縱條を裝ふ。

體長六分内外。これは粘土地の塵芥下に稀ならざるも、北海道には産せざるが如し。
分布—本州、四國、九州、臺灣、支那。

ヒメセグロゴシ *Stenolophus propinquus Mor.* (九〇)



♀
體は黒色。前胸背、翅鞘及び脚は黄色。翅鞘の接合線に近く各一個の淡き黒縱紋を裝ふ(雌にては不明瞭)。體長二分内外。これは本邦普通の種類なり。
分布—樺太、北海道、本州、支那、西比利亞、歐州。

三 小頭蟲科 Halphtidae

頭小。翅鞘の點刻は大。觸角は十一節、絲狀にして、毛を缺き、複眼の中間に位す。稜狀部判然せず。前中兩基節は球形、後基節は甚だ大にして、枝狀をなす。後脛節は基部にて甚だ太く、中央にて細し、後肢は游泳に適す。腹部は六節より成り、初めの三節は癒着す。幼蟲、成蟲共に水中に住す。幼蟲は氣門を缺き、尾端には一雙の關節ある長尾毛を具へ、各節側に一雙の長き鯉糸あり。本邦學名を有するもの三種あり。

コガシラムシ *Palaorytes intermedius Sharp* (九三)



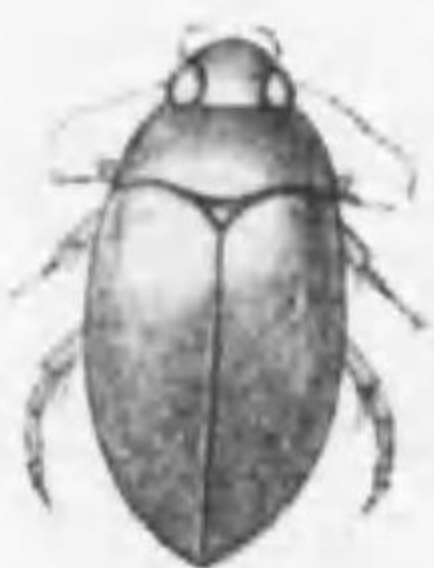
♀
體は暗黄にして、光澤あり。翅鞘の中央に判然せざる四個の褐色紋を裝ふ。脚及び體下は黄色。體長一分一厘。
分布—北海道、本州、九州。

四 龍蝨科 Dytiscidae

觸角は十一節、鞭狀若くは絲狀を呈す。大腮は短大、有齒なり。小腮は二葉に分離せず、末端には不動の一鈎を有す。小腮鬚は二個、前方にあるものは二節、後方にあるものは四節。下唇鬚は三節。上唇は小、前縁は凹陥し、剛毛を有するものあり。後肢は側扁、游泳に適す、五跗節を有し、長毛を裝ひ、末端に二爪あり、前肢には時々四跗節を有するものあり。幼蝨、成蝨共に水中に住す。大形の種類は養魚に有害なるも、小形の種類は魚の飼料となる。本邦學名を有するもの約七十種あり。

具へ、其中に金色毛を裝ふ。雄の腹部は黄色、雌にては黒色。體長六分内外。これは樺太及び八甲田附近に産す。
分布 樺太、本州、西比利亞、歐洲。

クロヅマメゲンゴロウ……………(九五)



Agabus conspicuus Sharp.
體は黒色。翅鞘は褐色、翅底は暗黄。頭頂の二紋及び前胸背の兩側は赤色。體長四分内外。これは東京地方に多し。

キスチゲンゴロウ……………(九七)



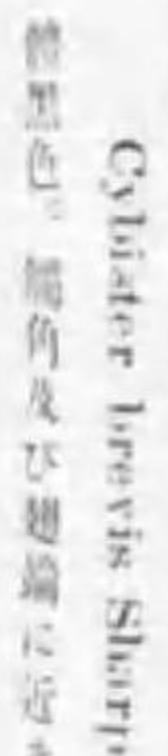
Bidessus japonicus Sharp.
體は淡黄褐。頭部は黒褐。翅鞘は暗褐、翅底に近き二縱條、前縁、翅端に近き一紋並に翅端は黄色。體下は暗褐。體長七厘内外。これは本邦何れの地方にも多し。
分布 日本全土。

ムツホシゲンゴロウ……………(九八)



Chaetohydus politus Sharp.
體は黄色乃至黄褐。翅鞘は黒色、大なる三個の黄紋を具へ、翅端は黄色。體長一分内外。これは本邦稀ならざる種類なるも、北海道には産せず。
分布 本州、九州。

クロゲンゴロウ……………(九九)



Cybister brevis Sharp.
體は黒色。觸角及び翅端に近き各一紋は黄色。轉

ケスチゲンゴロウ……………(九四)



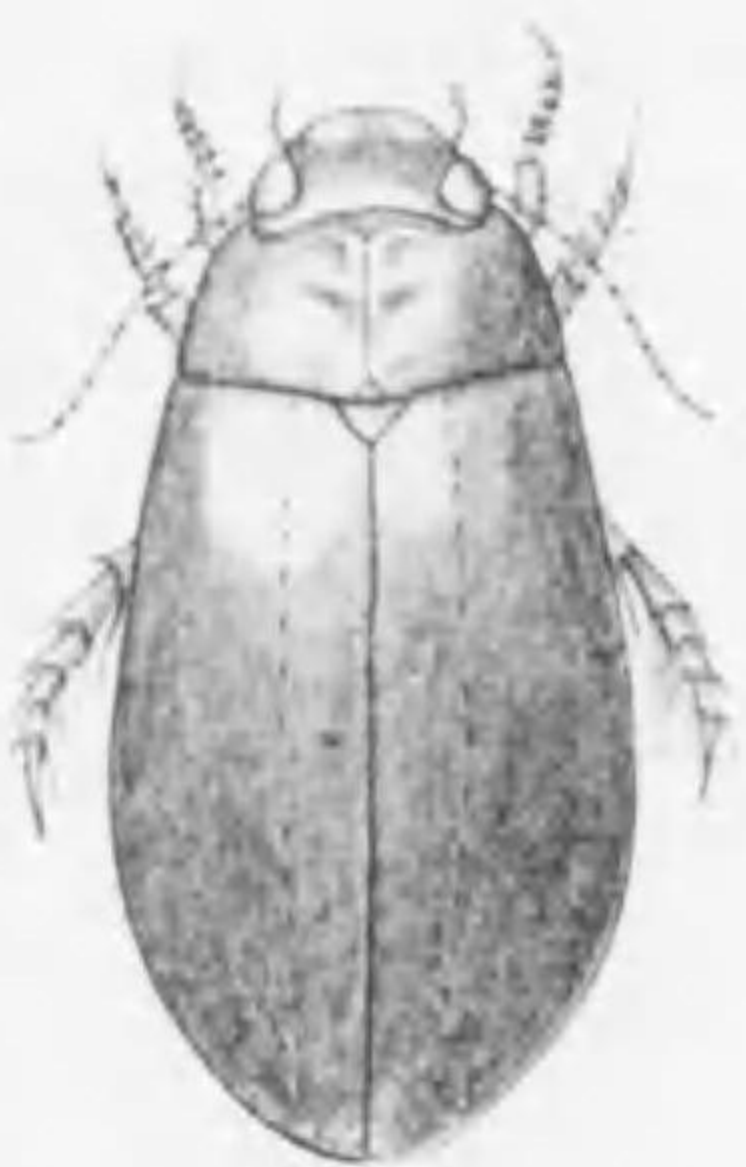
Acilius sulcatus L.
體は黒褐。前胸に幅廣き黒環紋を具ふ。後腿節は黄色、基部に黒紋あり。雄の翅鞘接合線は黄色の縁を有す。雌の翅鞘は八條の幅廣き縱溝を

マメゲンゴロウ……………(九六)



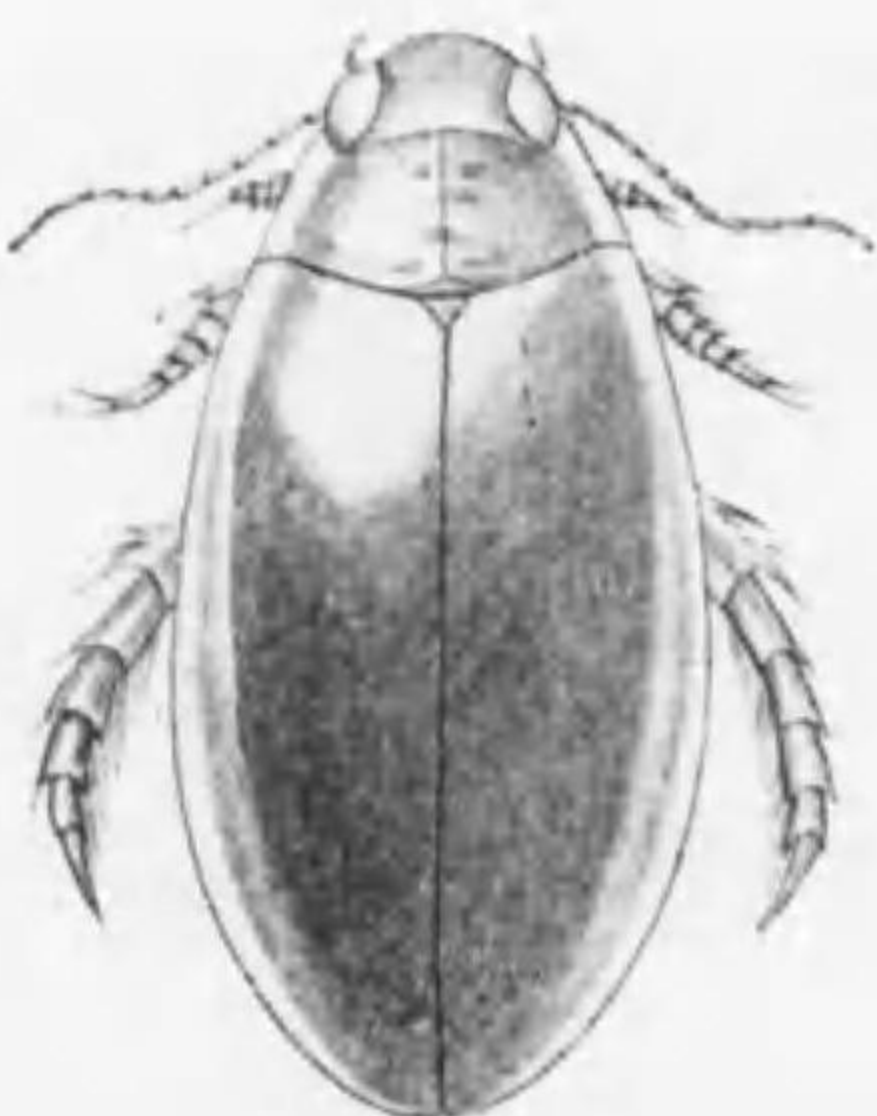
Agabus japonicus Sharp.
これはクロヅマメゲンゴロウに酷似すれども、前胸背の兩側は中央同様に黒色、翅鞘は滑澤なるによりて區別せらる。體長二分五厘内外。これは何れの地方の池沼にも普通

♀



Cybister japonicus Sharp.
體は黒褐、少しく青味を帯び、光澤あり。觸角、脚、前胸の兩側及び翅鞘の前縁は黄褐。翅端の小紋は黄色。體下の大部は褐色。體長一寸三分内外。これは本邦何れの地方にも多し。
分布 日本全土、支那。

コガタゲンゴロウ……………(一〇一)



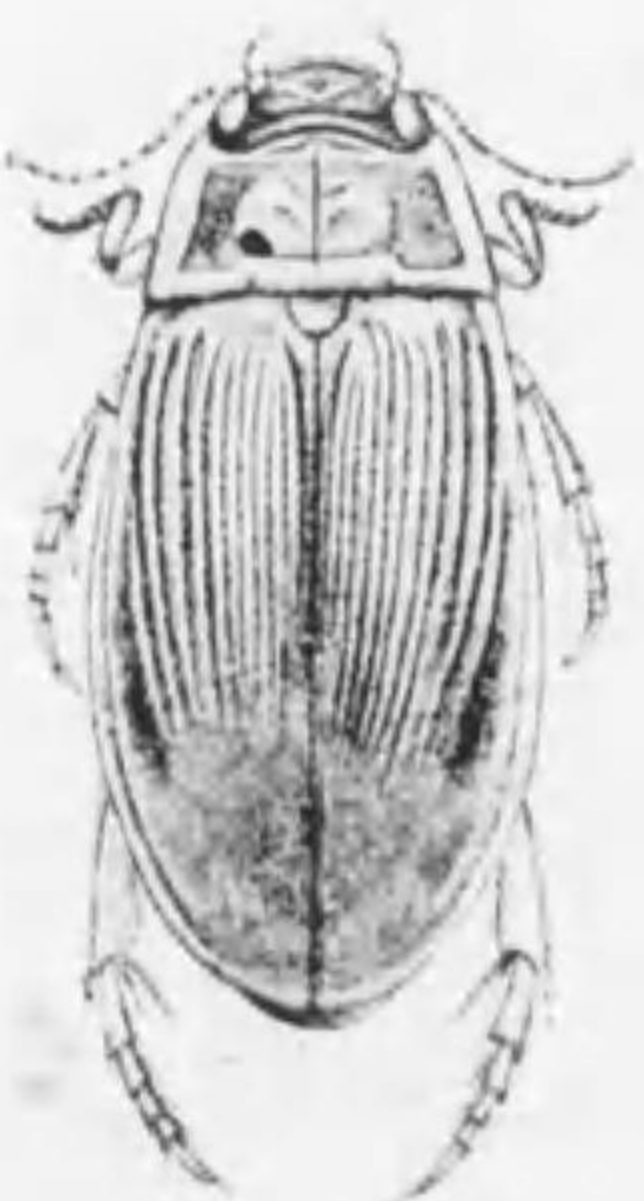
Cybister tripunctatus Oliv.
體は黒褐、少しく青味を帯ぶ。觸角、前胸背の兩側、翅鞘及び前中兩肢は黄色。腹面の兩側に各三個の黄紋を裝ふ。體長九分内外。これは本邦普通の種類なれども、北海道には産せず。

シマチビゲンゴロウ……………(一〇三)



Deronectes simplicipes Sharp.
體は黄色。前胸背の二紋、前後兩縁、翅鞘の五縱條、翅底の三紋、縱條間の小紋及び體下は黒色。體長一分四厘。これは東京地方に普通なる微小種なり。
分布 日本全土。

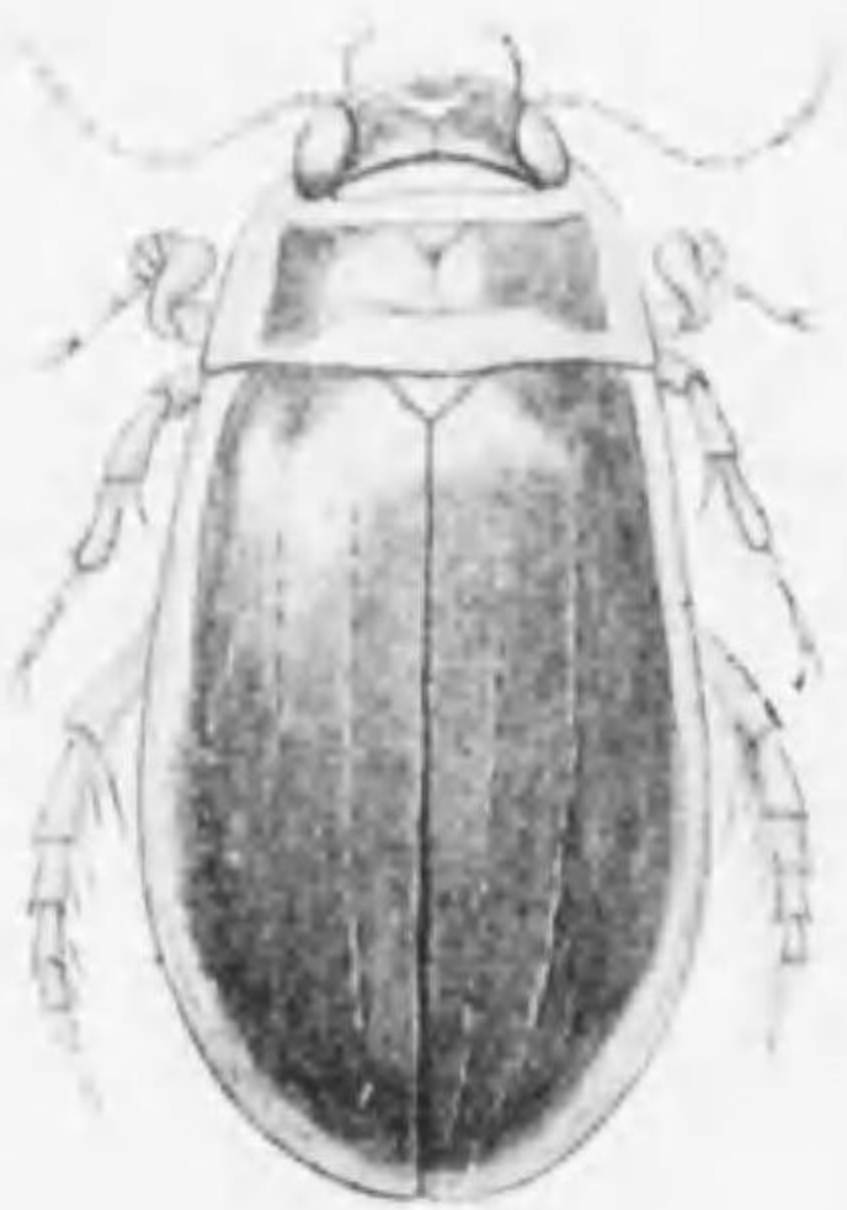
ゲンゴロウモドキ……………(一〇四)



Dytiscus marginalis L.
♀

ナミゲンゴロウ(ゲンゴロウ)……………(一〇〇)





♂

體は黒褐、少しく青味を帯ぶ。觸角、前胸背の周縁、翅鞘の前縁、體下並びに脚は黄色。翅鞘は黄褐。體長一寸一分内外。これは北海道及び本州に普通なり。

分布—樺太、北海道、本州、歐洲。

シャープゲンゴロウモドキ……………(104)

Dytiscus sharpi Wehncke

♀



♀



北海道に産せざるが如し。

分布—本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那、印度、西比利亞、歐洲。

マルガタゲンゴロウ……………(107)

Graphoderus adamsi Clark

♂



體は暗黄。後頭、複眼間の二紋、前胸背の前縁、翅鞘の網目状紋等は黒色。體下は褐色。雄の前肢に圓形の吸盤あり。體長四分五厘内外。これは中國地方の池沼

背面は黒色。觸角、口部、前胸背の側縁、翅鞘の周縁は赤褐。體下及び脚は黒褐。雌は翅鞘の前半に各十條の縱溝を裝ふ。體長九分内外。これは東京地方に産すれども稀なり。

分布—本州。

コゲンゴロウモドキ……………(105)

Dytiscus validus Rég.

これはシャープゲンゴロウモドキに似たるも、その異なる所は、體幅廣く、雌の翅鞘の縱溝は深く、且少しく長きにあり。體長九分内外。これは京都地方に産すれども稀なり。

♀



分布—本州。

ハイロゲンゴロウ……………(106)

Eretes strictus L.

雄は前肢に吸盤を裝ふ。體長五分内外。これは本邦何れの地方にも多しと雖ども北海道には稀なり。

分布—日本全土。

コシマゲンゴロウ……………(110)

Hydaticus grammicus Germ.

♂



體は暗黄。後頭は黒褐。翅鞘は黒褐の點紋を密布し、後縁に近き二縱條は黄色。

體下及び脚は黄褐。雄の前肢に吸盤を有す。體長三分五厘内外。

分布—本州、四國、九州、朝鮮。

マダラゲンゴロウ……………(111)

Hydaticus pacheus Anb.

體は黒色。觸角、頭部(後頭は黒色)、前胸背(前後兩縁の中央を除く)、翅鞘の前縁、翅底にある一横紋並びに翅端紋及び前中兩肢は黄色。體長六分内外。これは中國地方の池沼に産するも少し。

コンスヘルスス形 ♂

分布—本州、比律賓、爪哇、ボルネオ。



イチモンジゲンゴロウ……………(113)

♀

Hydaticus transversalis Pont.



體は黒色。頭頂の二紋、前胸背の前縁、翅鞘の一横紋、前中兩肢、後肢の基部及び翅鞘上の細き縱條は黄褐。體長四分五厘内外。これは餘り多からず。

分布—北海道、本州、歐洲。

ケンゲンゴロウ……………(113)

Hydaticus japonicus Sharp

體は暗黄。前胸背の二紋及び翅鞘の斑紋は黒色。體長一分二厘。これは微小なる種類にして

に産するも餘り多からず。

分布—本州、四國、九州、朝鮮。

ゴマダラチビゲンゴロウ……………(108)

Graphodytes matrix Sharp

♀



背面は黒色。頭部の中央、前胸背の一横帯、翅鞘上の各六紋は赤黄。體下及び脚は暗褐。體長一分三厘内外。これは本州の池沼に普通なる種類なり。

分布—本州。

シマゲンゴロウ……………(109)

Hydaticus lowringi Clark

體は光澤ある黒色。前胸背の大部、翅鞘の各二縱條及び各一紋は黄色。體下並びに脚は暗黄。





東京地方に多し、北海道には産せざるが如し。
分布—本州、四國、九州。

スナムグリゲンゴロウ……………(二二四)



雌
體は黒褐。頭及び前胸背は赤褐。頭頂の二紋は赤色。觸角、前胸背の兩側、翅鞘の前縁、脚及び體下は赤黄。體長三分内外。これは本邦到る所の池沼に多しと雖ども、微小なる爲め注意せざれば捕へ損ふことあり。
分布—日本全土、朝鮮。



雌
ヨツボシヒメゲンゴロウ……………(二二五)
Hybina ater Dege.
體は黒色。頭頂の二紋、翅鞘の四紋、體

角、前肢の大部並に各腹節の後縁は赤褐。體長四分。これは札幌地方に産すれども稀なり。
分布—樺太、北海道、歐洲。

ツブゲンゴロウ……………(二二六)



雌
體は暗黄。翅鞘は少しく緑色を帯び、中央の細き二縦線及び周縁は淡色。體下は黄色。體長一分七厘内外。これも本邦には普通なる種類なるが、小形なる爲め注意せざれば捕へ損ふものなり。
分布—北海道、四國、九州。

チャイロケシゲンゴロウ……………(二二七)



雌
體は頗る光澤を有す。頭、觸角及び前胸背は黄色。翅鞘は暗黄にして、褐色の細状紋を有す。脚及び體下は赤褐。體長一分五厘内外。これは本邦何れの池沼にても捕へ得べし。
分布—日本全土。

キベリマメゲンゴロウ……………(二二八)

Platanus fimbriatus Sharp

體は光澤ある黒色、少しく青味を帯ぶ。觸角、頭頂の二紋及び脚は赤褐。翅鞘の前縁、翅底の一横紋及び前胸背兩側の各一紋は黄色。翅鞘に分岐せる褐色の一條を縦走す。體下は黒褐。體長二分七厘内外。これは箱根及び日光附近には稀ならず。



分布—本州。

モンキマメゲンゴロウ……………(二二九)

Platanus fitchiennis Sharp

雌
體は光澤ある黒色。頭頂の二紋、觸角及び脚は赤褐。翅鞘の斑紋は黄色。體長二分八厘内外。これは本邦稀なる種類なり。
分布—本州、九州。



オホヒメゲンゴロウ……………(二三〇)

Rhantus orichous Sharp



雌
これはヒメゲンゴロウに酷似するも、前胸背の黒紋は一字状に長く、翅鞘は稍々平く、後肢は全部黒色なること等によりて識別せらる。體長四分五厘。これは札幌地方に産するも餘り多からず。
分布—北海道、本州。

ヒメゲンゴロウ……………(二三一)

Rhantus pulverosus Stejka



雌
體上は暗黄、前胸背中央の一横線及び稜状部は黒褐、翅鞘に綫様の黒紋を密布す。體下は黒色、第三、第四腹節の後縁及び尾節は赤褐。後肢は大部分黒色。體長四分内外。これは本邦何れの地方にも普通なり。
分布—日本全土、朝鮮、歐洲。

ヒトツメゲンゴロウ……………(二三二)

Rhantus yessoensis Sharp



雌
頭及び前胸背は黄色、後者には黄色の一圓紋あり。翅鞘は暗褐。體下は黒褐。前中の兩肢は黄色、後肢は黒褐。體長五分。これは珍しき種類なり。
分布—北海道、本州。

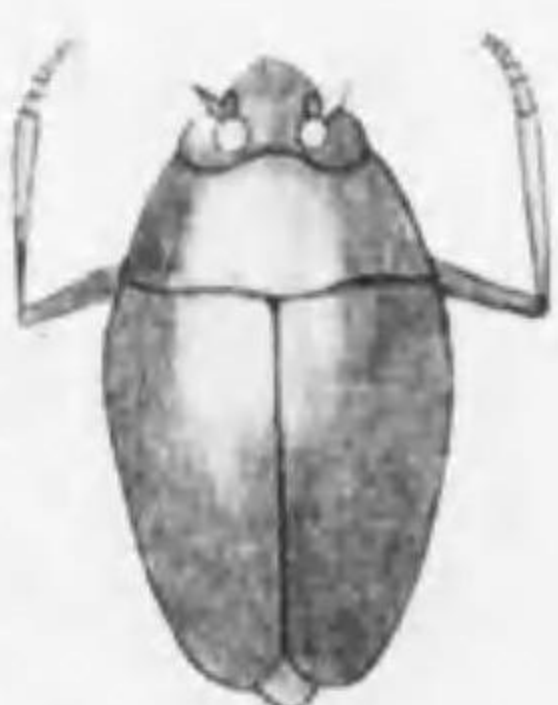
五 鼓豆科 Cyrtidae

觸角は九節、甚だ短かく、第二節は膨大して正形となる。複眼は上下に分離して四個となり、其間に觸角を有す。大臑は短かく、末端に二齒あり。小臑は二葉に分離せず、末端に不動の一鈎を裝ふ。小臑盤は二個ありて、前方にあるものは二節、後方にあるものは四節よりなる。下唇盤は三節。前肢は長く、後肢は側扁にして、短かく、游泳に適す。腹部は六節。跗節は五節。何れも卵形の種類にして、水上を旋廻す本邦學名を有するもの約十種あり。

オキナハオホミヅスマシ……………(二三三)

Dinectes indicus Anlic

雌
體は黒色、少しく藍色を帯ぶ。前肢及び體下は赤褐。中後の兩肢は黄褐。翅鞘に判然せざる黒色の三縱條あり、側縁は藍色。體長五分内外。これは沖縄及び臺灣に普通なり。



分布 沖縄、臺灣、支那、比律賓、馬來、印度。

オホミヅスマシ *Dinontes marginatus* Sharp (一二四)

♀



體上は光澤ある黒色。體下及び脚は暗黄。前胸背の兩側は藍色。翅鞘の外縁は黄色。體長三分三厘内外。これは本邦何れの池沼にも多し。

分布 日本全土、朝鮮、臺灣、支那、西比利亞瓜哇。

ナミミヅスマシ (ミズスマシ) (一二五)

Gyrinus curtus Motsch.

♀



體は光澤ある黒色。脚は赤褐。體長二分三厘内外。これは本邦何れの池沼にも普通なる種類にして、水上に旋轉す。

ヒメミヅスマシ *Gyrinus japonicus* Sharp (一二六)

♀



これはミズスマシに酷似するも、翅鞘前縁の下方、前中胸片並に尾端は赤褐なり。體長一分八厘内外。これは本邦何れの地方にも普通なり。

分布 日本全土。

コラナガミヅスマシ *Orectochilus punctipennis* Sharp (一二七)

♀



體は黒色、光澤あり。體下は赤褐。脚、觸角並に腹部は黄赤。體上に灰白の短毛を生ず。體長一分八厘。これは東京地方の小河に普通なるも、多くは水上に旋轉し居らざるを以て魚を掬ふが如く、木蔭を掬ふにあらざれば捕獲し難し。

分布 本州。

ヲナガミヅスマシ *Orectochilus regimbarthi* Sharp (一二八)

♀



體は光澤ある黒色。體上に灰白の短毛を密生す。觸角及び脚は赤褐。體長三分内外。これは樹下の水上にあ

り、他の鼓豆の如く展開せる水上には旋轉せず。

分布 本州。

六 角歩行科 Pausididae

觸角は普通二節なるも、稀に六節乃至十節なることあり、一般に異形を呈し、末端節膨大す。尾節板は露出す。跗節は五節。體は扁平にして兩側は平行せり。白蟻の巢に寄生す。本邦學名を有するもの二種あり。

イツホシヒゲブトラサ *Pseudorhopalus 5-punctatus* Shiraki (一二九)

♀



體は赤褐。翅鞘の各一大紋。翅端の各一小紋及び接合線は暗色。體長三分。これは臺灣に産し、シロアリの巢に捕へ得べし。

分布 臺灣。

七 脊筋蟲科 Rhyssolidae

觸角十一節にして、絲狀。上唇小なれども堅牢にして、突出す。大腮は二葉に分る。脚の基節は互に相隔離し、前肢にあるものは球形をなす。跗節は五節より成り、その内、初めの三節は癒着す。細長の小形種にして、その質堅牢なり。普通前胸背に太き三縱隆あり。幼蟲は朽木に住す。本邦學名を有するもの數種あり。

ナミセスヂ (セスヂムシ) *Rhyssodes (Omoglymmis) crassiusculus* Latw. (一三〇)

♀



體は赤褐。頭部は三條の縱隆を裝ひ、前胸背には三條の縱溝を有す。腿節は肥大す。體長二分三厘内外。これは朽木に多き種類なり。

分布 北海道、本州。

八 長后扁蟲科 Cupedidae

觸角十一節、絲狀にして、太く且つ平たし、第二節甚だ小、複眼の中間に位し、相近接す。複眼は半球狀にして、大なり。大腮は大にして、基部に大突起あり。上唇は前縁にて弓狀に列らる。小腮四節、末端節大にして、斧狀を呈す。頭頂に突起を裝ひ、前胸背の前縁兩側は棘狀をなして突出す。腹部は五節よりなり、各節の中央に横隆起あり。脚には五跗節ありて、各節の下方に毛塊を裝ふ。細長扁平の種類にして、花上に多し。本邦學名を有するもの二種あり。

テウセンナガヒラタ (ムシ) *Cupes arguscutis* Kolbe (一三一)

♀



體は灰褐。翅鞘の縱隆は所々に褐色の縱紋を現はす。體長四分内外。これは朝鮮に多き種類なり。

分布 朝鮮。

ナミナガヒラタ (ナガヒラタムシ) *Cupes clathratus* Solsky (一三二)

體は暗褐。翅鞘の縱隆は大部黄褐。腹節には各

二個の黄色横隆を装ふ。體長五分三厘内外。これは花上に捕獲し得べしと雖どもその數少ない。



分布—北海道、本州。

九 隱翅蟲科 Staphylinidae

觸角十一節、稀に十節なるものあり、棍棒狀若しくは絲狀。大腮は鎌狀。小腮四節。下唇鬚は様々にして、二節乃至四節より成り、時に關節を有せざるものあり。跗節は普通五節、時に三節若しくは四節なることあり、又或ものは前跗節四節なれども、他跗節の五節なることもあり。腹部は六節若しくは七節。翅鞘は短かく、その下に後翅を疊み込む。多くは細長扁平の小型種にして、樹液、菌叢、屍骨、獸糞等を食ひ時に他蟲を以て食とするものあり。本邦學名を有するもの約五百二十種あり。

翅底及び内縁は暗褐色を帯ぶ。尾節並びに其前節の後縁、脛節及び跗節は赤褐色。體長六分五厘内外。これは樹液に普通にして、森林の伐木地に捕獲し得べし。

分布—北海道、本州。

ヒゲブトカクシ

Allochlaena lutea Grav.



體は黒色。脚は黒褐色。前胸背、翅鞘及び腹部は黒褐色の短毛を密生す。體長二分内外。これは草に稀ならず。

分布—北海道、本州、歐洲。

ハナムグリカクシ

Anthrenum pollens Sharp

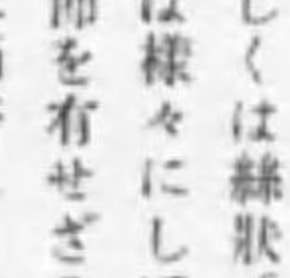


體は黄褐色。觸角の末端及び腹部は黒色。體長一分内外。これは草樹、梨等の花中に捕獲し得べし。時に花粉、花柱を食ひ、大害を加ふることあり。

分布—本州、四國。

ハネナガカクシ

Oligoterm simplex Sharp



體は黒褐色。觸角基部の三節、脚、前胸背(中央は暗色)及び翅鞘は黄褐色。體長一分二厘内外。これは本邦稀ならざる種類なるが、石下、倒木下に捕獲し得べし。

分布—北海道、本州。

サビカクシ

Ortholestes gracilis Sharp



體は黒褐色。觸角及び脚は大部黄色。前胸背及び翅鞘の環狀紋は褐色。稜狀部は黒色。雄は第一腹節の背上に弦月形の二黒紋を装ふ。體長四分五厘乃至六分五厘。これは切株の樹液に普通なる種類にして、これに集まり來る小蟲を捕食す。

分布—北海道、本州。

アカバホソカクシ

Othius fulvipes Sharp



體は光澤ある黒色。觸角は暗褐色。翅鞘及び脚は赤褐色。各腹節の後縁及び尾端は淡褐色。體長三分三厘内外。これは田畑の塵芥下に捕獲し得べき普通種なり。

分布—北海道、本州。

オホアカクシ

Crochilus maxillosus L.



體は光澤ある黒色。翅鞘の中央に灰黄の短毛を簇生す。第二、第三腹節にも灰黄の短毛を密生す。體長五分三厘内外。これは海岸に多き種類にして、魚骨その他、動物性の腐敗物を食す。

分布—世界共有。

シラオビシデモドキ

Nolynus leucofasciatus Lew.



體は光澤ある黒色。上唇の前縁は黄色。翅鞘の中央に近き一横帯は黄白。體長三分内外。これは切株より生ずる醗酵液に集來する普通種なり。

分布—北海道、本州。

ハヒイロカクシ

Eucibidius japonicus Sharp



體は黒褐色。觸角(雌にては大部黒褐色)、脚(前、後兩腿節は黒褐色)及び翅鞘の前縁は赤褐色。翅鞘に灰色の短毛を密生し、二、三の小部分は紋狀に灰毛を缺く。體長四分八厘内外。これは中國地方には普通に

分布—世界共有。

ヒメクロカクシ.....(一四二)

Quectus simulans Sharp



♂
體は黒色。觸角及び脚は赤褐。翅鞘は褐毛を装ひ、腹背部には黒褐毛あり。體長三分三厘内外。これは塵芥下に稀ならず。

♀ 本州、北海道。

オホキハネカクシ.....(一四三)

Oxygorus maxillosus F.



♀
アンテラリス形。體は光澤ある黒色。觸角は黄褐。翅鞘(末端は黒色)及び脚(前中兩腿節の基部を除く)は黄色。體長四分三厘内外。これは菌叢に集來す。

♂ 樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。

アラバアリガタカクシ.....(一四四)

Paedorus hircus Gertl.



♀
體は黄色。觸角及び脚の基部は光澤ある黒色。觸角は五條の飛溝を具へ、前後に近き長縱紋は赤褐。體長一分九厘。これは枯木の樹皮下にありて、小蟲を捕食するもの如し。

♂ 北海道、歐洲。

ダイメウカクシ.....(一四九)

Staphylinus alimio Sharp



♀
體は黒色。觸角は褐。觸角は褐。翅鞘は赤褐。黒毛を密生す。雄は最後の三腹節に各二個の金色毛塊あり。脚は赤色。體長五分七厘内外。これも樹液に集まり來る小蟲を捕食す。早春石下若くは倒木下に捕へ得べし。

♂ 日本全土。

アカバカクシ.....(一五〇)

Staphylinus inornatus Sharp

體は黒褐。稜狀部は天鵝絨様の黒色。翅鞘は赤褐。第二、第三及び第四腹節の背の上に各二個

♀



翅鞘青藍色にして、短黒毛を装ふ。前中兩腿節の末端は黒褐。體長二分八厘内外。これは田圃その他森林の塵芥下に普通なり。

♂ 日本全土。

アリガタカクシ.....(一四五)

Paedorus powori Sharp



♀
體は光澤ある黒色。觸角並びに脚は黄色。腹背に黒褐毛を生ず。各腿節の末端は黒褐。體長三分九厘内外。本邦普通の種類なるも、北海道には稀なり。

♂ 北海道、本州。

ルリカクシ.....(一四六)

Philonthus cyanipennis F.

體は光澤ある黒色。翅鞘は美麗なる珊瑚色、光輝の方向により紫色を呈はす。觸角は少しく青

♀



の黒紋あり。脚は黄色、前中兩腿節は黒色。體長五分三厘内外。これも樹液に集來する小蟲を捕食す。早春倒木を起して捕獲し得べし。

♂ 日本全土。

クロカクシ.....(一五一)

Staphylinus nigro-aeneus Sharp



♀
體は黒色。翅鞘、腹部及び脚は黒褐。翅鞘に褐色の短毛多し。體長五分五厘内外。これは札幌地方に稀ならず。樹液に集まり、他蟲を食するものを捕へ得べし。

♂ 北海道、本州。

♂



味を帯び、黒毛を装ふ。體長四分三厘内外。これは樹液に集來する小蟲を捕食す。

♀ 本州、北海道、西比利亞、歐洲、北米。

コガシラクロカクシ.....(一四七)

Philonthus japonicus Sharp



♂
體は光澤ある黒色。翅鞘は黒褐にして、少しく紺色を帯び、灰色の短毛を装ふ。腹背は少しく紺色を帯ぶ。腿節の基部は赤褐。體長三分九厘内外。これは前種同様に樹液に集まり來る小蟲を捕食す。

♂ 日本全土。

ヒラタカクシ.....(一四八)

Stenonema vittatum Faux.

體は黒色。觸角及び脚は黒褐、翅鞘は黄褐。翅

キンボシカクシ.....(一五二)

Staphylinus wolski Harold



♂
體は黒褐。翅鞘の一大紋及び第四、第五腹節の四紋は金色。觸角並びに脚は黄褐。腹面には赤褐の短毛多し。體長五分五厘内外。これは石下若くは倒木下に捕獲し得べきもその數少なし。北海道には産せざるが如し。

♂ 本州、四國、九州。

フタホンメダカカクシ.....(一五三)

Zenus tenuipes Sharp



♀
體は灰褐。觸角及び脚は赤褐。翅鞘に各一個の黄點あり。體長一分五厘内外。これは田圃の塵芥下に普通なり。

♂ 北海道、本州。

マルクビカクシ.....(一五四)

Tachinus sharpi Bernh. et Schnh.
♀ 體は光澤ある黒色。觸角の大部、脚及び翅鞘は赤褐色。翅鞘の兩側は多少黒褐色。腹背に灰色の短毛を密生す。體長一分五厘。これは古き草に普通なり。



分布 北海道、本州。

クシヒゲカクシ……………(一五五)

Velleinus pectinatus Sharp

♀ 體は黒色。觸角は大部黒褐色。前胸背は少しく紺色を帯ぶ。翅鞘は黒毛を裝ふ。後翅は暗色。體長五分八厘内外。これは石下若くは倒木下等にありて他蟲を捕食すること歩行蟲に異ならず。能く飛翔するも餘り多からず。



分布 北海道、本州、歐洲。

一〇 擬隱翅科

Micropeplidae

觸角九節、末端の二節膨大して、卵形を呈し、中間にあるものは細く、基節は甚だ大、球形を呈す。上唇は廣く、大肥は小にして、突出せず。小肥の第一節は小、第二節は甚だ大なり。脚は細く、中肢の基節は相隔離し、跗節は三節。前胸背に縦隆起を具へ、翅鞘短かし。微小の種類にして馬糞その他の穢物を以て食とす。

ハネカクシモドキ……………(一五六)

Micropeplus fulvus Erich.

♀ ヤボニクス形



♀ 體は暗褐色、少しく光澤を帯ぶ。前胸背の兩側及び翅鞘は褐色。觸角及び脚は赤黄。體長七厘内外。これは本州に産するも稀なる種類なり。

分布 本州。

一一 蟻塚蟲科

Pelaphidae

觸角十一節、稀に十節、棍棒狀、稀に連鎖狀を呈するものあり。小肥は二葉に分れ、小肥は三節若しくは四節、甚だ大にして、第一節甚だ長く、第四節甚だ小、膨大せる第三節の末端にある小突起の如し、第二節は小なり。下唇第三節、末端節は針狀を呈す。跗節は二節若しくは三節。腹部は五節より成り、翅鞘は短かし。微小の種類にして、蟻塚に棲息するもの多し。本邦學名を有するもの約百種あり。

ヒゲブトアリツカムシ……………(一五七)

Rapilutrens spectatus Sharp

♀



♀ 全體赤褐色。觸角長大、末端の三節は膨大し、各節稍々球形に近く、頭頂に二個の凹陥あり、前頭の中央に一縱溝を具へ、小點刻を密在す。體長一分内外。これは赤蟻と共棲する種類にして、札幌地方に稀ならず。

分布 北海道、本州。

一二 埋葬蟲科

Nitidulidae

觸角十一節(稀に十節)、棍棒狀若しくは球桿狀稀に絲狀を呈し、大肥の上方より出づ。上唇は前縁にて多少凹陥す。小肥は四節、頭より短かし。前肢の基節は相接近し、跗節は五節、稀に前跗節の四節なることあり。腹部は五節乃至六節。多くは動物の屍骨を以て食とす。人にこれに觸るれば、口部より褐色の臭液を出す。時に毛蟲を捕食して有益なるものあり。本邦學名を有するもの約六十種あり。

ホシモモフトシテ(ムシ)……………(一五八)

Diamanus bimaculatus Fort.

♀ 體は黒色。翅鞘は粗糲にして、三條の縦隆を裝ひ、後方の各一紋は赤色。體長一寸二分内外。



これは臺灣に産するも稀なり。
分布 臺灣。

オホモモフトシテ……………(一五九)

Necrobus asiaticus Fort.

♀ 體は黒色。背面は少しく青味を帯ぶ。雄の後腿節は膨大す。體長七分内外。これは北國に多き種類なり。



分布 北海道、本州、朝鮮。

モモフトシテ……………(一六〇)

Necrobus (Protonecrobus) nigritarsis



クロシテ……………(一六一)

Nicrophorus concolor Kraatz

♀ 體は黒色。額片、觸角の末端は黄色。體長一寸一分五分。これは本邦最大の種類にして、鳥



獸の屍骨に集來する普通種なり。鼠の屍骸を以て糞等も捕へ得べし。

北海道、本州、九州、臺灣、朝鮮。

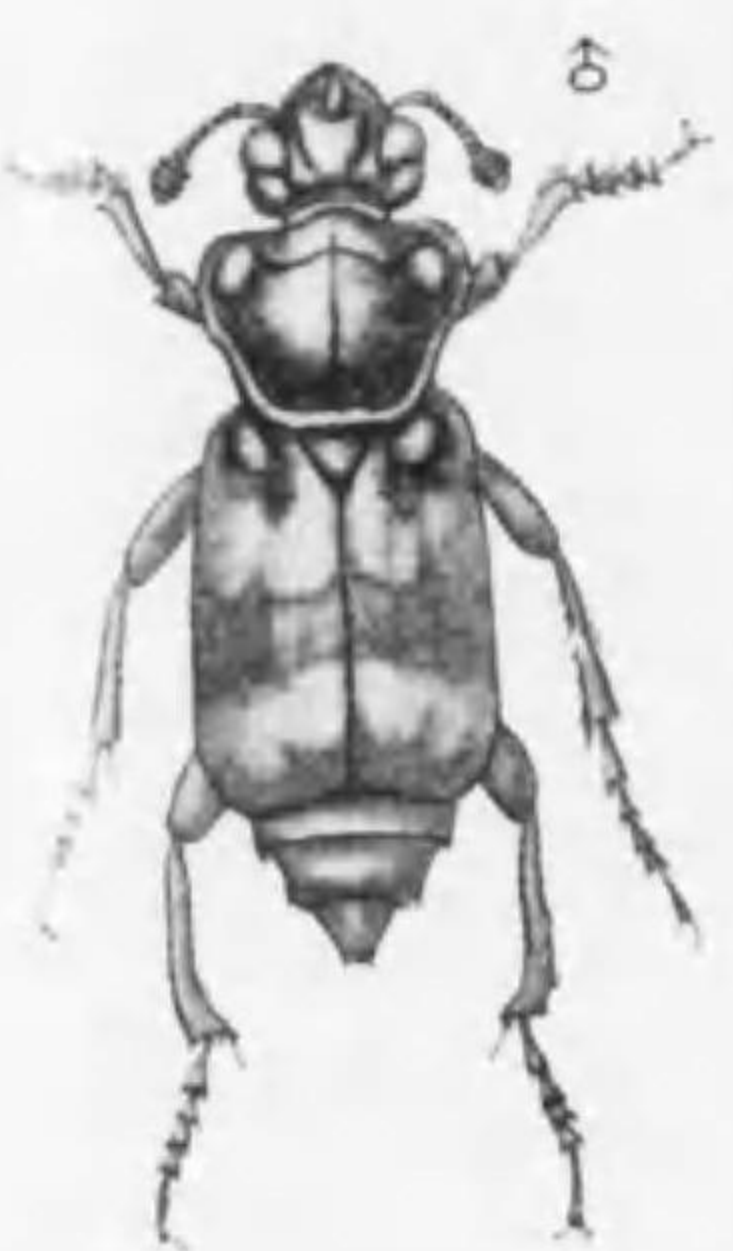
カラフトクロシテ.....(一六三)

Nicrophorus lunnator Oliv.



全體光澤ある黒色。額片及び觸角の末端は赤黄。體長七分内外。これは樺太に普通なるも南國には稀なり。

分布 樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。



ヤマトシテ(ヤチムシ).....(一六四)

Nicrophorus japonicus Har.

體は黒色。觸角の末端、鞘翅の側縁並に二帯は赤色。腹背板の後縁に黄毛を密生す。體長七分内外。これは動物の屍骨に捕へべき普通種なり。

分布 本州、臺灣、朝鮮、支那。

マヘモンシテ.....(一六五)

Nicrophorus maculifrons Kraatz

體は光澤ある黒色。頭頂の一紋、額片、觸角の末端、鞘翅の側縁並に二帯は赤黄。體長六分内外。

分布 本州、西比利亞、支那。



外。これは本州に普通なるが、同じく動物の屍骸にて捕獲し得べし。

分布 本州、西比利亞、支那。

ヨツホシシテ.....(一六六)

Nicrophorus quadrijunctatus Kraatz



體は黒色。觸角の末端及び頭頂の一紋は赤色。鞘翅は赤褐、稜状部の周圍、中央の廣帯及びその前後の各一紋は黒色。體長六分五厘内外。これは前種同様に動物の屍骸にて捕獲せらる。

分布 北海道、本州、支那。

ツノグロシテ.....(一六七)

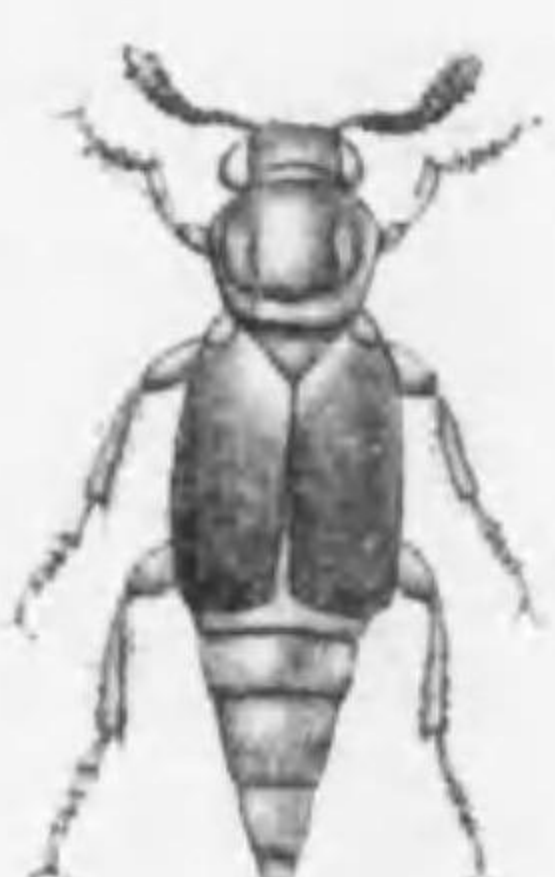
Nicrophorus vespilloides Herbst

體は黒色。鞘翅の二横帯は赤褐。觸角の球桿は黒色。體長六分内外。これは樺太に多しと雖も、北海道及び本州には稀なり。

分布 樺太、北海道、本州、歐洲。

コクロシテ.....(一六八)

Promaseopus murici Kraatz



全體黒色。頭部、前胸背及び翅鞘は光澤を有す。雌の尾端は長く翅鞘外に出づ。體長五分五厘内外。これも鼠の屍骸に集來する普通種なり。

分布 北海道、本州、臺灣、朝鮮、支那。

コモシテ.....(一六九)

Promaseopus plagiatus Mels.



體は黒色。翅鞘の基部に近き各一紋は赤黄。體長五分内外。これは本州の南部及び九州に産すれども稀なり。前種同様に鼠の屍骸にて捕獲せらる。

分布 本州、九州、支那。

クロヒラ(ク)シテ.....(一七〇)

Zilpha (Thaenophilus) atrata L.



體は黒色。翅鞘には翅端に達せざる三條の縦隆を有す。體長三分五厘内外。これは山間の道路又は倒木下に多く、嗜んで蝸牛を食す。

分布 樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。

ヒメヒラシテ.....(一七一)

Zilpha (Thaenophilus) auripilosa Port.



體は黒褐。前胸背に淺き小凹陥を散在し之れに灰色の短毛を生ずるを以て、恰も斑紋あるが如し。體長三分五厘内外。これは本邦普通の種類にして、動物の屍骨に集來す。

分布 日本全土、朝鮮、臺灣。

ベツカフヒラシテ.....(一七二)

Zilpha (Cathostigala) hornmuelkalis Kraatz



體は黒褐。前胸背は籠甲様の黄色、中央に光澤



分布 本州、九州、支那。

ある黒褐紋あり。體下は黒紫色。脚は黒色。體長六分八厘内外。これは動物の屍骨に捕へ得べしと雖ども少なし。

分布 本州、四國、九州、臺灣。

オホヒラシテ……………(一七三)



Silpha (Eusilpha) japonica Motsch.

體は黒色にして、少しく藍色を帯ぶ。體下及び脚は黒色。體長七分内外。これは路上にて蝸牛を食する普通種なり。

分布 北海道、本州、九州、臺灣。

クロボシヒラシテ……………(一七三)



尾骨に捕へ得べし。

分布 本州。

サビヒラシテ……………(一七四)



全體黒色。翅鞘には短き褐毛を裝ひ、各三條の翅端に達せざる縱隆を具ふ。體長五分内外。これは朝鮮に産

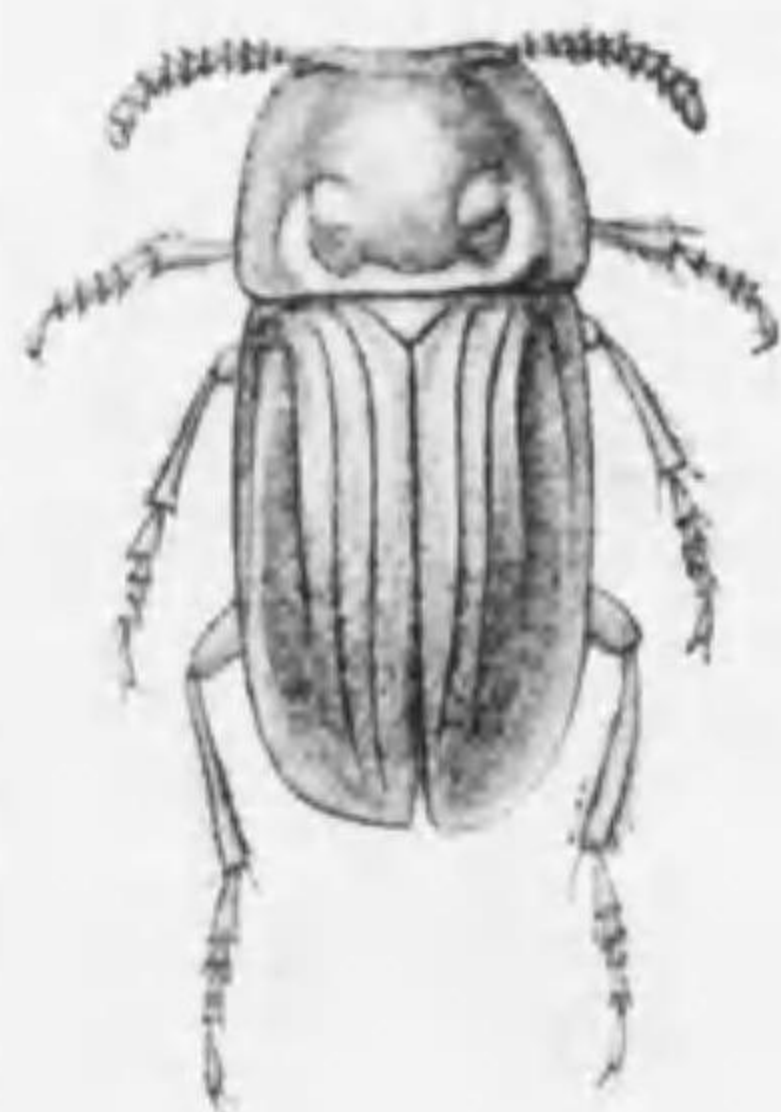
Silpha obscura L.

するも餘り多からず。

分布 樺太、朝鮮、西比利亞、歐洲。

ナミヒラシテ(ヒラタシテムシ)……………(一七五)

Silpha perforata Guedl.



全體黒色。翅鞘には各三條の縱隆を具ふ。體長六分内外。これは前種同様に動物の屍骨に集來する普通種なり。

分布 日本全土、西比利亞、歐洲。

カラフトオニヒラシテ……………(一七六)

Silpha (Thanatophis) sachalinica Kishimoto & Mizky



これは東京附近に産すれども稀なり。動物の屍骨にて捕獲し得べし。

分布 本州。

ヒロウドヒラシテ……………(一八一)

Silpha (Oreoptoma) thoracica L.



これは本邦普通の種類にして、同じく屍骨に集まる。

分布 樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。



胸背には二十個内外の黒紋を裝ひ、その周圍に灰色毛あり。體長四分内外。これは樺太及び札幌附近に普通なり。

分布 樺太、北海道。

ヨツボシヒラシテ……………(一七七)

Silpha (Xylocrepa) sexvittata Motsch.

體は黒色。前胸背の周縁並びに翅鞘は暗黄、各翅鞘には



これは森林にありて毛蟲を食するが爲め有益なり。

分布 北海道、本州、西比利亞。

シヤコタンヒラシテ……………(一七八)

分布 千島。



全體は黒色。これはクロヒラシテに酷似するも、體は遙かに小にして、稜状部の點刺は少なし。體長三分五厘。これは南千島に産するも、その數少なし。

カイロヒラシテ……………(一七九)

Silpha (Oreoptoma) subrufa Law.

前胸背は赤褐、中央は少しく暗色。判然せざる七紋を現はすものあり。翅鞘及び稜状部は天鵝絨様の暗赤褐。



頭部、觸角、體下及び脚は黒色。體長四分五厘内外。これは樹液に集來す。

分布 樺太、北海道、本州、支那。

オニヒラシテ……………(一八〇)

Silpha (Thanatophis) subrugosa Port.

ヤマトヒラシデ……………(一八三)
Stijala yamatona Kôno



雌
體は黒色。前胸背の周縁及び翅鞘は褐色を帯び、後者には各二條の縱隆を裝ふ。體長六分。これは中國地方に産するも稀なり。同じく動物の屍骨にて捕へ得べし。
分布 本州。

一三 球蕈蟲科……………(一八三)
Lioididae
(Anisotomidae)

觸角九節乃至十一節、棍棒狀にして、普通末端の三節乃至五節は膨大す。小腮鬚三節乃至四節下唇鬚二節乃至三節。前肢の基節は圓錐形をなして突出し、中後兩肢の基節は多少相近接す。跗節は普通五節なれども、同種の内にも變化するものありて、或は三節、或は四節なることあり。稍々球形をなせる微小種にして、普通菌叢に多しと雖ども、赤樹皮下に棲息するものあり。本邦學名を有するもの十數種あるに過ぎず。

キバネタマキノコムシ……………(一八三)

Amphicyllus flavipennis Mats.



雌
體は光澤ある黒色。觸角の基部は暗褐色。體下及び脚は黄褐色。前胸背兩側の赤褐色を呈するものあり。體長一分二厘内外。これは草に捕へ得べきもその數多からず。
分布 本州。

一四 老蕈蟲科……………(一八六)
Philidae
(Trichopterygidae)

觸角十一節、末端の三節は大にして、連鎖狀をなす。上唇は突出し、前方は細し。大腮の末端は鎌狀に曲り、内方は凹陥す、基部に一小齒あり、外側は膨大し、之れに一齒を裝ふ。小腮鬚四節より成り、基部は小、第二節は長く、棍棒狀を呈し、第三節は球狀を呈す、第四節は針狀にして細し。下唇鬚は末端に至るに従ひ細く、各節より剛毛を出す。跗節は三節、爪間に更に一刺毛あり。腹部は五節乃至七節。後翅の末端は細く、周縁に長線毛を裝ふ。植物性の腐敗物、落葉下、樹皮下、菌叢、蟻塚等に住す。何れも微小種なり。本邦學名を有するもの七種あれども、微小なる爲め、捕獲すること困難なり。

クロハバネムシ……………(一八四)



アカハテテラ……………(一八六)

Epicaphnum semirufum Leew.



雌
體は黒色。觸角、翅鞘、尾端及び跗節は赤褐色。體長一分六厘。これは草に捕獲し得べきも稀なり。
分布 本州。

ヤマトテラ……………(一八七)

Scaphitum japonum Reitt.



雌
體は光澤ある黒色。觸角及び跗節は赤褐色。翅鞘の各二紋は黄赤。體長二分内外。これは同じく草に捕へ得る普通種なるが北海道には産せざるが如し。
分布 本州、九州。

ヘリアカテラ……………(一八八)

Scaphitum reitteri Leew.

體は黒色。前胸背の前縁並に側縁、翅鞘の各二

Acrotichus satsumensis Yazaki
體は光澤ある黒色。同色の短毛多し。觸角は灰暗色。脚は黄色。體長二三厘。これは九州に産すれども稀なり。
分布 九州。

一五 出尾蕈科……………(一八五)

Zeaphididae

觸角十一節にして、端直、末端の五節は膨大して棍棒狀を呈す。上唇は發達して大きく、下方に垂れ、大腮を蔽ふ。大腮は小さく、内方に皮膜ありて、之れに細毛を裝ふ。小腮は二葉に分れ、小腮鬚は絲狀にして、稍々長く、末端節は尖る下唇鬚微小。脚細長く、前肢の基節は圓錐形、中肢の基節は球形、後肢の基節は圓柱形、跗節は各五節。腹部は五乃至七節。多くは菌叢を食す。本邦學名を有するもの約二十種あれども、小形なるが爲め餘り人の注意を惹かず。

クロテラ(キノコムシ)……………(一八五)

Cyberium shiraium Solsky



雌
體は黒色、光澤あり。觸角の大部、腿節の末端、脛節及び跗節は赤褐色。體長一分五厘内外。これは本邦餘り多からざる種類なり。草に捕へ得べし。
分布 本州、西比利亞。

♀



紋、生殖板及び跗節等は赤色。體長一分六厘内外。これは菌叢に捕へ得べしと雖も餘り多からず。北海道には産せざるが如し。
分布 本州。

一六 閻魔蟲科 Histeridae

觸角短かく、十一節よりなり、膝状を呈し、末端の三節膨大して球桿状若しくは棍棒状を呈す。小腮鬚は絲狀。前胸背の前縁は列られたるの觀を呈す。翅鞘端は截斷狀に終はり、尾端を現はす。跗節は小、五節よりなる。腹部は五節、その内第一節は甚だ長し。堅牢なる圓形の中形種にして、外患に接する時は死を眞似す。多くは動物の屍骨、糞尿に棲息す。時に食肉性のものありて、林業上に有益なるものあり。本邦學名を有するもの約八十種あり。

コエンマ(ムシ)……………(一九八)

Hister calaverinus Hoff.

♂



體は光澤ある黒色。觸角及び脚は赤褐。翅端は光澤ある赤褐。體長一分五厘内外。これは鳥獸の屍骨に集來す。
分布 北海道、本州、歐洲。

ヒメエンマ……………(一九〇)

Hister japonicus Mars.

體は黒色、光澤あり。觸角の基部及び前中兩轉

一三八
節は赤褐。體長二分五厘内外。これは本邦稀ならざる種類にして、鳥獸の屍骨に捕へ得べし。
分布 北海道、本州、九州



♀

ジケルエンマ(エンマムシ)……………(一九一)

Hister jukeli Mars.

♀



體は光澤ある黒色。觸角は赤褐。前頭に環狀溝ありて、これに點刻を裝ふ。翅鞘は平滑、點刻ある七縱溝を有す。體長三分五厘内外。これは本邦普通の種類にして、鳥獸の屍骨に集來す。
分布 北海道、本州、西比利亞。

ヒラタエンマ……………(一九三)

Hololepta depressa

♂



體扁平、黒色、頗る光澤あり。觸角、前

一七 長閻魔科 Synchelidae

觸角は半ば膝状を呈し、幅廣き球桿部を有す。前肢基部高の後方は閉塞す。前基節は横置せられ、圓柱形を呈す。後肢の基部は横置せられ、跗節は五節、初四節は圓柱形、長し。腹部は五節よりなり、尾端は露出す。體は細長なり。本邦學名を有するもの一種あり。

ナガエンマ(ムシ)……………(一九六)

Synchelia histerooides Law.

半澤ある黒色。大腮大にして、頭より少しく短かく、四齒を裝ひ、其兩端にあるものは大なり。
觸角は黒色、球桿は黒褐。體下及び脚は黒色。跗節端及び爪は赤褐なり。體長五分内外



札幌地方に普通の種類にして、樹液に集來す。
分布 北海道、本州。

胸側片及び各腹節の後縁は赤褐。體長三分五厘内外。これは樹液を吸收する蟲を食す。
分布 北海道、本州。

ホソエンマ……………(一九三)

Niponius impressicollis Law.

♂



體圓柱形にして、長く、黒色、光澤あり。前頭の兩側は突出す。觸角及び跗節は赤褐。體長一分七厘。これは小蠹蟲を捕食するを以て林業上有益なり。
分布 本州。

附言 目下新に細閻魔蟲科(Niponitidae)を設けて、この昆蟲を隸せしむる學者あり。

アリヅカエンマ……………(一九四)

Orthophilus flavicornis Law.

♀



體は黒色。前胸の側片並びに前腿節は赤褐。前胸及び翅鞘に各三條の縱溝あり。體長一分五厘内外。これは蟻の巢に共棲する堅牢の小形種なり。
分布 本州、歐洲。